

1 調査概要

(1) 調査目的

本調査は、区民の保育サービスの利用状況をはじめ、子どもの生活実態や子育ての実態や意識を把握し、「新宿区次世代育成支援計画」の策定及び保育事業等の推計ニーズ量の把握に資することを目的とする。

(2) 調査対象

調査の種類（調査の名称）	調査対象
就学前児童の保護者調査	0歳～5歳の子どもの保護者 対象者数：2,071人 抽出方法：住民基本台帳に基づく層化無作為抽出
小学生の保護者調査	6歳～11歳の子どもの保護者 対象者数：2,024人 抽出方法：住民基本台帳に基づく層化無作為抽出
中学生調査	区立中学校（13校） 私立中学校（7校）に通う中学1年生～3年生及び児童館を利用している中学生 調査数：区立中学校 1,151人 私立中学校 717人 児童館 54人

(3) 調査時期

平成15年9月～10月

(4) 調査方法

調査の種類（調査の名称）	調査方法
就学前児童の保護者調査	郵送配布・郵送回収
小学生の保護者調査	郵送配布・郵送回収
中学生調査	学校及び児童館を經由して配布・回収

(5) 回収状況

就学前児童の保護者調査

年齢	対象者数	有効回収数	有効回収率
0歳	351	244	69.5%
1歳	361	236	65.4%
2歳	372	251	67.5%
3歳	350	229	65.4%
4歳	317	189	59.6%
5歳	320	208	65.0%
無回答	-	7	-
計	2,071	1,364	65.9%

小学生の保護者調査

年齢(学年)	対象者数	有効回収数	有効回収率
6歳(小学1年生)	335	213	63.6%
7歳(小学2年生)	344	214	62.2%
8歳(小学3年生)	376	246	65.4%
9歳(小学4年生)	350	232	66.3%
10歳(小学5年生)	289	192	66.4%
11歳(小学6年生)	330	203	61.5%
無回答	-	2	-
計	2,024	1,302	64.3%

中学生調査

区分	調査数	学年内訳	
区立中学校(13校)	1,151	中学1年生	363
		中学2年生	405
		中学3年生	383
私立中学校(7校)	717	中学1年生	243
		中学2年生	246
		中学3年生	228
児童館(21館)	54	中学1年生	28
		中学2年生	11
		中学3年生	15
計	1,922	中学1年生	634
		中学2年生	662
		中学3年生	626

(6) 調査実施機関

株式会社インテージ

【この報告書における調査結果の見方】

調査結果の数値は、回答率(%)で表示している。回答率(%)の母数は、その質問項目に該当する回答者の総数であり、その数はTOTAL及びNで示している。

回答率(%)については、小数点以下第2位を四捨五入し、少数第1位までを表示している。このため、その合計数値は必ずしも100%とはならない場合がある。

回答には、単数回答(は1つ)と複数回答(はいくつでも)の2種類がある。複数回答の場合、その回答率(%)の合計は100%を超える場合がある。

調査結果を示した図表においては、表側から「無回答」の項を省略している場合がある。このような場合、「無回答」の人数(割合)はTOTALのみに計上されているため、各項目の合計値は必ずしも100%とならない場合がある。

図表の問のタイトル及び、回答の選択肢は、簡略化して表現している場合がある。正式な問のタイトル及び、回答の選択肢は、調査票を参照されたい。

2 調査結果（就学前児童の保護者調査、小学生の保護者調査）

（1）調査回答者の子ども、家族の状況

子どもの年齢、学年

	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	無回答
【就学前】 N=1,364	17.9%	17.3%	18.4%	16.8%	13.9%	15.2%	0.5%

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	無回答
【小学生】 N=1,302	16.4%	16.4%	18.9%	17.8%	14.7%	15.6%	0.2%

きょうだいの数、出生順位

きょうだいの数

- ・ 就学前児童では「1人」が39.4%、「2人」が44.9%で、平均は1.8人である。
- ・ 小学生では、「2人」が55.8%、「3人」が22.1%で、平均は2.1人である。

対象となる子どもの出生順位

- ・ 就学前児童では「第1子」が58.3%、「第2子」が32.0%である。
- ・ 小学生では、「第1子」が54.1%、「第2子」が36.1%である。

（きょうだいの数）

	1人	2人	3人	4人以上	無回答	平均
【就学前】 N=1,364	39.4%	44.9%	13.4%	2.3%	-	1.8人
【小学生】 N=1,302	17.5%	55.8%	22.1%	4.4%	0.2%	2.1人

（出生順位）

	第1子	第2子	第3子	第4子以上	無回答
【就学前】 N=1,364	58.3%	32.0%	8.0%	1.6%	0.1%
【小学生】 N=1,302	54.1%	36.1%	8.1%	1.5%	0.2%

居住地域

	四谷	笹笥町	榎町	若松町	大久保	戸塚
【就学前】 N=1,364	9.4%	11.1%	9.6%	10.9%	13.8%	12.2%
	落合第一	落合第二	柏木	角筈	無回答	
	11.0%	10.1%	7.5%	3.4%	0.9%	

	四谷	笹笥町	榎町	若松町	大久保	戸塚
【小学生】 N=1,302	9.6%	11.5%	10.8%	11.2%	11.4%	10.1%
	落合第一	落合第二	柏木	角筈	無回答	
	11.1%	13.8%	7.2%	2.5%	0.8%	

親との同居の状況

- ・ 小学生の方が、「両親はいるが、どちらか一方と別居（単身赴任、入院を含む）」（就学前 2.6%、小学生 4.5%）「ひとり親家庭」（就学前児童 4.7%、小学生 8.8%）で割合が高くなっている。

	両親（母親・父親）と同居	両親はいるが、どちらか一方と別居（単身赴任、入院を含む）	ひとり親家庭（死別、離婚、未婚など）	その他・無回答
【就学前】 N=1,364	92.5%	2.6%	4.7%	0.1%
【小学生】 N=1,302	85.5%	4.5%	8.8%	1.2%

親以外との同居の状況

- ・ 祖父または祖母と一緒に暮らしている（三世代世帯の）割合は、小学生の方が多く（就学前児童 13.5%、小学生 20.7%）なっている。

[複数回答]

	祖父または祖母と一緒に暮らしている	子どもの兄弟姉妹と一緒に暮らしている	親と宛名の子どもだけで暮らしている	その他・無回答
【就学前】 N=1,364	13.5%	52.8%	38.2%	6.4%
【小学生】 N=1,302	20.7%	70.1%	19.0%	5.8%

調査対象となっている子どもを含めた同居人数

- ・ 就学前児童は、「3人」が 34.1%、「4人」が 39.6%で、平均は 4.0 人である。
- ・ 小学生は、「4人」が 43.9%、「5人」が 22.9%で、平均は 4.3 人である。

	2人	3人	4人	5人	6人以上	無回答	平均
【就学前】 N=1,364	2.9%	34.1%	39.6%	14.8%	8.6%	0.1%	4.0人
【小学生】 N=1,302	4.0%	15.3%	43.9%	22.9%	13.7%	0.2%	4.3人

親の就労状況

- ・ 母親と父親の就労状況の組み合わせで、最も多いのは就学前児童・小学生ともに「母親：無職、父親：フルタイム」(就学前児童 45.7%、小学生 33.7%)である。

母親	無職	フルタイム	パート・アルバイト	自営業・家族従業	無職	その他・無回答
父親	フルタイム	フルタイム	フルタイム	自営業・家族従業	自営業・家族従業	
【就学前】 N=1,364	45.7%	16.7%	8.3%	6.5%	6.4%	16.4%
【小学生】 N=1,302	33.7%	11.1%	16.9%	9.7%	4.3%	24.3%

看護や介護の必要な同居家族等の有無

- ・ 同居家族や近くに住む親せきで、老齢や障害、病気療養中など、看護や介護の必要な人がいる割合は、小学生の方が多く(就学前児童 17.6%、小学生 23.1%)になっている。

	いる	いない	無回答
【就学前】 N=1,364	17.6%	82.0%	0.4%
【小学生】 N=1,302	23.1%	76.6%	0.3%

住まいの近くに子どもの世話を頼める親族・友人等の有無

- ・ 就学前児童では「気軽ではないが、いざというときには頼める人が近くにいる」と回答した人が最も多くなっている。
- ・ 小学生では「近くに気軽に頼める人がいる」と回答した人が最も多くなっている。
- ・ 「特に頼める人はいない」世帯が、就学前では 20.2%、小学生では 15.9%みられる。

	近くに気軽に頼める人がいる	気軽ではないが、いざという時には頼める人が近くにいる	近くではないが、頼める人がいる	特に頼める人はいない	無回答
【就学前】 N=1,364	29.3%	33.5%	16.1%	20.2%	1.0%
【小学生】 N=1,302	37.6%	33.3%	12.6%	15.9%	0.6%

主に子どもの世話をしている保護者

- 子どもの身の回りの世話などをしているのは、「主に母親」であり、就学前児童の98.0%、小学生の95.5%を占める。

	主に母親	主に父親	祖父、祖母、兄弟	その他の親族	その他・無回答
【就学前】 N=1,364	98.0%	0.6%	0.7%	-	0.7%
【小学生】 N=1,302	95.5%	1.3%	1.9%	0.1%	1.2%

主に子どもの世話をしている保護者の就労状況

- 主に子どもの世話をしている保護者のうち「就労している」割合は、就学前児童では38.9%、小学生では54.2%である。
- 就学前児童では「以前は就労していたが、現在は就労していない」が最も多いが、小学生になると「就労している」人が最も多くなっている。

(就労状況)

	就労している	産休・育休・ 介護休業中	以前就労していたが 現在就労していない	これまでに就労 したことはない	その他・無回答
【就学前】 N=1,364	38.9%	3.6%	48.1%	7.2%	2.3%
【小学生】 N=1,302	54.2%	0.6%	31.6%	10.4%	3.1%

今後働く意思

- 就学前児童の60.1%が「子育てがある程度落ちついたら働きたい」と考えており、「働く意思はあるが子どもの預け先がないので仕事が探せない」と回答した人が10.5%みられ、今後の就労意欲は高くなっている。
- 小学生では、「仕事を探している（求職活動中である）」「いい仕事があれば働いてみたい」との回答が、それぞれ就学前児童の約3倍（「求職中」3.1倍、「いい仕事があれば」2.8倍）あり、今後の就労をより具体的に考えていることがうかがえる。

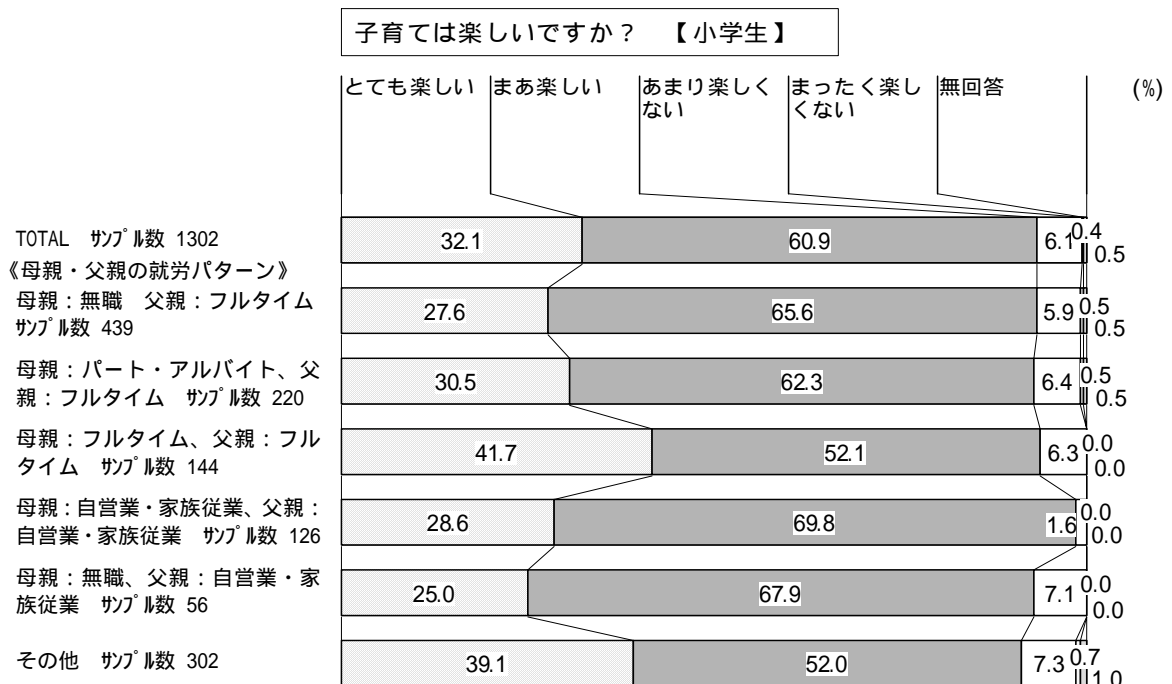
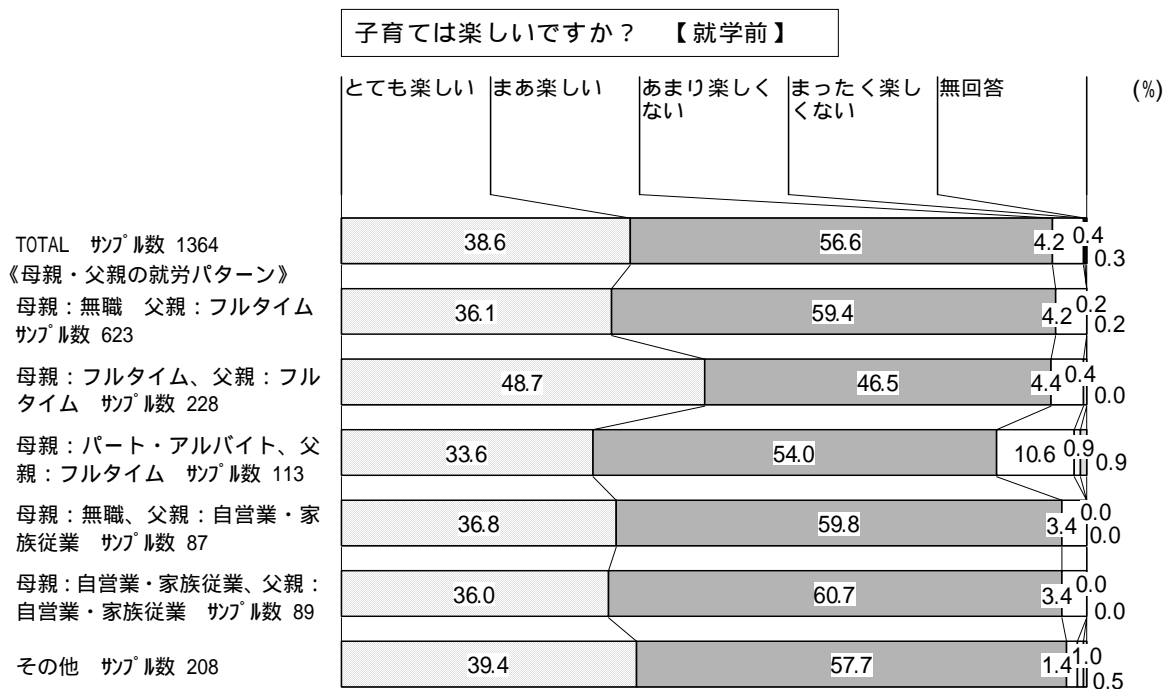
(今後の就労意向)

	仕事を探している(求職活動中である)	働く意思はあるが子どもの預け先がないので仕事が探せない	具体的に働く予定がある	子育てがある程度落ちついたら働きたい	いい仕事があれば働いてみたい	働くつもりはない・病気等のために働けない	わからない・無回答
【就学前】 N=754	2.1%	10.5%	1.1%	60.1%	7.7%	10.3%	8.2%
【小学生】 N=548	6.6%	4.6%	1.5%	42.2%	21.7%	15.3%	8.2%

(2) 子育てについて

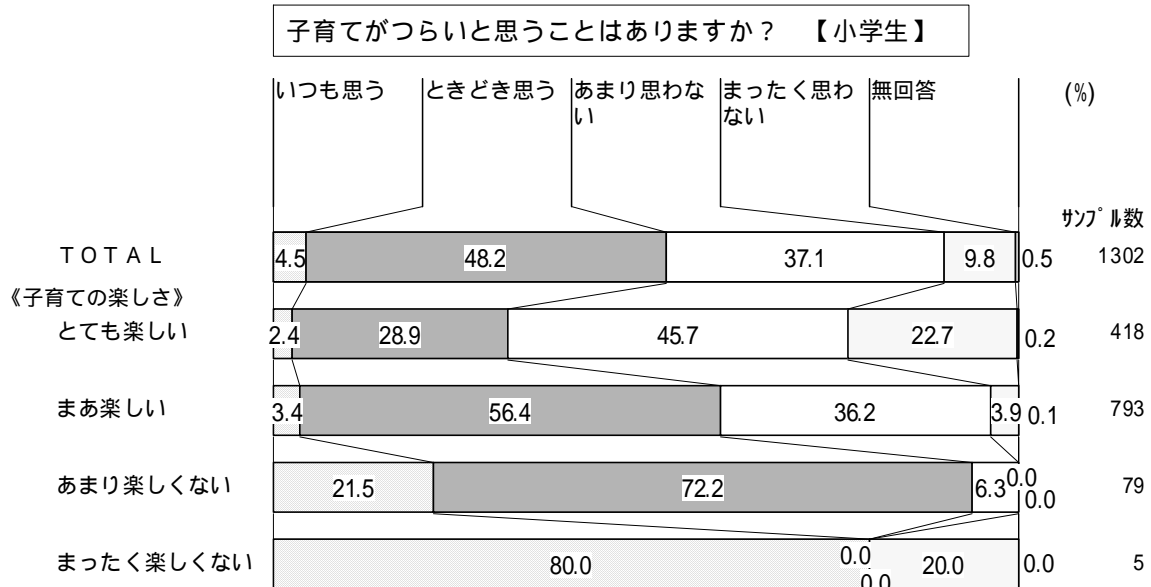
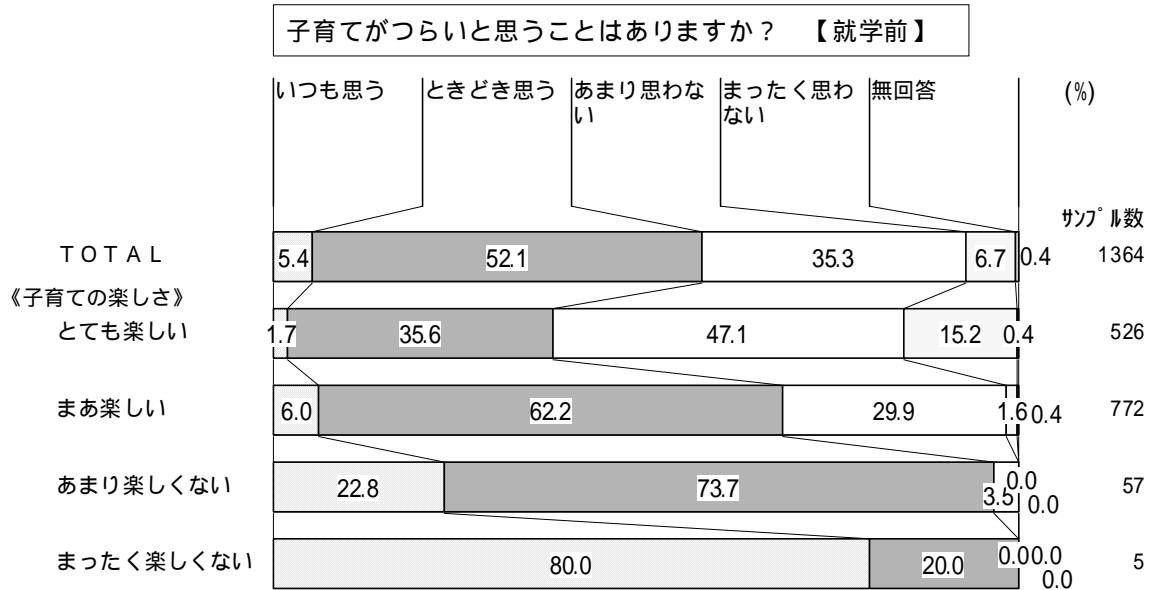
子育ての楽しさ

- ・ 子育てを「楽しい」と思っている保護者は、「とても楽しい」「まあ楽しい」をあわせると、就学前児童・小学生とも9割以上(就学前児童 95.2%、小学生 93.0%)いる。
- ・ 一方、「まったく楽しくない」と回答している保護者も、就学前児童と小学生のそれぞれ0.4%いる。
- ・ 母親・父親の就労パターン別にみると、対象数の多い5つの組み合わせの中では、就学前児童・小学生とも「母親：フルタイム、父親：フルタイム」で、子育てを「とても楽しい」と回答した割合が最も高くなっている。



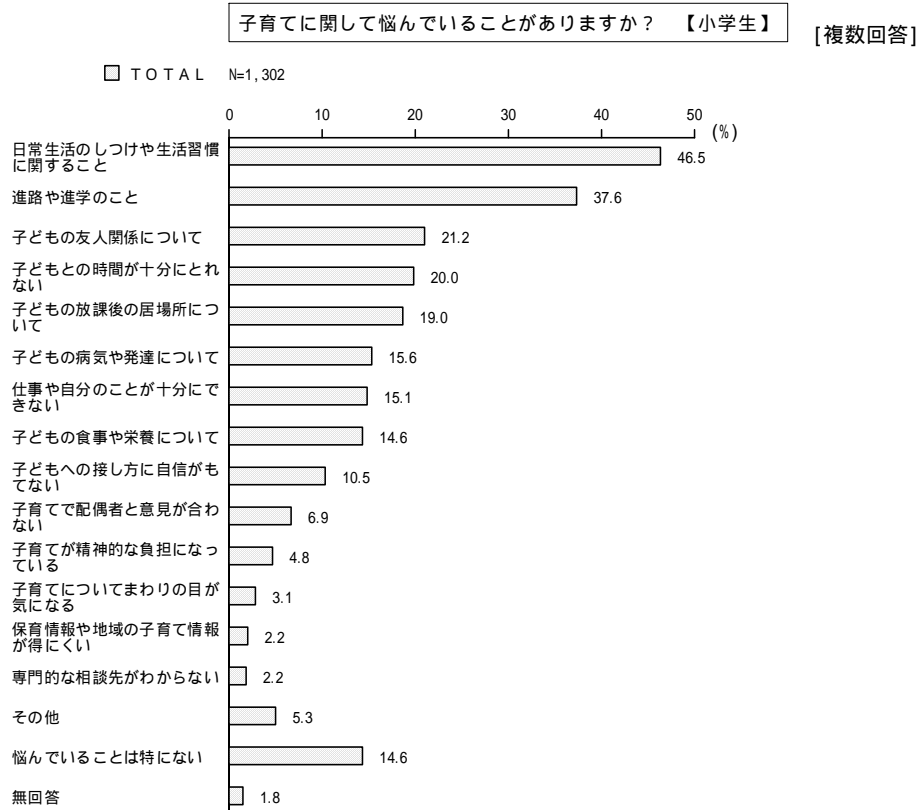
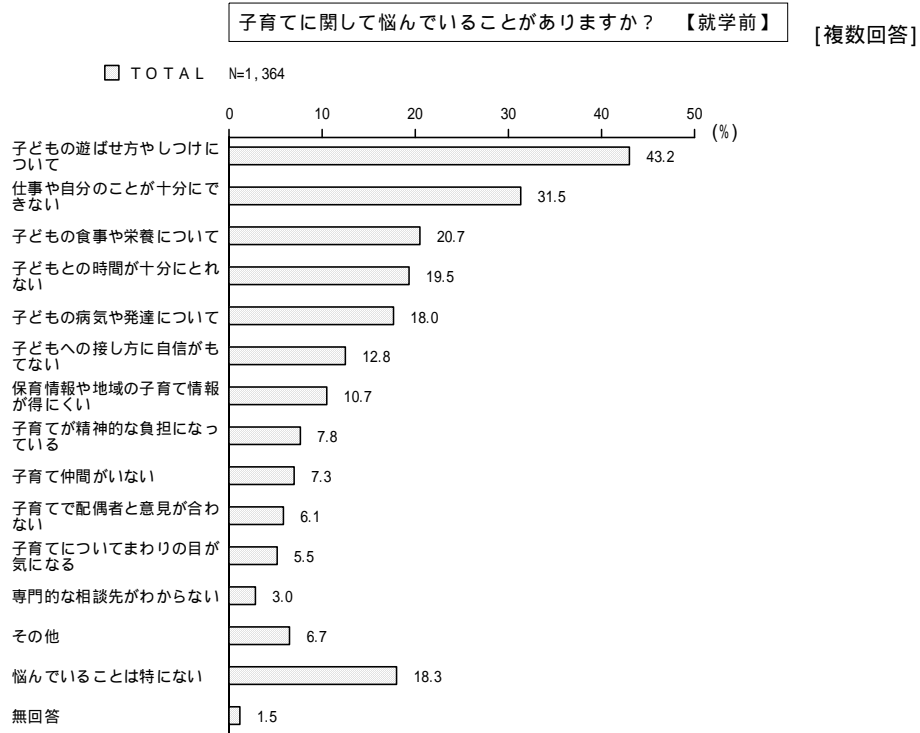
子育てのつらさ

- ・ 子育てが「つらい」と「いつも思う」保護者は、就学前では5.4%、小学生では4.5%、「ときどき思う」人は、就学前では52.1%、小学生では48.2%である。
- ・ 就学前児童の保護者で、子育てを「まったく楽しくない」と回答した5人のうち4人(80.0%)が、子育てが「つらい」と「いつも思う」と回答している。
- ・ 小学生の保護者についても同様に、子育てを「まったく楽しくない」と回答した5人のうち4人(80.0%)が、子育てが「つらい」と「いつも思う」と回答している。



子育ての悩み

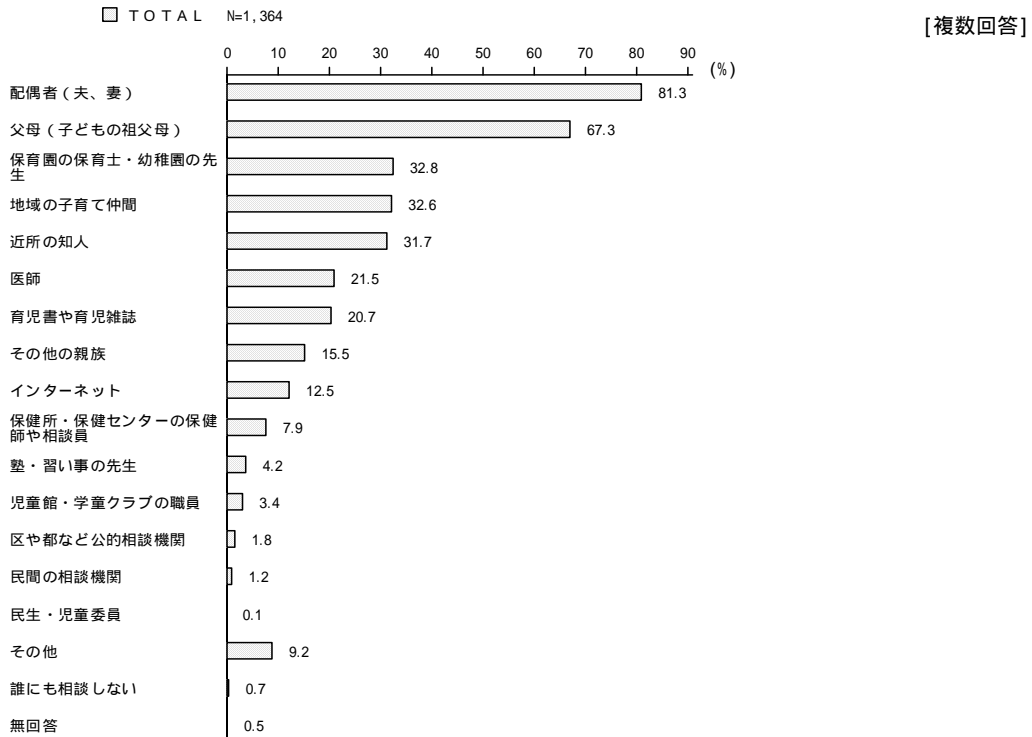
- ・ 最も回答が多いのは就学前、小学生とも「子どものしつけ等に関する事」である。（就学前児童 43.2%、小学生 46.5%）
- ・ 2番目に多い悩みは、就労前児童では「自分の時間が取れないこと」(31.5%)であるが、小学生になると「進路や進学のこと」(37.6%)になる。



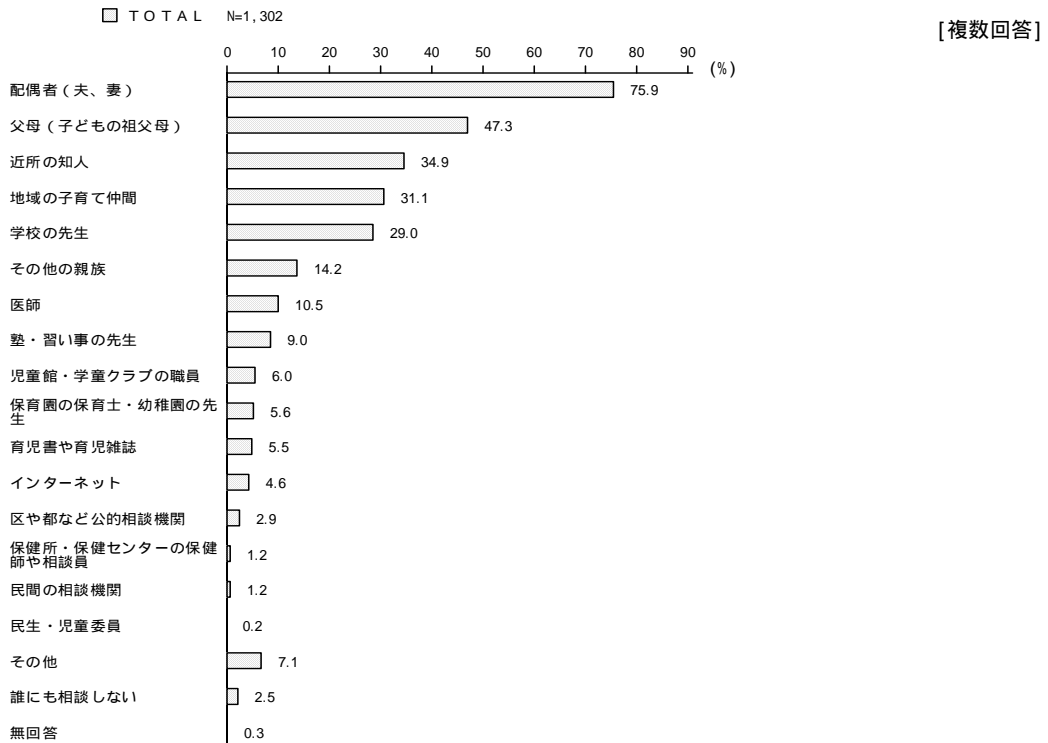
困り事や悩み事の相談先

- ・ 子どものことでわからないことや困ったこと、悩み事があるときの相談先としては、就学前児童・小学生ともに、「配偶者（夫、妻）」（就学前児童 81.3%、小学生 75.9%）をあげる保護者が最も多く、続いて「父母（子どもの祖父母）」（就学前児童 67.3%、小学生 47.3%）となっている。

子どものことで困った事や悩み事があるとき、誰に相談していますか？ 【就学前】



子どものことで困った事や悩み事があるとき、誰に相談していますか？ 【小学生】

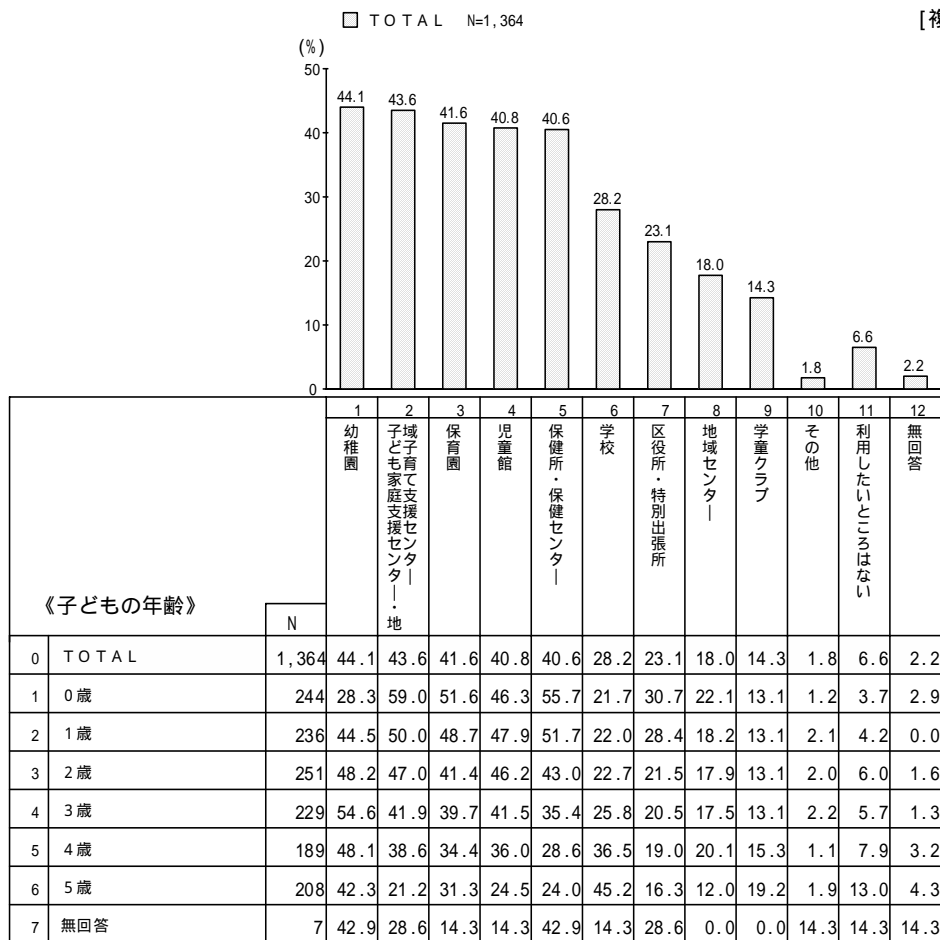


利用したいと思う情報提供機関

年齢・学年別の傾向

- ・ 就学前児童では、年齢が下がるほど利用意向が高くなる機関は、「子ども家庭支援センター・地域子育て支援センター」「保育園」「保健所・保健センター」「区役所・特別出張所」である。特に「子ども家庭支援センター・地域子育て支援センター」については、0歳の利用意向が約6割（59.0%）と高い。
- ・ 小学生においても、学年ごとに利用意向に差がみられるものがある。中でも「学童クラブ」の利用意向は1年生で26.8%と、他の学年に比べて高くなっている。

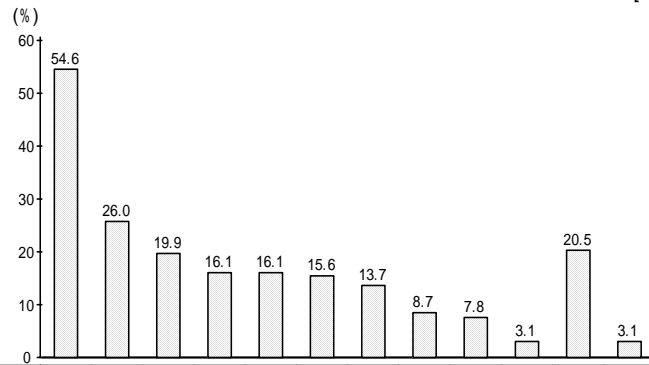
子育てに関する相談や情報提供で利用したいところはどこですか？ 【就学前】



子育てに関する相談や情報提供で利用したいところはどこですか？ 【小学生】

□ TOTAL N=1,302

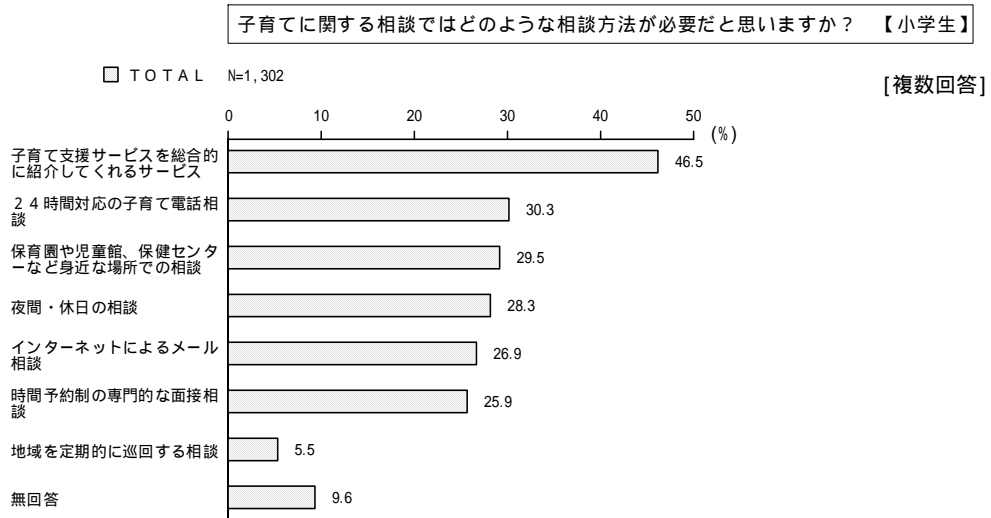
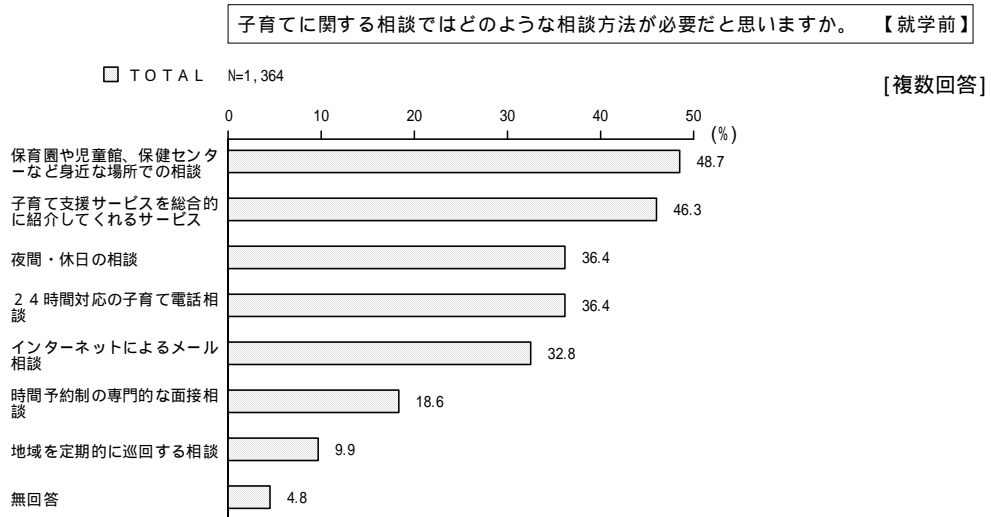
[複数回答]



《子どもの学年》		N	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
			学校	子ども子育て支援センター・地域	児童館	保健所・保健センター	区役所・特別出張所	地域センター	学童クラブ	幼稚園	保育園	その他	利用したいところはない	無回答
0	TOTAL	1,302	54.6	26.0	19.9	16.1	16.1	15.6	13.7	8.7	7.8	3.1	20.5	3.1
1	1年生	213	58.7	25.8	27.2	20.7	12.7	14.6	26.8	16.0	12.2	1.9	14.6	3.8
2	2年生	214	56.5	27.6	25.7	17.3	17.8	17.3	17.8	11.2	9.8	2.8	18.7	3.3
3	3年生	246	54.9	26.8	20.3	15.4	13.4	11.4	17.9	9.8	8.1	4.1	19.9	2.8
4	4年生	232	51.7	26.7	18.1	12.9	14.7	17.2	6.5	5.2	5.6	1.7	23.3	2.6
5	5年生	192	52.6	23.4	14.1	15.1	19.8	19.8	7.3	4.7	5.7	7.3	22.9	2.1
6	6年生	203	53.7	25.1	13.3	15.8	19.7	14.3	5.4	4.9	4.9	1.0	23.6	3.9
7	無回答	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0

必要だと思う相談方法

- ・ 就学前児童では「保育園や児童館、保健センターなど身近な場所での相談」(48.7%)が、最も多くなっている。
- ・ 小学生では「子育て支援サービスを総合的に紹介してくれるサービス」(46.5%)が、最も多くなっている。



(3) 地域での子育て支援について

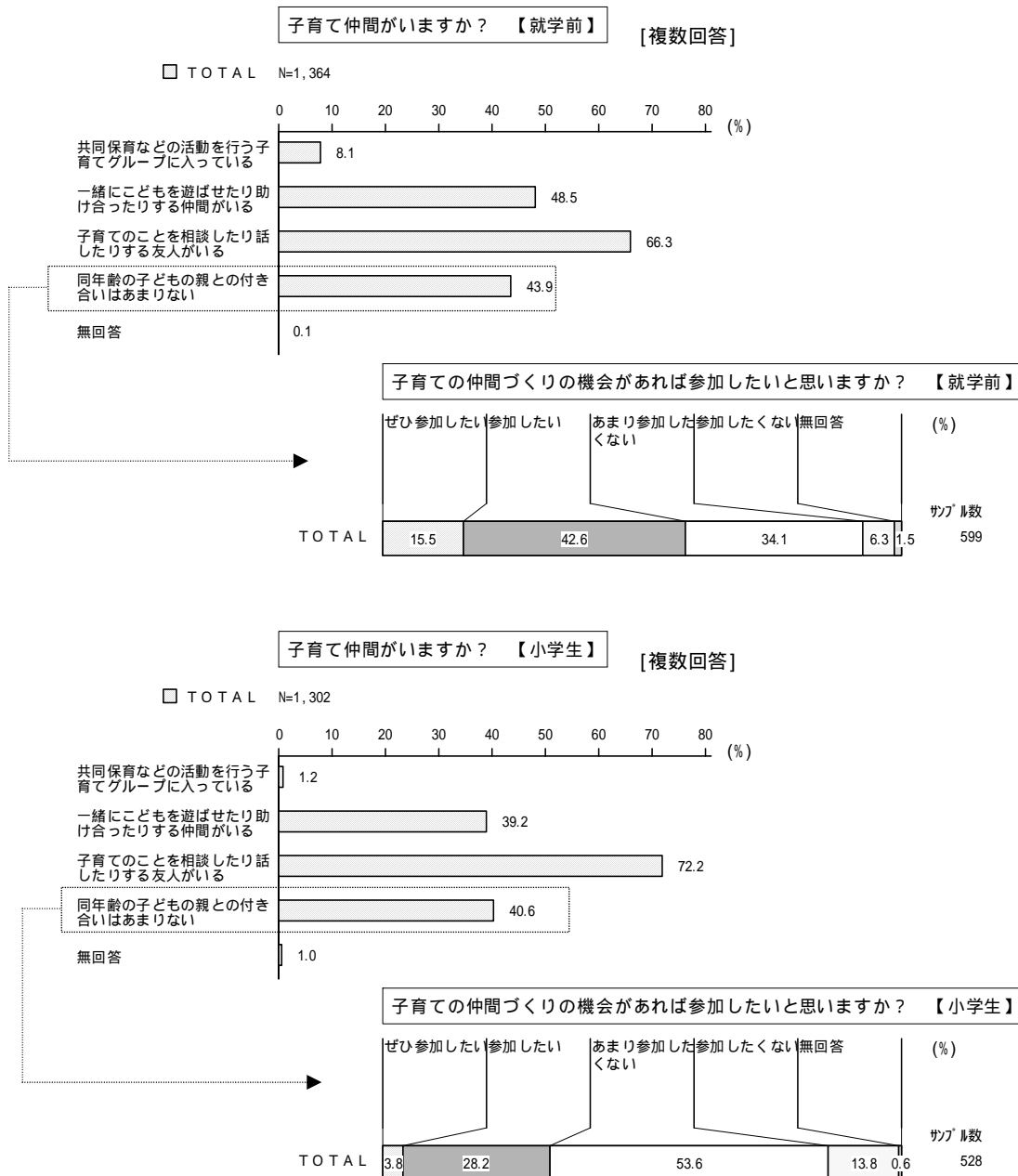
子育て仲間の有無、仲間づくりの機会への参加意向、参加したくない理由

子育て仲間について

・「子育てのことを相談したり話したりする友人がいる」と回答した保護者が最も多く、就学前児童では66.3%、小学生では72.2%となっている。

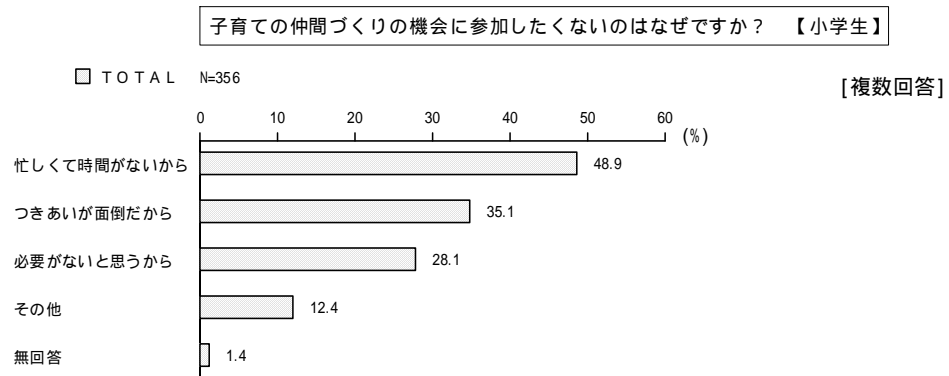
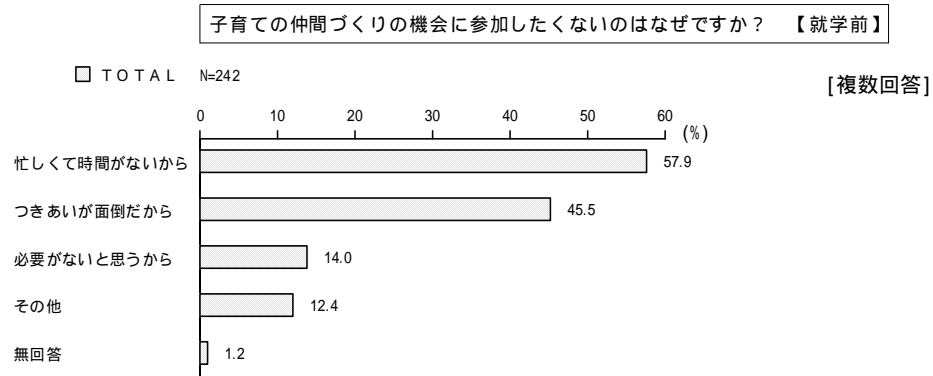
「同年齢の子どもの親との付き合いはあまりない」と回答した保護者の仲間づくりの機会への参加意向

・参加意向（「ぜひ参加したい」「参加したい」）をもつ保護者は就学前児童では約6割（58.1%）いるのに対し、小学生では約3割（32.0%）となっている。



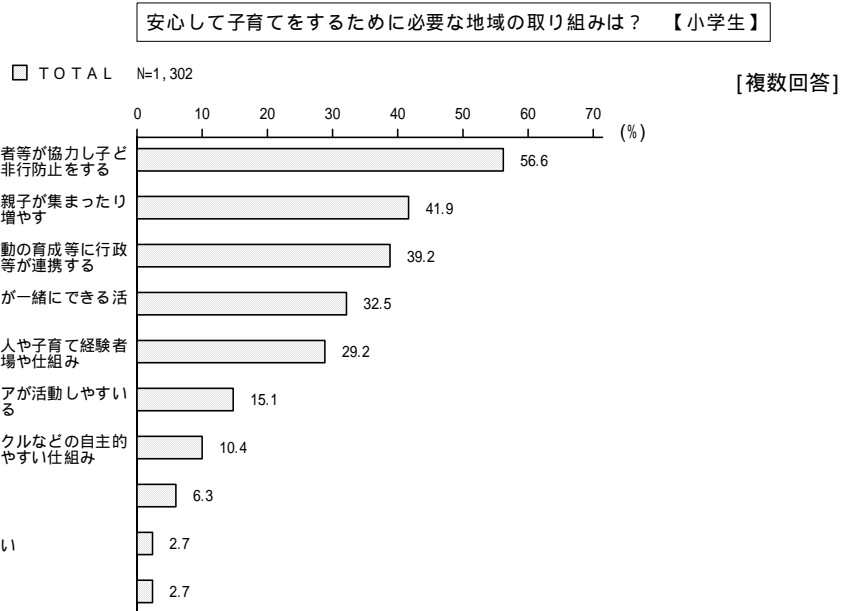
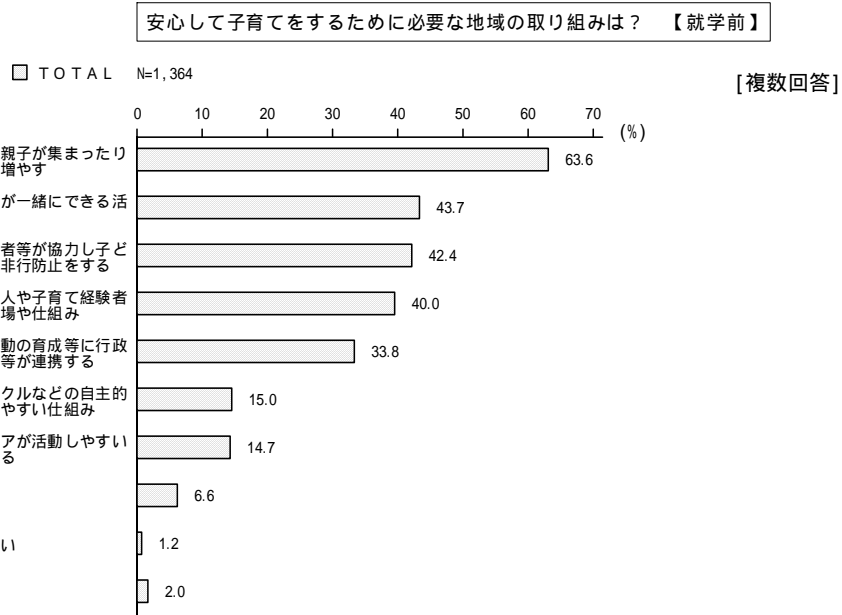
仲間づくりの機会に参加したくない理由

- ・ 就学前児童、小学校ともに「忙しくて時間がないから」と回答した保護者が最も多く、就学前児童では57.9%、小学生では48.9%である。
- ・ 「必要がないと思うから」との回答は、小学生のほうが高く（就学前児童 14.0%、小学生 28.1%）となっている。



安心して子育てをするために、地域で必要だと思う取り組み

- ・ 就学前児童では「子育て中の親子が集まったり、遊べる場を増やす」をあげる保護者が63.6%と最も多く、次いで「子どもと親と一緒にできる活動を増やす」(43.7%)、「学校や保護者等が協力し子どもの安全や非行防止をする」(42.4%)と続いている。
- ・ 小学生では、「学校や保護者等が協力し子どもの安全や非行防止をする」をあげる人が56.6%と最も多く、次いで「子育て中の親子が集まったり、遊べる場を増やす」(41.9%)、「子どもの活動の育成等に行政や地域団体等が連携する」(39.2%)と続いている。



保育や相談などのボランティアへの参加意向

就学前児童の保護者

- ・ 17.3%が「参加してみたい」と回答している。
- ・ 年齢別にみると、「参加してみたい」と回答した保護者の割合は、0歳が20.9%と最も高く、5歳が13.9%と最も低い。

保育や相談などのボランティアに参加したいと思いますか？ 【就学前】							
	参加してみたい	参加したくない	子どもがもう少し大きくなったら参加したい	その他	わからない	無回答	(%)
TOTAL 《子どもの年齢》	17.3	11.5	35.8	2.2	32.7	0.5	サンプル数 1364
0歳	20.9	7.4	34.4	2.9	33.6	0.8	244
1歳	17.8	12.3	33.1	1.7	35.2	0.0	236
2歳	14.7	10.8	37.8	1.6	34.7	0.4	251
3歳	16.2	14.0	37.6	2.2	30.1	0.0	229
4歳	19.6	13.2	37.6	2.6	26.5	0.5	189
5歳	13.9	12.5	35.1	1.9	35.6	1.0	208

小学生の保護者

- ・ 19.6%が「参加してみたい」と回答している。
- ・ 学年別にみると、「参加してみたい」と回答した保護者の割合は、6年生が23.2%と最も高く、1年生が16.0%と最も低い。

保育や遊びなどのボランティア活動に参加したいと思いますか？ 【小学生】							
	参加してみたい	参加したくない	子どもがもう少し大きくなったら参加したい	その他	わからない	無回答	(%)
TOTAL 《子どもの学年》	19.6	15.7	23.5	4.2	35.7	1.2	サンプル数 1302
1年生	16.0	15.5	27.7	3.3	37.1	0.5	213
2年生	21.0	16.8	24.3	2.8	33.2	1.9	214
3年生	18.7	13.4	24.4	4.1	39.0	0.4	246
4年生	20.7	15.5	22.4	3.9	35.3	2.2	232
5年生	18.2	16.1	23.4	5.7	34.9	1.6	192
6年生	23.2	17.2	18.7	5.9	34.0	1.0	203

(4) 住環境について

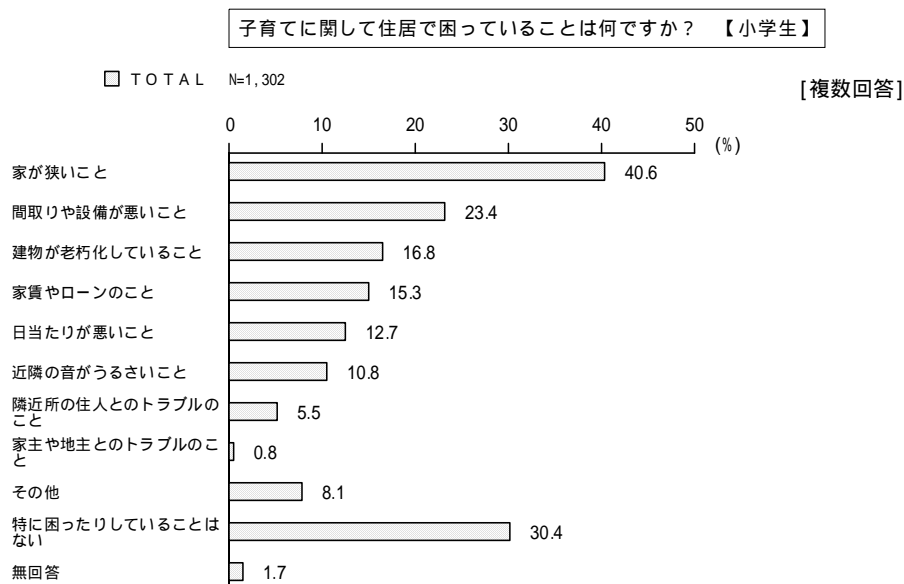
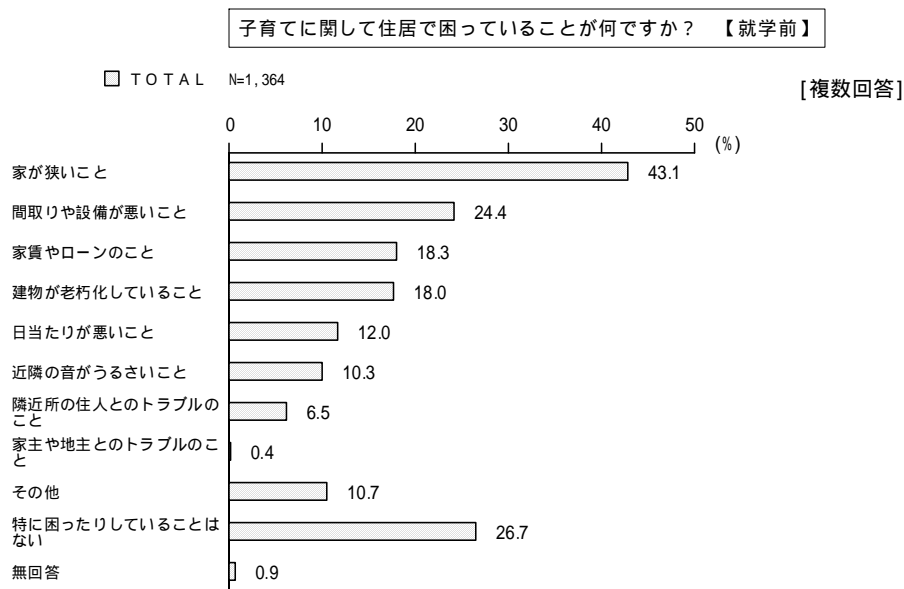
住居の形態

- ・ 住居の形態は、就学前児童では「持ち家（マンション）」が 24.2%と最も多く、小学生では「持ち家（一戸建て）」が 29.8%で最も多くなっている。

	持ち家 (一戸建て)	持ち家 (マンション)	民間賃貸住宅	公的賃貸住宅	給与住宅(社 宅・公務員住宅)	その他	無回答
【就学前】 N=1,364	20.7%	24.2%	23.0%	6.5%	21.8%	3.4%	0.4%
【小学生】 N=1,302	29.8%	23.8%	16.9%	6.5%	18.5%	3.8%	0.8%

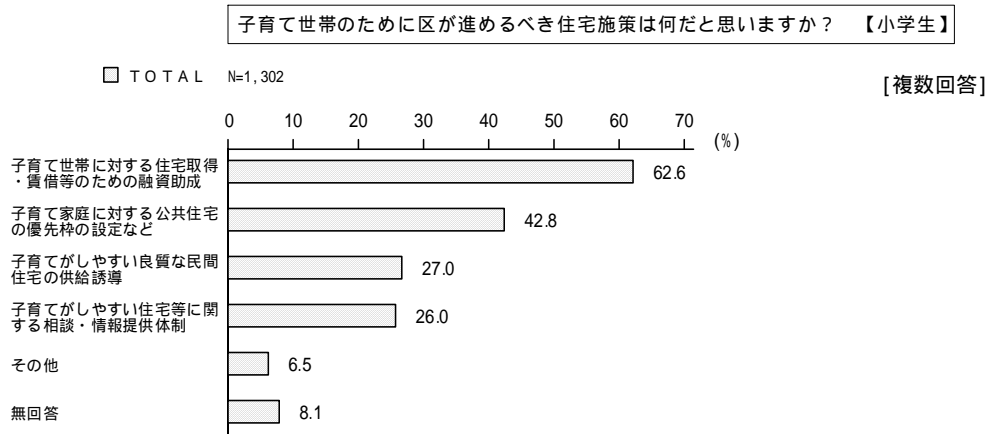
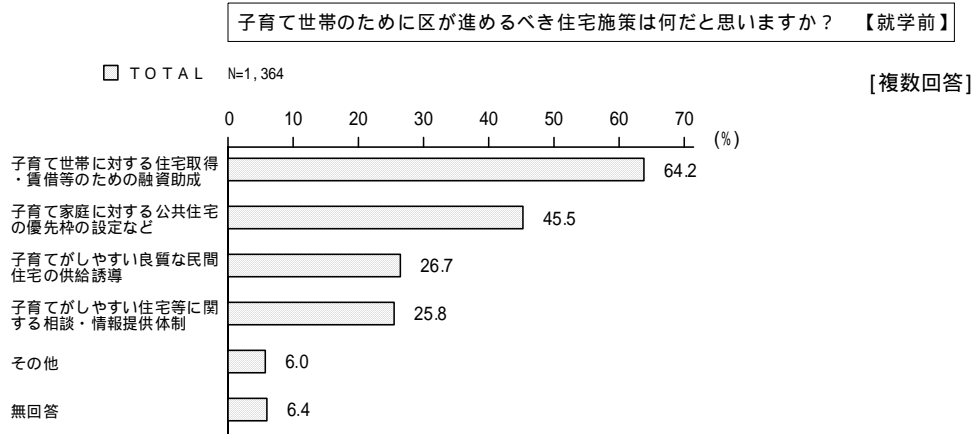
住居に関して困ったり悩んだり不安をもったりすること

- ・ 就学前児童・小学生ともに、「家が狭いこと」をあげる保護者が最も多く（就学前児童 43.1%、小学生 40.6%）になっている。
- ・ 特に困っていないとの回答も、就学前児童では 26.7%、小学生では 30.4%ある。



子育て世帯が住みやすい環境整備のために区が進めるべき住宅施策

- ・ 就学前児童・小学生ともに、「子育て世帯に対する住宅取得・賃借等のための融資助成」をあげる保護者が最も多く（就学前児童 64.2%、小学生 62.6%）になっている。

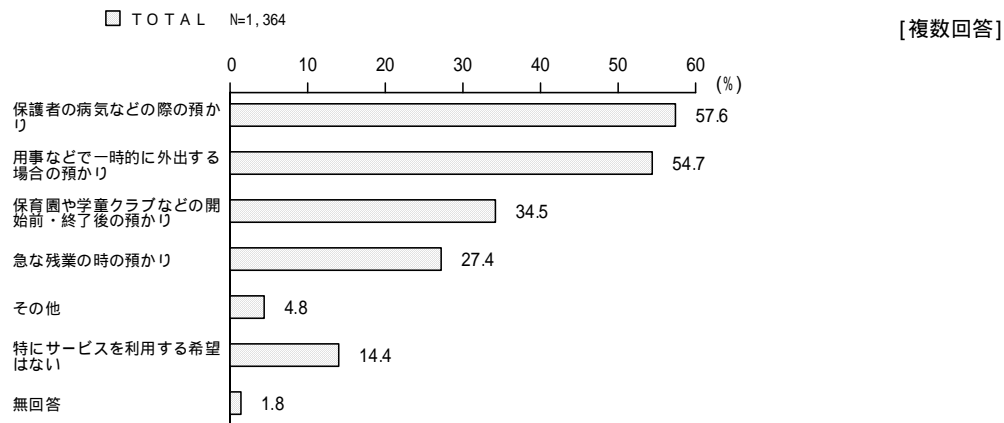


(5) ファミリーサポート事業について

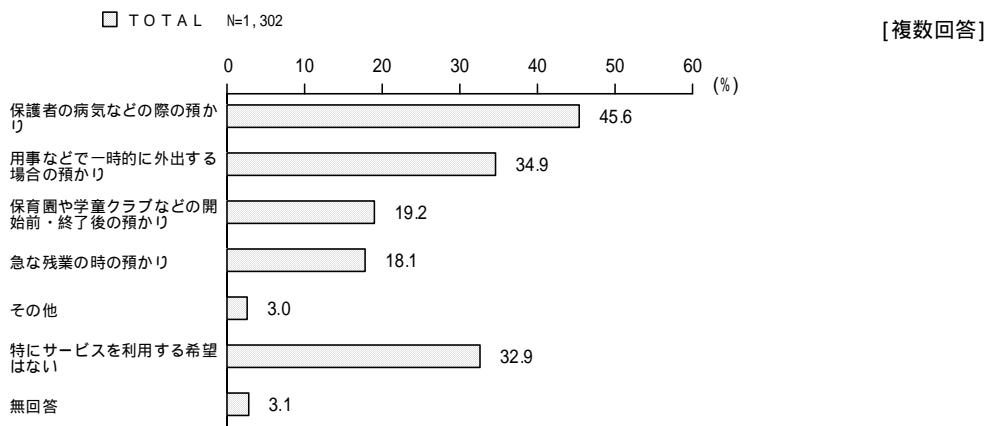
ファミリーサポートを利用したい理由

- ・ 就学前児童、小学生ともに、「保護者の病気などの際の預かり」をあげる保護者が最も多く（就学前児童 57.6%、小学生 45.6%）になっている。
- ・ 「特にサービスを利用する希望はない」と回答した人の割合は、小学生のほうが高く（就学前児童 14.4%、小学生 32.9%）になっている。

どんなときにファミリーサポート事業を利用したいと思いますか？ 【就学前】

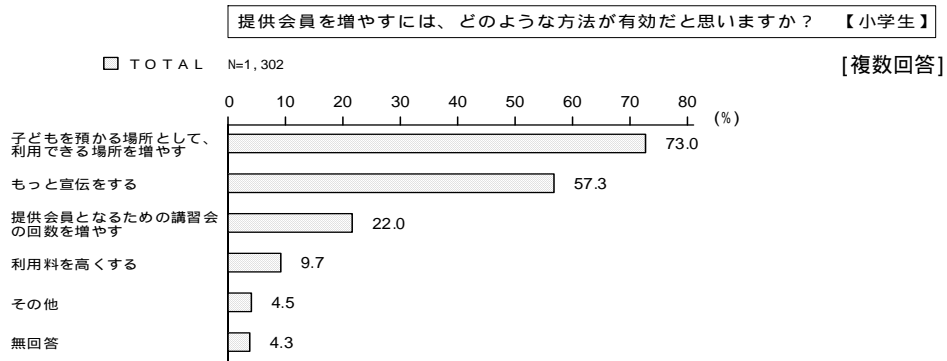
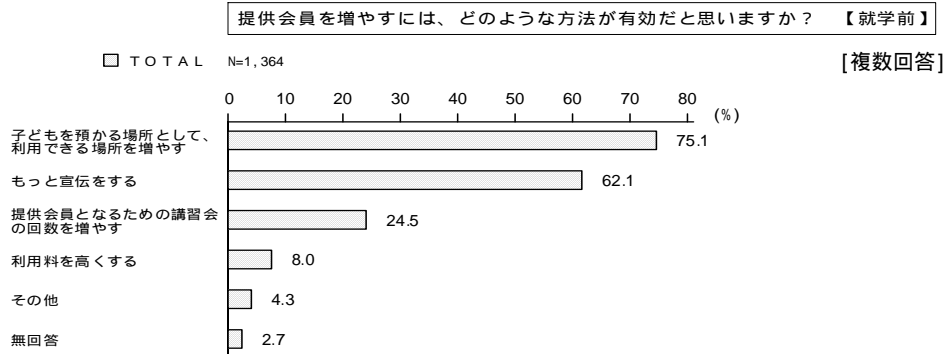


どんなときにファミリーサポート事業を利用したいですか？ 【小学生】



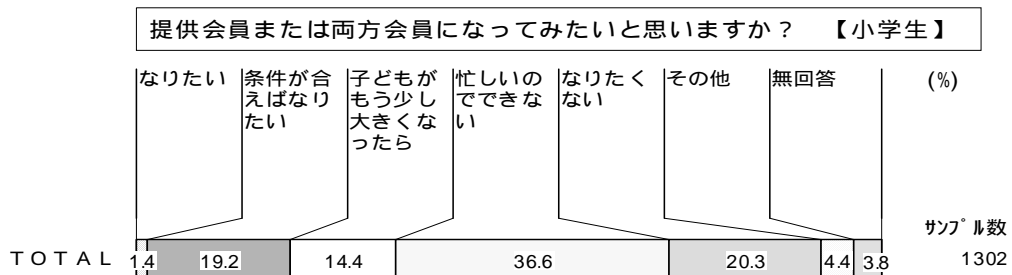
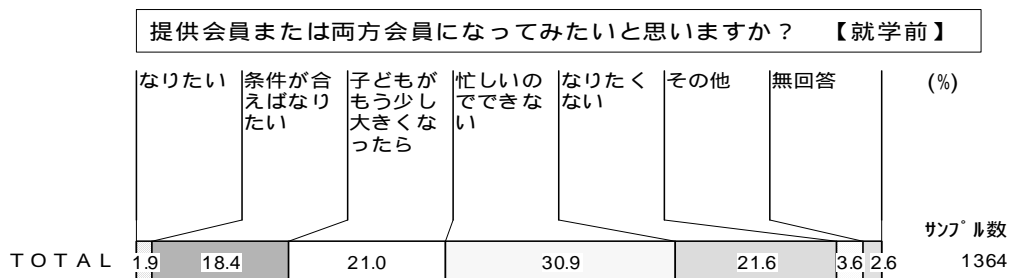
提供会員を増やす方法

- 就学前児童・小学生ともに、「子どもを預かる場所として、利用できる場所を増やす」をあげる保護者が最も多く（就学前児童 75.1%、小学生 73.0%）になっている。



提供会員または両方会員への参加意向

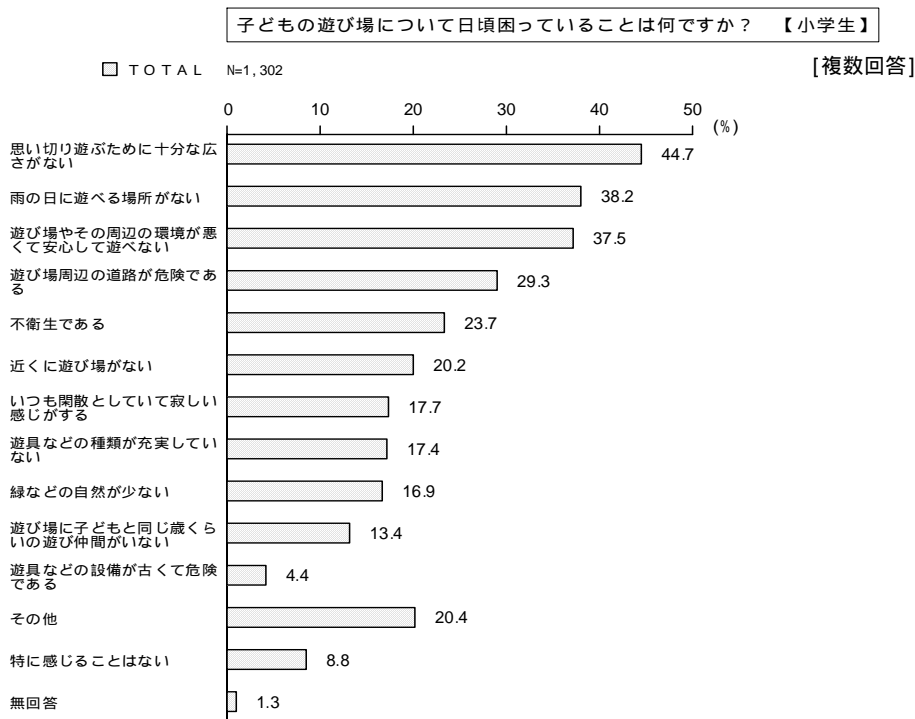
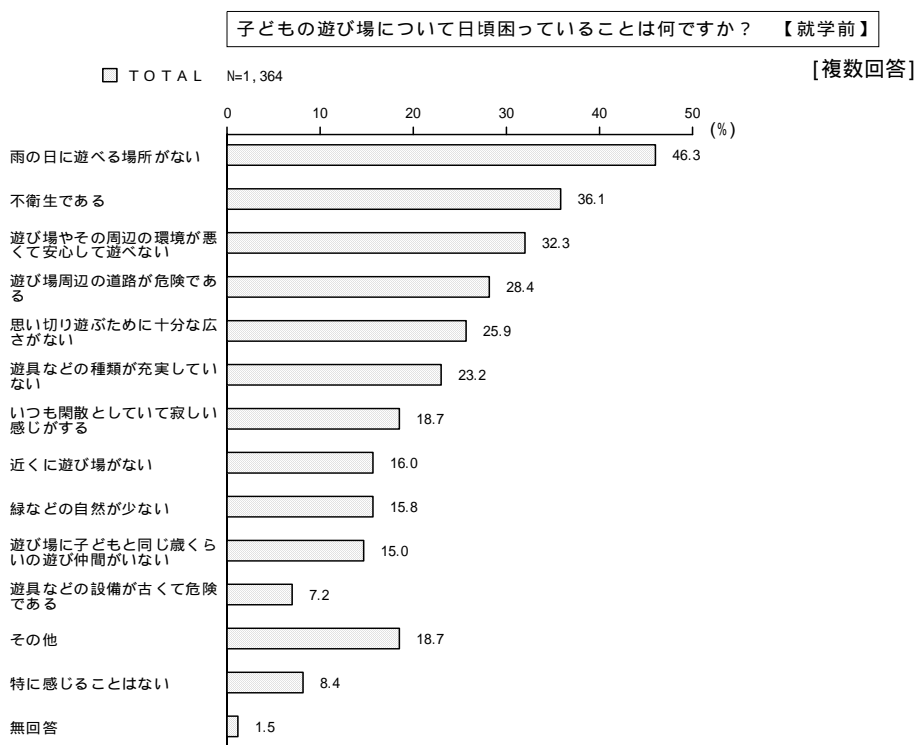
- 「なりたい」と回答したのは就学前児童では 1.9%、小学生では 1.4%、「条件が合えばなりたい」は就学前児童 18.4%、小学生 19.2%となっており、就学前児童と小学生児童の保護者で大きな差はみられない



(6) 子どもの遊び場や外出環境について

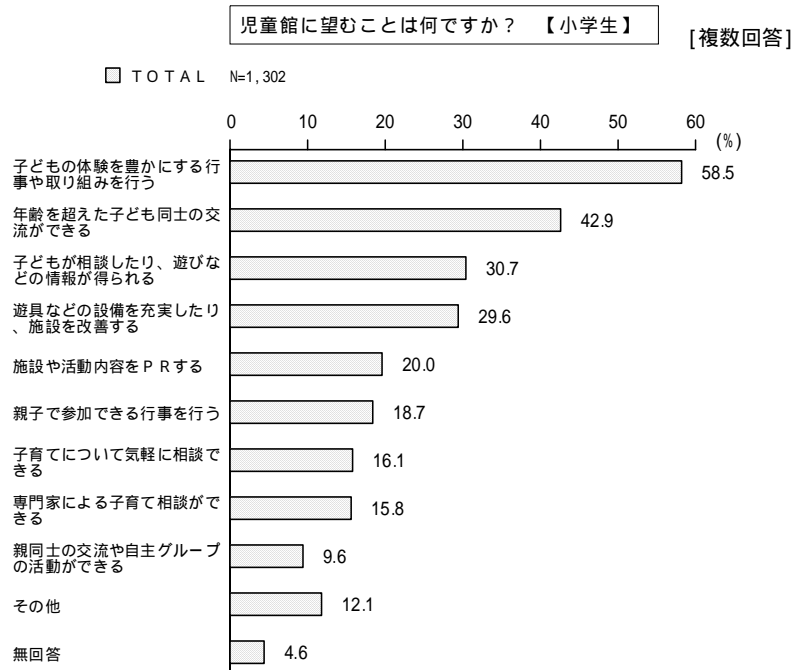
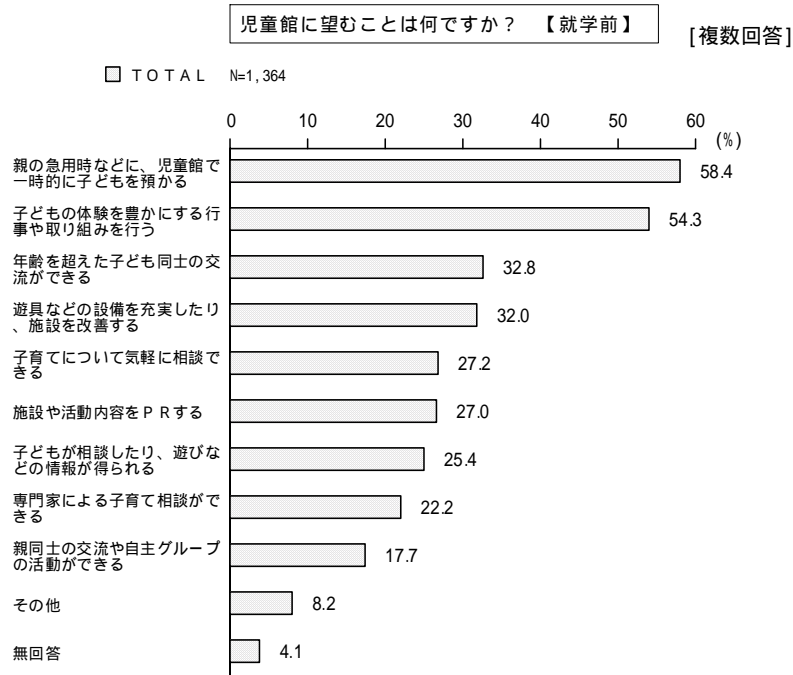
子どもの遊び場で困っていること

- ・ 就学前児童では「雨の日に遊べる場所がない」をあげる保護者が 46.3%と最も多く、次いで「不衛生である」(36.1%)、「遊び場やその周辺の環境が悪く安心して遊べない」(32.3%)と続いている。
- ・ 小学生では、「思い切り遊ぶために十分な広さがない」が 44.7%と最も多く、次いで「雨の日に遊べる場所がない」(38.2%)、「遊び場やその周辺の環境が悪く安心して遊べない」(37.5%)と続いている。



児童館に望むこと

- ・ 就学前児童では「親の急用時などに、児童館で一時的に子どもを預かる」をあげる保護者が58.4%と最も多く、次いで「子どもの体験を豊かにする行事や取り組みを行う」(54.3%)、「年齢を超えた子ども同士の交流ができる」(32.8%)と続いている。
- ・ 小学生では「子どもの体験を豊かにする行事や取り組みを行う」が58.5%と最も多く、次いで「年齢を超えた子ども同士の交流ができる」(42.9%)、「子どもが相談したり、遊びなどの情報が得られる」(30.7%)と続いている。



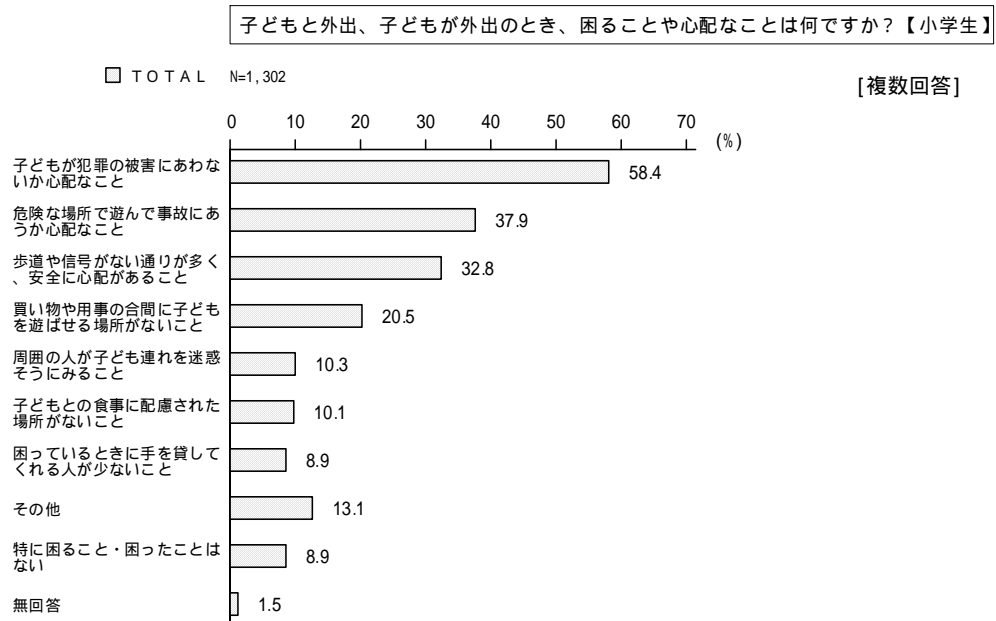
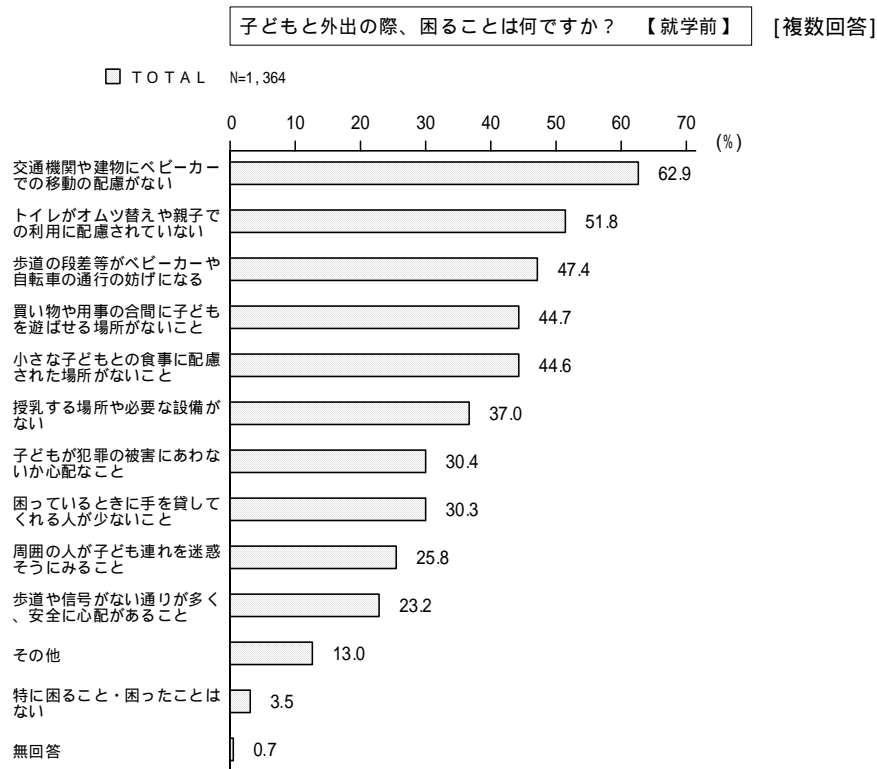
子どもと外出の際に困ること、子どもが外出しているときに心配なこと

就学前児童の保護者が、子どもと外出に際に困ること

- ・ 「交通機関や建物にベビーカーでの移動の配慮がない」をあげる保護者が62.9%と最も多く、次いで「トイレがオムツ替えや親子での利用に配慮されていない」(51.8%)、「歩道の段差等がベビーカーや自転車の通行の妨げになる」(47.4%)と続いている。

小学生の保護者が、子どもと外出の際、あるいは子どもが外出しているときに困っていること

- ・ 「子どもが犯罪の被害にあわないか心配なこと」をあげる保護者が58.4%と最も多く、次いで「危険な場所で遊んでいて事故にあうか心配なこと」(37.9%)、「歩道や信号がない通りが多く、安全に心配があること」(32.8%)と続いている。



(7) 仕事と子育ての両立について

仕事と子育ての両立のために必要なこと

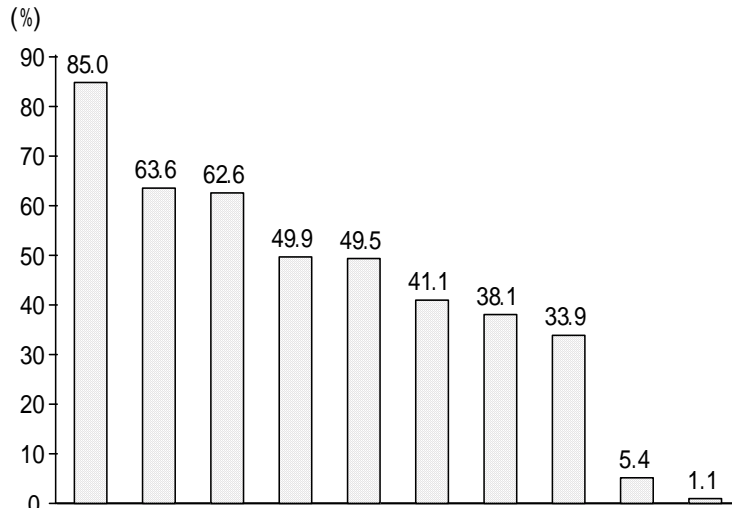
就学前児童

- ・ 「家族の協力」をあげる保護者が85.0%と最も多く、次いで「親の仕事形態に合わせた保育施設やサービスの充実」(63.6%)、「職場の中の意識や理解、協力体制」(62.6%)と続いている。
- ・ 母親・父親の就労パターン別にみると、「母親：フルタイム、父親：フルタイム」で、「親の仕事形態に合わせた保育施設やサービスの充実」「職場の中の意識や理解、協力体制」「労働時間の短縮制度導入」「時間単位の育児休業導入など、育児休業制度の充実」「学童クラブの整備・充実」の5項目が他の就労パターンに比べて高い割合を示している。特に「学童クラブの整備・充実」は他の就労パターンでは2割台、3割台であるのに対し、53.5%と5割を超えている。

仕事と子育ての両立のためには何が必要ですか？ 【就学前】

[複数回答]

□ TOTAL N=1,364



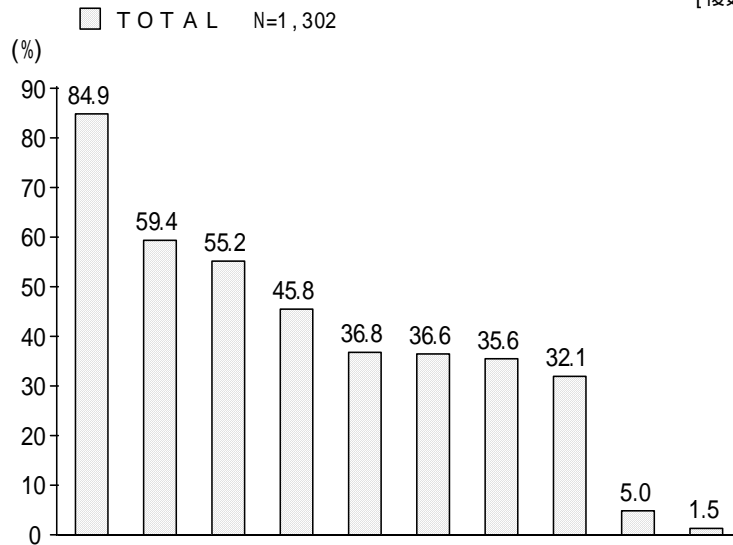
《母親・父親の就労パターン》		N	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
			家族の協力	親の施設やサービスの形態に合わせた保育	職場の中の意識や理解、協力	企業内保育所の整備・充実	子育て後に再就職できる制度	労働時間の短縮制度導入	時間単位の育児休業制度の充実	学童クラブの整備・充実	その他	無回答
0	TOTAL	1,364	85.0	63.6	62.6	49.9	49.5	41.1	38.1	33.9	5.4	1.1
1	母親：無職、父親：フルタイム	623	85.2	62.0	63.9	55.2	56.3	41.4	38.2	27.1	4.3	1.1
2	母親：フルタイム、父親：フルタイム	228	88.2	74.6	71.5	46.1	37.3	54.8	53.1	53.5	9.6	0.9
3	母親：パート・アルバイト、父親：フルタイム	113	85.8	61.1	61.9	40.7	52.2	39.8	30.1	36.3	3.5	0.0
4	母親：無職・父親：自営業・家族従業	87	87.4	54.0	57.5	49.4	54.0	32.2	29.9	20.7	2.3	0.0
5	母親：自営業・家族従業・父親：自営業・家族従業	89	94.4	53.9	41.6	43.8	36.0	20.2	29.2	39.3	2.2	1.1
6	その他	208	75.0	67.8	60.6	47.1	44.2	40.4	34.1	34.6	7.7	1.9
7	無回答	16	87.5	37.5	62.5	37.5	56.3	18.8	25.0	37.5	6.3	6.3

小学生

- ・ 就学前児童と同様、「家族の協力」をあげる保護者が 84.9%と最も多くなっている。次いで「職場の中の意識や理解、協力体制」(59.4%)、「親の仕事形態に合わせた保育施設やサービスの充実」(55.2%)と続いている。
- ・ 母親・父親の就労パターン別にみると、「母親：自営業・家族従事者、父親：自営業・家族従事者」で、「家族の協力」をあげる保護者が 92.1%と9割を超えている。

仕事と子育ての両立のためには何が必要ですか？ 【小学生】

[複数回答]

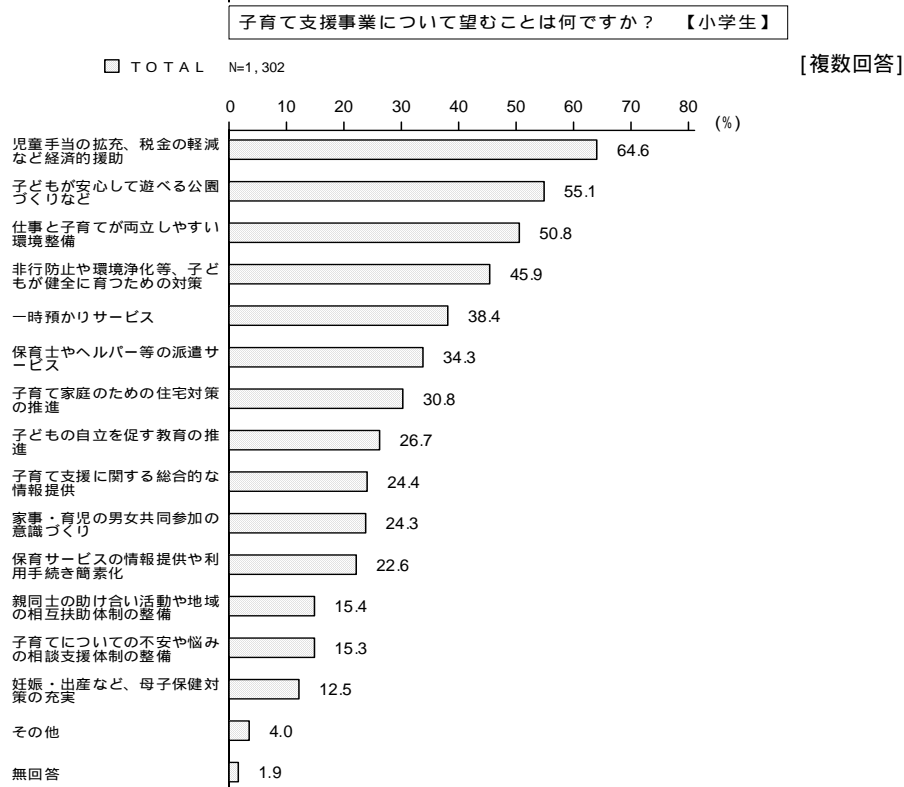
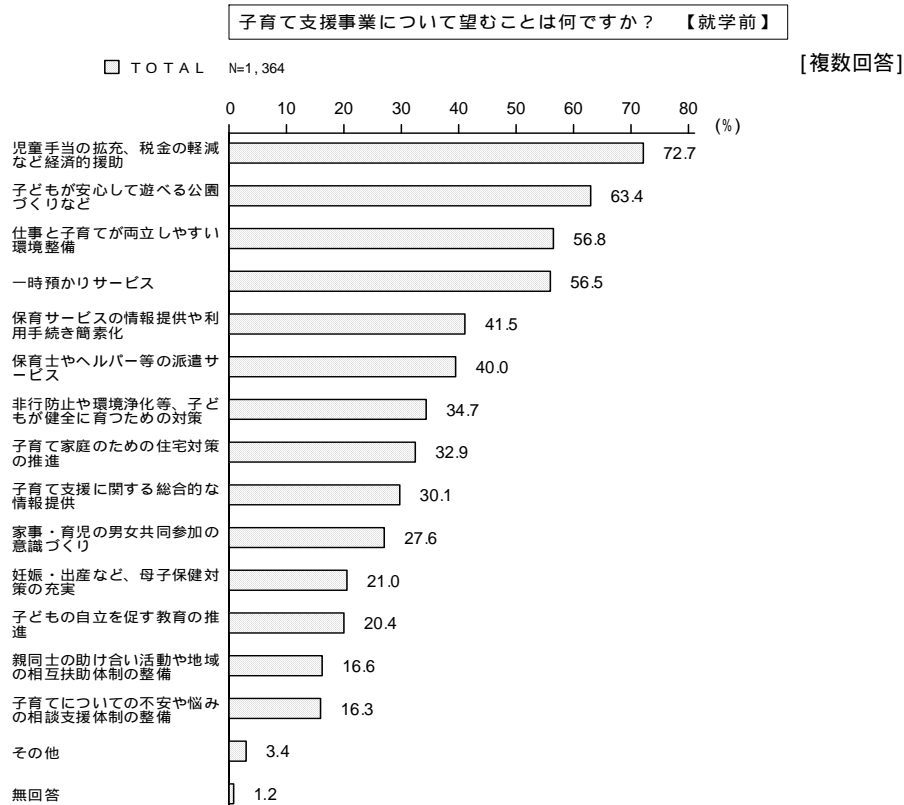


《母親・父親の就労パターン》		N	1 家族の協力	2 職場の中の意識や理解、協力体制	3 親の仕事の形態に合わせた保育施設やサービスの充実	4 子育て後に再就職できる制度	5 労働時間の短縮制度導入	6 企業内保育所の整備・充実	7 学童クラブの整備・充実	8 時、育児休業制度の充実など	9 その他	10 無回答
0	TOTAL	1,302	84.9	59.4	55.2	45.8	36.8	36.6	35.6	32.1	5.0	1.5
1	母親：無職、父親：フルタイム	439	86.8	61.3	50.8	51.0	39.2	39.4	31.7	32.3	3.4	1.1
2	母親：パート・アルバイト、父親：フルタイム	220	89.5	58.6	53.6	50.5	36.8	37.3	35.5	30.9	4.5	1.4
3	母親：フルタイム、父親：フルタイム	144	89.6	69.4	69.4	39.6	50.0	31.9	54.9	45.8	10.4	0.0
4	母親：自営業・家族従業・父親：自営業・家族従業	126	92.1	52.4	60.3	24.6	20.6	29.4	34.1	21.4	1.6	0.0
5	母親：無職・父親：自営業・家族従業	56	87.5	62.5	53.6	53.6	37.5	41.1	25.0	25.0	5.4	1.8
6	その他	302	73.8	55.3	53.6	44.4	34.1	35.4	34.8	31.5	6.6	3.0
7	無回答	15	66.7	53.3	66.7	60.0	26.7	53.3	33.3	40.0	0.0	6.7

(8) 子育て支援事業について

子育て支援事業について望むこと

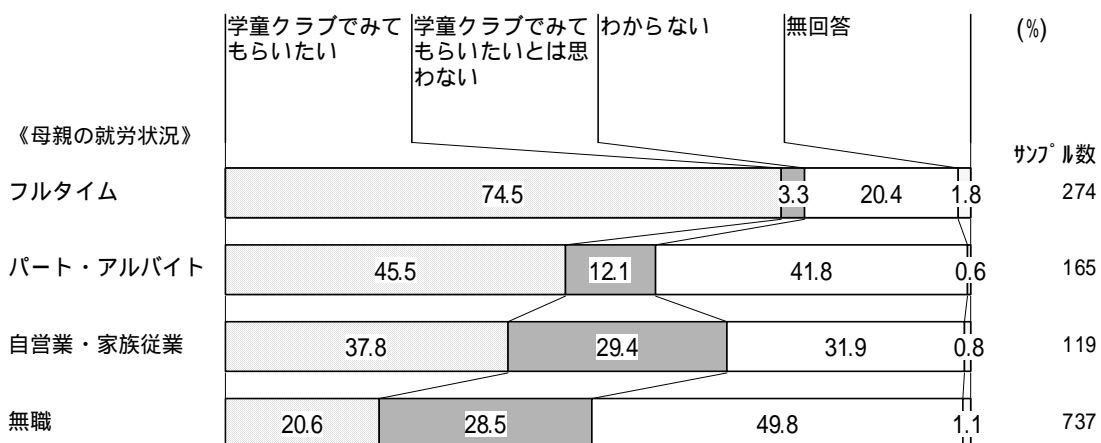
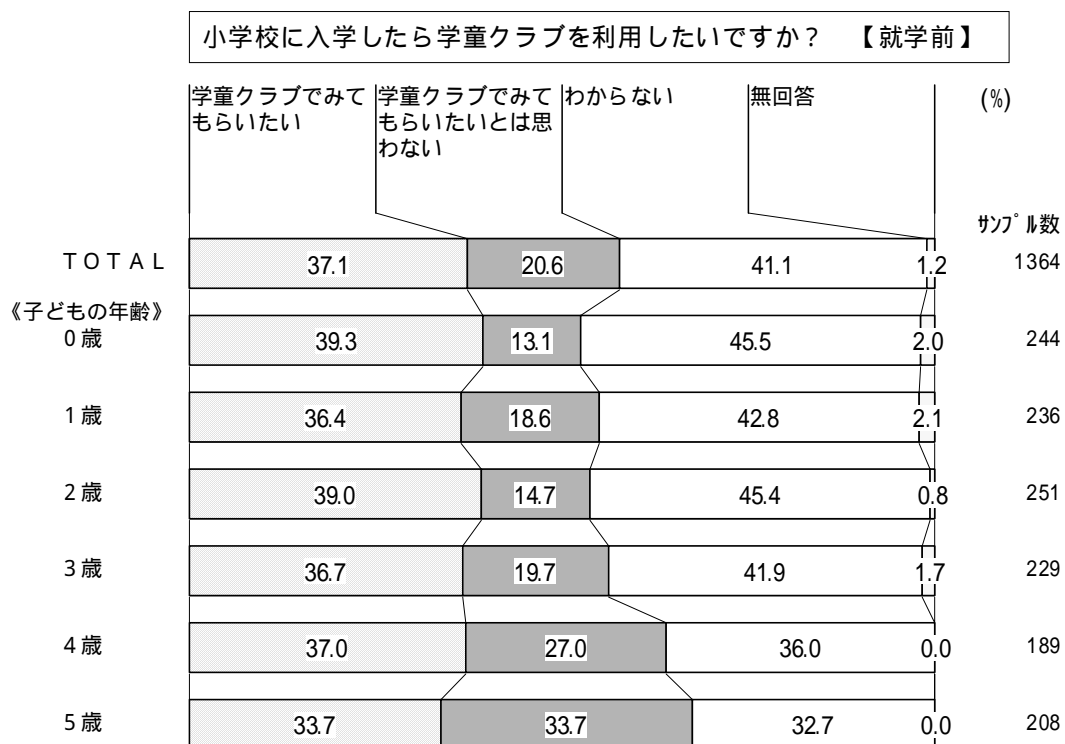
- ・ 就学前児童・小学生ともに、「児童手当の拡充、税金の軽減など経済的な援助」、「子どもが安心して遊べる公園づくりなど」、「仕事と子育てが両立しやすい環境整備」の順で多くあげられている。



(9) 学童クラブの利用について

小学校入学後の学童クラブの利用意向

- ・ 37.1%の保護者が「学童クラブでみてもらいたい」と回答している。
- ・ 年齢別にみると、0歳から4歳は「学童クラブでみてもらいたい」が「学童クラブでみてもらいたいとは思わない」を上回っているが、5歳では「学童クラブでみてもらいたい」と回答した保護者の割合が就学前児童の中で最も低く、「学童クラブでみてもらいたいとは思わない」と同じ33.7%となっている。
- ・ 母親の就労状況別にみると、「学童クラブでみてもらいたい」と回答した保護者の割合は、「フルタイム」で働いている場合では74.5%と特に高くなっているが「無職」の保護者も20.6%が希望している。

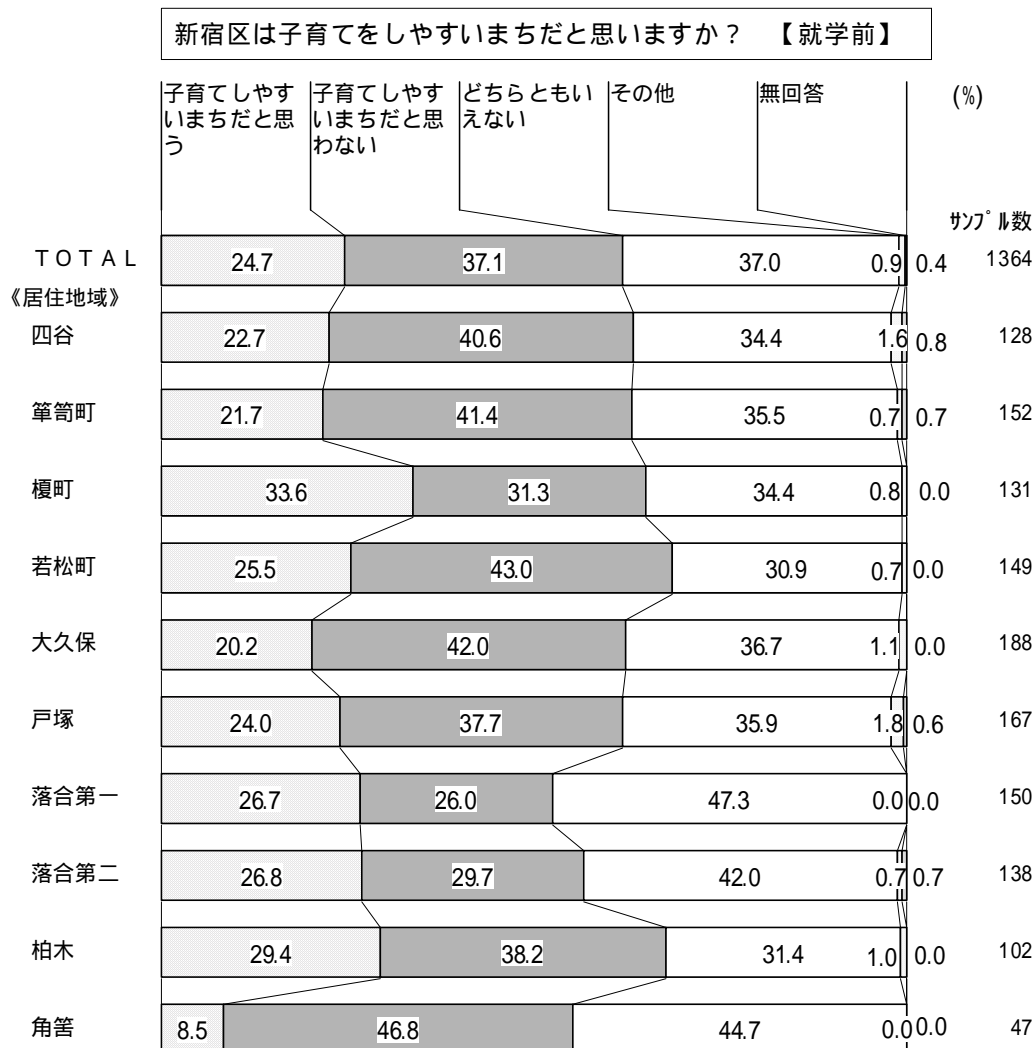


(10) 新宿区の子育て環境について

新宿区の子育て環境

就学前児童

- ・「子育てをしやすいまちだと思う」と回答した保護者は、24.7%、「子育てしやすいまちだとは思わない」が37.1%である。
- ・ 居住地域別にみると、「子育てをしやすいまちだと思う」と回答した保護者の割合が最も高いのは「榎町」の33.6%、最も低いのは「角筈」の8.5%である。

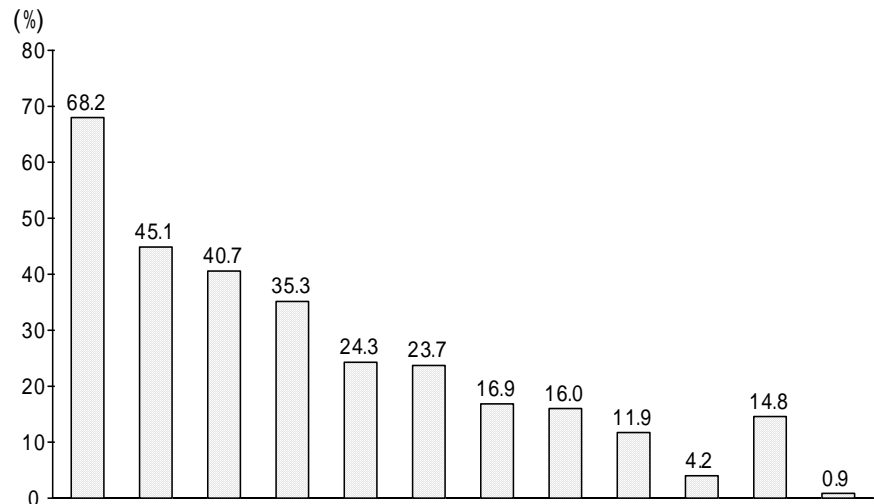


- ・ 子育てをしやすいまちだと思う理由としては、「交通機関が便利」をあげる保護者が 68.2%と最も多く、次いで「保育園、幼稚園などが利用しやすい」(45.1%)、「公園や児童館など子どもの遊び場が多い」(40.7%)と続いている。
- ・ 居住地域別にみると、「四谷」では、2番目に「職場と住居が近い」(62.1%)、4番目に「自然環境がよい」(41.4%)があげられており、この2項目が他の地域に比べて特に高い割合を示している。

子育てをしやすいまちだと思う理由は何ですか？ 【就学前】

□ TOTAL N=337

[複数回答]

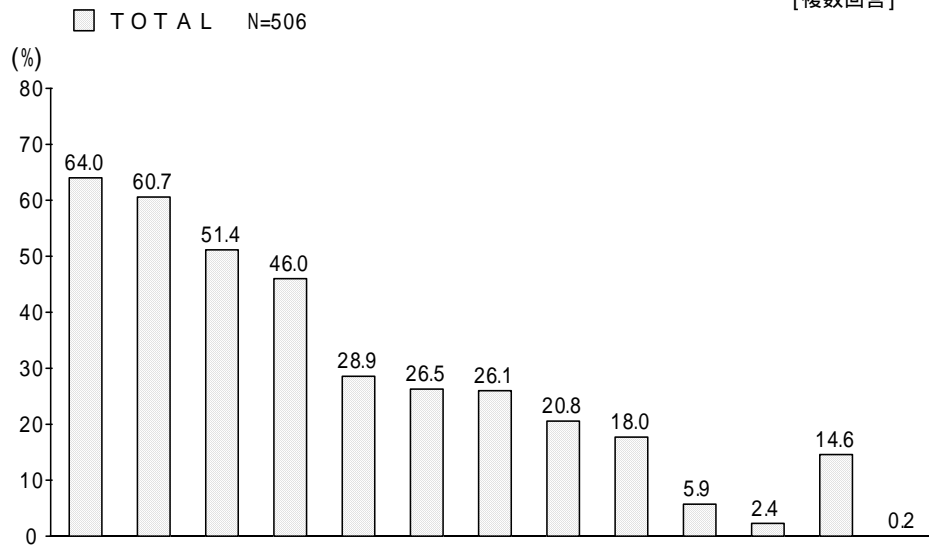


《居住地域》	N	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
		交通機関が便利	やすい、幼稚園などが利用し	び場が多い公園や児童館など子どもの遊	職場と住居が近い	住環境がよい	保育サービスが充実している	自然環境がよい	近所づきあいや地域活動が盛	子育てに関する情報を得やす	地域の子育てネットワークが	その他	無回答
0 TOTAL	337	68.2	45.1	40.7	35.3	24.3	23.7	16.9	16.0	11.9	4.2	14.8	0.9
1 四谷	29	72.4	58.6	37.9	62.1	24.1	20.7	41.4	13.8	6.9	6.9	3.4	0.0
2 笹筒町	33	69.7	30.3	36.4	18.2	39.4	15.2	6.1	15.2	15.2	3.0	15.2	0.0
3 榎町	44	70.5	45.5	38.6	27.3	15.9	22.7	9.1	20.5	9.1	4.5	20.5	2.3
4 若松町	38	68.4	39.5	26.3	42.1	18.4	31.6	13.2	13.2	13.2	0.0	13.2	0.0
5 大久保	38	71.1	55.3	47.4	39.5	13.2	34.2	15.8	13.2	13.2	2.6	28.9	0.0
6 戸塚	40	77.5	37.5	47.5	40.0	20.0	20.0	17.5	12.5	12.5	5.0	12.5	2.5
7 落合第一	40	67.5	45.0	52.5	27.5	37.5	30.0	25.0	15.0	27.5	10.0	10.0	0.0
8 落合第二	37	56.8	35.1	40.5	18.9	32.4	16.2	21.6	18.9	5.4	2.7	13.5	2.7
9 柏木	30	56.7	63.3	33.3	53.3	10.0	26.7	3.3	20.0	3.3	3.3	10.0	0.0
10 角筈	4	100.0	75.0	75.0	25.0	25.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0
11 無回答	4	50.0	25.0	25.0	25.0	100.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0

- ・ 子育てをしやすいまちだとは思わない理由としては、「事故や犯罪が多く危険」をあげる保護者が64.0%と最も多く、次いで「自然環境がよくない」(60.7%)「住環境がよくない」(51.4%)と続いている。
- ・ 居住地域別にみると、「柏木」では「事故や犯罪が多く危険」をあげる保護者の割合が84.6%と他の地域に比べて特に高い。その他、他の地域に比べて高い割合を示している項目としては、「戸塚」の「保育園、幼稚園などが利用しづらい」(41.3%)、「筈町」の「保育サービスが充実していない」(46.0%)、「榎町」の「地域の子育てネットワークができていない」(31.7%)などがある。

子育てをしやすいまちだと思わない理由は何ですか？ 【就学前】

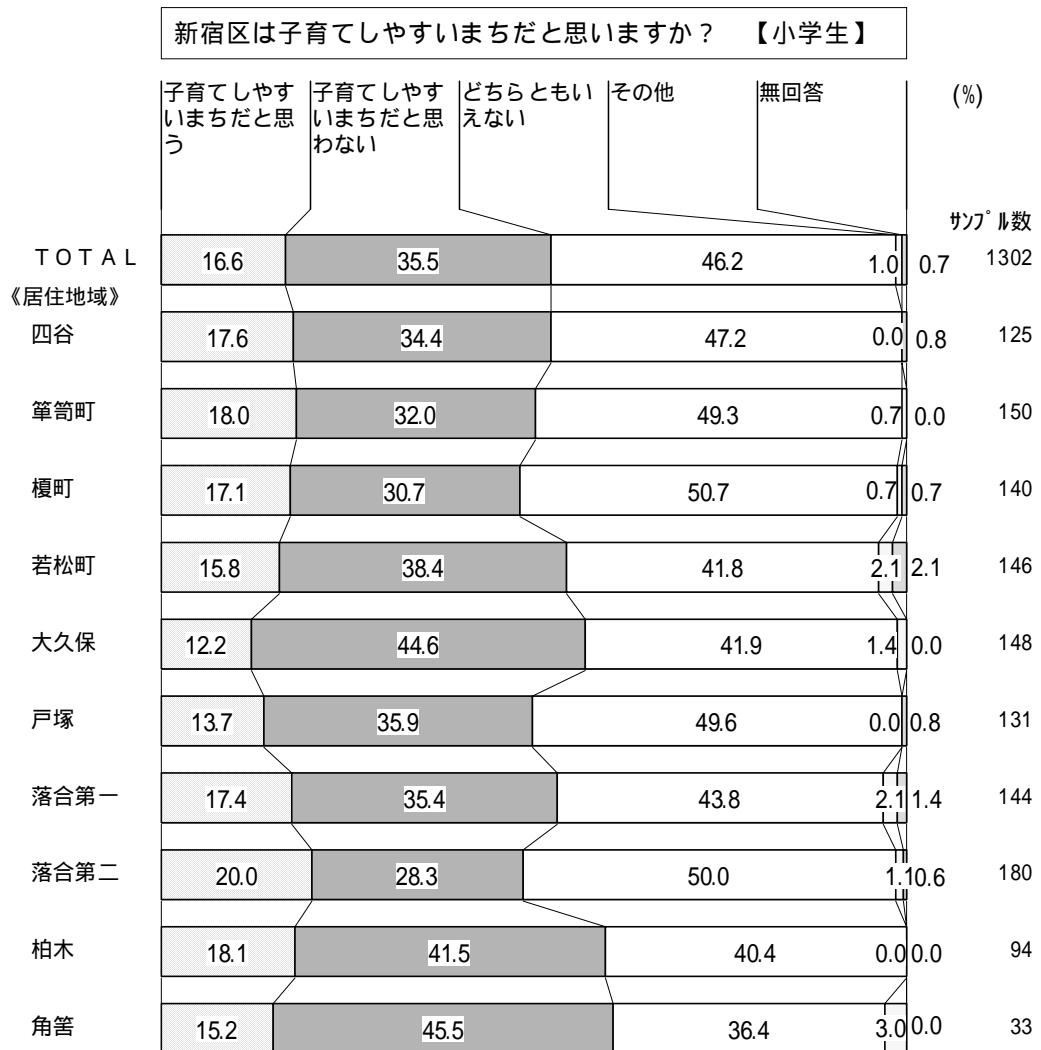
[複数回答]



《居住地域》		N	1 事故や犯罪が多く危険	2 自然環境がよくない	3 住環境がよくない	4 公園や児童館など子どもの遊び場が少ない	5 保育園、幼稚園などが利用しづらい	6 近所づきあいや地域活動が盛んではない	7 保育サービスが充実していない	8 子育てに関する情報を得にく	9 地域の子育てネットワークができていない	10 交通機関が不便	11 職場と住居が遠い	12 その他	13 無回答
0	TOTAL	506	64.0	60.7	51.4	46.0	28.9	26.5	26.1	20.8	18.0	5.9	2.4	14.6	0.2
1	四谷	52	57.7	51.9	50.0	48.1	17.3	23.1	26.9	21.2	9.6	7.7	0.0	25.0	0.0
2	筈町	63	50.8	73.0	47.6	52.4	36.5	34.9	46.0	25.4	19.0	9.5	1.6	14.3	0.0
3	榎町	41	58.5	73.2	46.3	46.3	34.1	24.4	26.8	29.3	31.7	0.0	0.0	17.1	0.0
4	若松町	64	68.8	62.5	57.8	43.8	25.0	31.3	25.0	15.6	23.4	9.4	1.6	14.1	0.0
5	大久保	79	75.9	55.7	53.2	44.3	25.3	20.3	17.7	15.2	11.4	2.5	0.0	11.4	1.3
6	戸塚	63	69.8	50.8	52.4	44.4	41.3	22.2	27.0	19.0	20.6	9.5	7.9	7.9	0.0
7	落合第一	39	51.3	46.2	46.2	38.5	25.6	28.2	17.9	17.9	15.4	5.1	2.6	15.4	0.0
8	落合第二	41	61.0	56.1	43.9	29.3	26.8	24.4	29.3	17.1	22.0	4.9	7.3	9.8	0.0
9	柏木	39	84.6	79.5	66.7	56.4	23.1	30.8	10.3	17.9	10.3	0.0	0.0	7.7	0.0
10	角筈	22	54.5	63.6	50.0	63.6	36.4	31.8	36.4	45.5	22.7	9.1	4.5	31.8	0.0
11	無回答	3	0.0	66.7	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0

小学生

- ・ 「子育てをしやすいまちだと思う」と回答した保護者は、16.6%、「子育てをしやすいまちだとは思わない」が35.5%である。「子育てをしやすいまちだと思う」と回答した保護者の割合は、就学前児童の保護者に比べて8.1ポイント低くなっている。
- ・ 居住地域別にみると、「子育てをしやすいまちだと思う」と回答した保護者の割合が最も高いのは「落合第二」の20.0%、最も低いのは「大久保」の12.2%である。

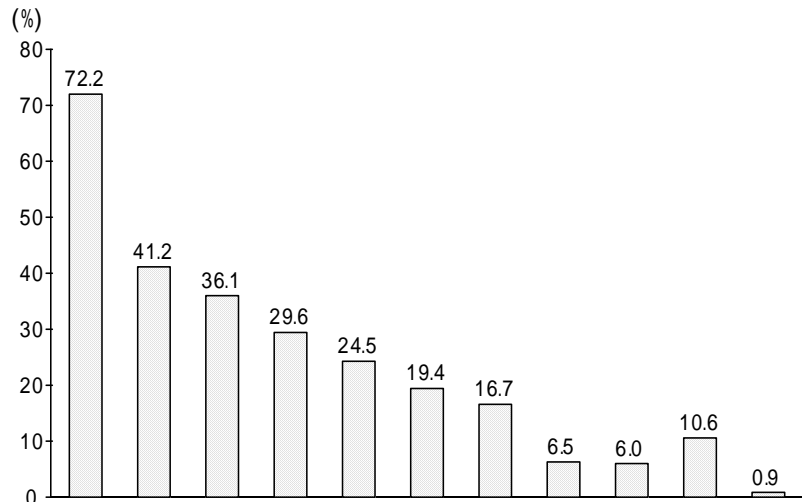


- ・ 子育てをしやすいまちだと思える理由としては、「交通機関が便利」をあげる人が72.2%と最も多く、次いで「公園や児童館など子どもの遊び場が多い」(41.2%)、「職場と住居が近い」(36.1%)と続いている。
- ・ 居住地域別にみると、「四谷」では、2番目に「自然環境がよい」(40.9%)があげられており、他の地域に比べて特に高い割合を示している。

子育てしやすいまちだと思える理由は何ですか？ 【小学生】

□ TOTAL N=216

[複数回答]

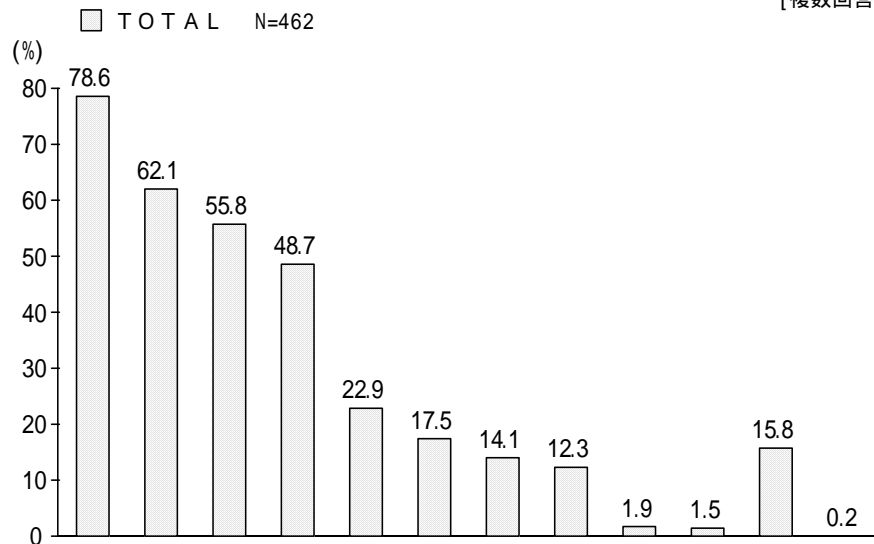


《居住地域》	N	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
		交通機関が便利	公園や児童館など子どもの遊び場が多い	職場と住居が近い	住環境がよい	近所づきあいや地域活動が盛ん	自然環境がよい	保育サービスが充実している	子育てに関する情報を得やすい	地域の子育てネットワークができていない	その他	無回答
0 TOTAL	216	72.2	41.2	36.1	29.6	24.5	19.4	16.7	6.5	6.0	10.6	0.9
1 四谷	22	77.3	36.4	22.7	18.2	22.7	40.9	18.2	4.5	4.5	18.2	0.0
2 筆筒町	27	70.4	40.7	37.0	33.3	33.3	11.1	11.1	7.4	7.4	11.1	0.0
3 榎町	24	70.8	50.0	37.5	16.7	37.5	8.3	8.3	4.2	4.2	8.3	0.0
4 若松町	23	73.9	43.5	47.8	47.8	13.0	34.8	34.8	13.0	0.0	8.7	0.0
5 大久保	18	77.8	44.4	38.9	16.7	22.2	22.2	11.1	11.1	0.0	11.1	0.0
6 戸塚	18	72.2	22.2	27.8	50.0	16.7	27.8	11.1	0.0	11.1	22.2	0.0
7 落合第一	25	80.0	44.0	48.0	36.0	12.0	16.0	20.0	8.0	4.0	8.0	0.0
8 落合第二	36	55.6	47.2	22.2	30.6	25.0	16.7	8.3	0.0	5.6	8.3	5.6
9 柏木	17	88.2	29.4	52.9	17.6	35.3	5.9	41.2	11.8	17.6	5.9	0.0
10 角筈	5	80.0	40.0	40.0	20.0	20.0	0.0	0.0	20.0	20.0	0.0	0.0
11 無回答	1	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

- ・ 子育てをしやすいまちだとは思わない理由としては、「事故や犯罪が多く危険」をあげる人が78.6%と最も多く、次いで「自然環境がよくない」(62.1%)、「住環境がよくない」(55.8%)と続いている。
- ・ 居住地域別にみると、「事故や犯罪が多く危険」をあげる保護者の割合は、「大久保」(90.9%)と「柏木」(89.7%)で約9割と特に高くなっている。

子育てをしやすいまちだと思わない理由は何ですか？ 【小学生】

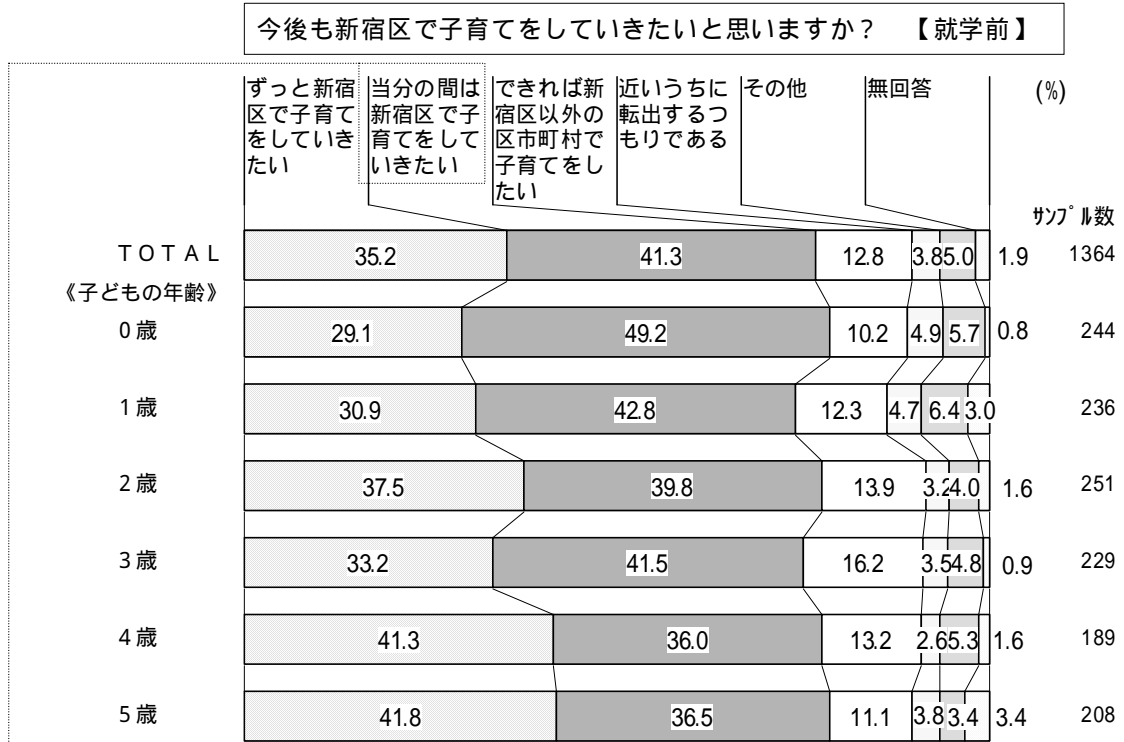
[複数回答]



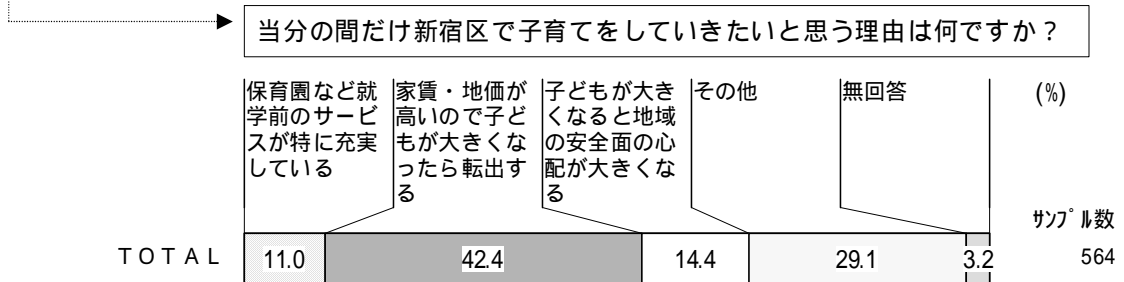
《居住地域》		N	1 事故や犯罪が多く危険	2 自然環境がよくない	3 住環境がよくない	4 公園や児童館など子どもの遊び場が少ない	5 近所づきあいや地域活動が盛んではない	6 保育サービスが充実していない	7 地域の子育てネットワークができていない	8 子育てに関する情報を得にく	9 職場と住居が遠い	10 交通機関が不便	11 その他	12 無回答
0	TOTAL	462	78.6	62.1	55.8	48.7	22.9	17.5	14.1	12.3	1.9	1.5	15.8	0.2
1	四谷	43	72.1	53.5	53.5	58.1	39.5	25.6	25.6	20.9	0.0	0.0	23.3	2.3
2	笹筈町	48	66.7	75.0	39.6	45.8	14.6	10.4	4.2	16.7	2.1	2.1	22.9	0.0
3	榎町	43	62.8	69.8	46.5	51.2	23.3	25.6	18.6	18.6	4.7	2.3	23.3	0.0
4	若松町	56	83.9	44.6	60.7	37.5	25.0	14.3	12.5	5.4	1.8	0.0	14.3	0.0
5	大久保	66	90.9	53.0	71.2	37.9	16.7	12.1	13.6	7.6	0.0	0.0	16.7	0.0
6	戸塚	47	85.1	66.0	51.1	42.6	23.4	19.1	10.6	12.8	0.0	2.1	12.8	0.0
7	落合第一	51	72.5	58.8	43.1	60.8	25.5	35.3	19.6	5.9	3.9	0.0	11.8	0.0
8	落合第二	51	78.4	64.7	49.0	43.1	23.5	13.7	5.9	9.8	3.9	5.9	15.7	0.0
9	柏木	39	89.7	82.1	69.2	61.5	23.1	10.3	12.8	17.9	0.0	2.6	5.1	0.0
10	角筈	15	73.3	73.3	93.3	80.0	13.3	0.0	33.3	13.3	6.7	0.0	0.0	0.0
11	無回答	3	100.0	33.3	100.0	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0

新宿区での子育て継続意向

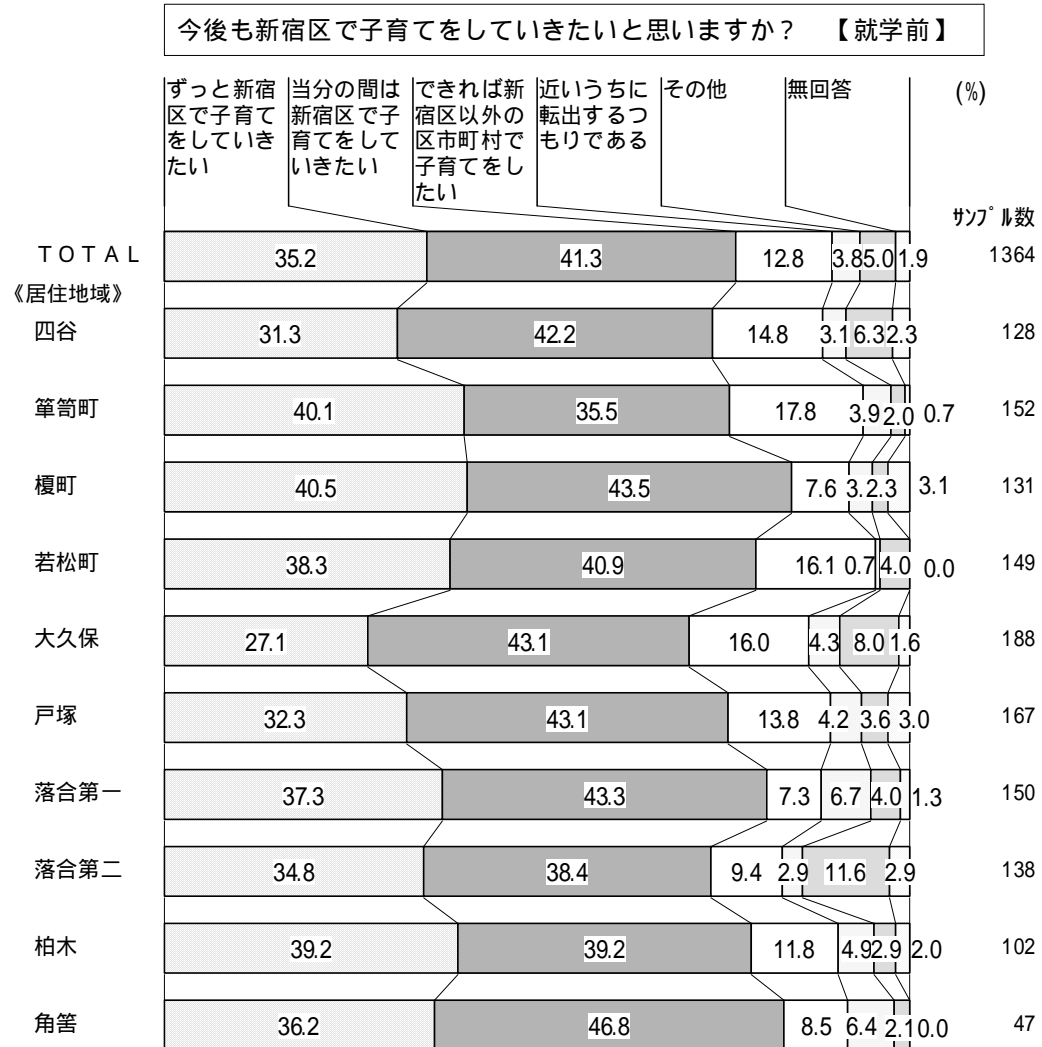
- ・ 就学前児童では、今後も「ずっと新宿区で子育てをしていきたい」と回答した保護者が 35.2%、「当分の間は新宿区で子育てをしていきたい」が 41.3%となっており、あわせると、7 割以上は今後も新宿区で子育てをしていきたいと考えている状況がうかがえる。
- ・ 年齢別にみると、「ずっと新宿区で子育てをしていきたい」と回答した保護者の割合は、0 歳で 29.1%と最も低く、5 歳で 41.8%と最も高くなっている。



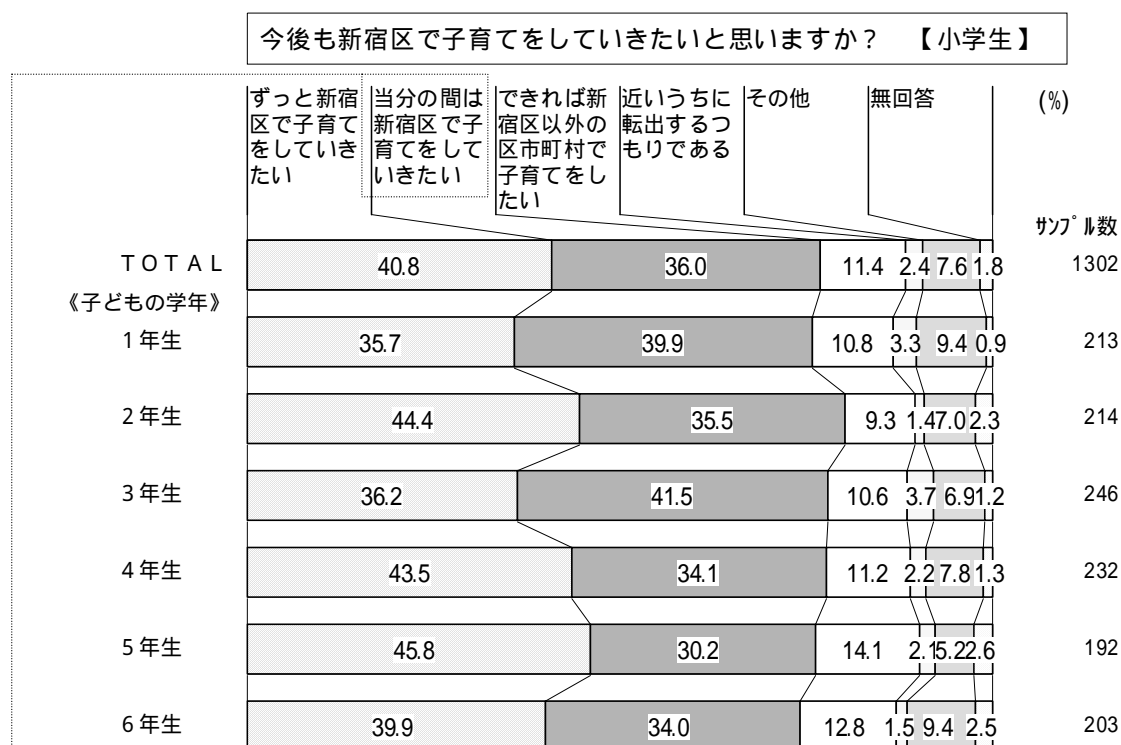
- ・ 「当分の間は新宿区で子育てをしていきたい」と回答した保護者に対して、その理由を尋ねたところ、42.4%の人が「子育ての利便性が高いが、家賃や地価が高く、新宿区内で広い住居は望めないので、子どもが大きくなったら転居すると思うから」と回答している。



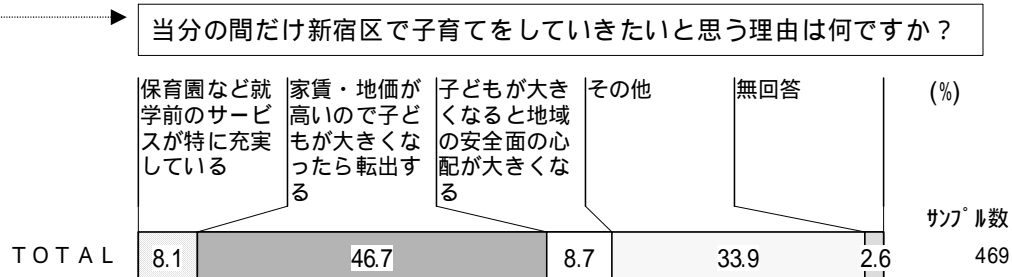
- 新宿区での子育て継続意向を居住地別にみると、「ずっと新宿区で子育てをしていきたい」と回答した保護者の割合は、「榎町」で40.5%と最も高く、「大久保」で27.1%と最も低い。また、「できれば新宿区以外の区市町村で子育てをしたい」と考えている保護者の割合は、「笹笥町」で17.8%と最も高い。



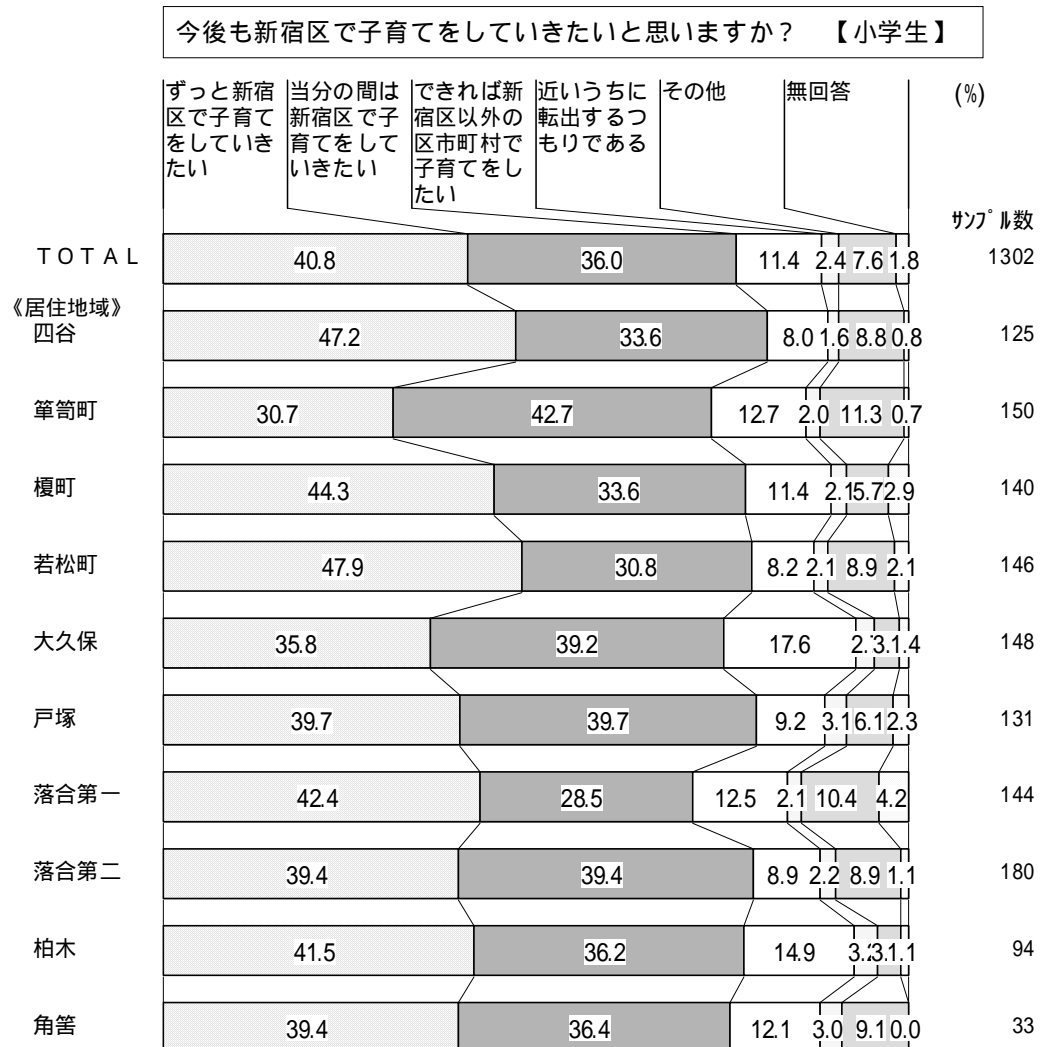
- ・ 小学生では、今後も「ずっと新宿区で子育てをしていきたい」と回答した保護者が40.8%、「当分の間は新宿区で子育てをしていきたい」が36.0%となっており、あわせると、7割以上は今後も新宿区で子育てをしていきたいと考えている状況がうかがえる。
- ・ なお、「ずっと新宿区で子育てをしていきたい」と回答した保護者の割合は、就学前児童の保護者に比べて5.6ポイント高くなっている。
- ・ 学年別にみると、「ずっと新宿区で子育てをしていきたい」と回答した人の割合は、1年生で35.7%と最も低い。



- ・ 「当分の間は新宿区で子育てをしていきたい」と回答した保護者に対して、その理由を尋ねたところ、46.7%の保護者が「子育ての利便性が高いが、家賃や地価が高く、新宿区内で広い住居は望めないため、子どもが大きくなったら転居すると思うから」と回答している。



- 新宿区での子育て継続意向を居住地域別にみると、「ずっと新宿区で子育てをしていきたい」と回答した保護者の割合は、「若松町」で47.9%と最も高く、「筆筈町」で30.7%と最も低い。また、「できれば新宿区以外の区市町村で子育てをしたい」と考えている保護者の割合は、「大久保」で17.6%と最も高い。



(11) 子育て支援サービスの認知度・利用経験・利用意向について

子育て支援サービスの認知度・利用経験・利用意向

- 各種子育て支援サービスの認知度・利用経験・利用意向をそれぞれ尋ねたところ、就学前児童で最も認知度の高いサービスは「児童館」(93.0%)、最も利用意向が高いのは「図書館児童サービス(絵本の貸出等)」(88.5%)である。
- 利用経験と利用意向の差が最も大きいのは「ファミリーサポート事業」で、実際に利用したことがある人は7.8%であるが、今後利用したいと考えている保護者は49.6%にのぼる。

【就学前】N=1,364

サービスの種類	知っている	これまでに利用したことがある	今後利用したい	利用経験と利用意向の差
子ども家庭支援センター(中落合)	52.1%	19.4%	35.7%	16.3ポイント
地域子育て支援センターふたば	14.4%	2.9%	23.5%	20.6ポイント
児童館	93.0%	62.8%	82.3%	19.5ポイント
ファミリーサポート事業	56.2%	7.8%	49.6%	41.8ポイント
子どもショートステイ	32.3%	1.0%	27.2%	26.2ポイント
保育園の育児相談	56.1%	7.8%	36.6%	28.8ポイント
保育園の一時保育	64.2%	6.8%	44.4%	37.6ポイント
保育園の病後児保育	37.7%	2.1%	38.6%	36.5ポイント
保健センターの育児グループ	34.9%	12.0%	26.9%	14.9ポイント
保健センターの育児相談	74.1%	24.5%	48.1%	23.6ポイント
幼稚園での未就学児親子への園施設開放	66.6%	35.3%	56.2%	20.9ポイント
幼稚園での子育て相談	39.4%	6.6%	40.4%	33.8ポイント
教育センターの教育相談	21.3%	1.8%	39.9%	38.1ポイント
図書館児童サービス(絵本の貸出等)	84.5%	56.8%	88.5%	31.7ポイント

- 小学生では、最も利用意向が高いサービスは「図書館児童サービス(絵本の貸出等)」(81.4%)である。利用経験と利用意向の差をみると、「幼稚園での未就学児親子への園施設開放」と「児童館」は、今後の利用意向が利用経験を下回っている。

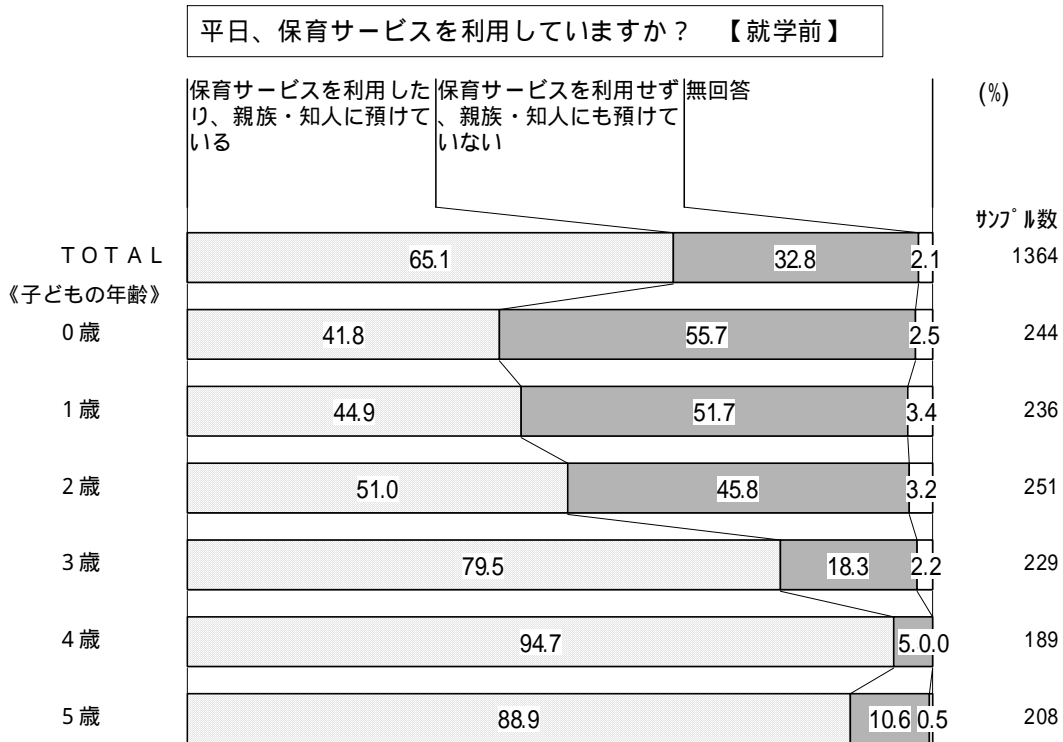
【小学校】N=1,302

サービスの種類	知っている	これまでに利用したことがある	今後利用したい	利用経験と利用意向の差
子ども家庭支援センター(中落合)	27.3%	4.3%	17.3%	13.0ポイント
地域子育て支援センターふたば	5.8%	0.2%	11.9%	11.7ポイント
児童館	95.5%	81.0%	73.7%	-7.3ポイント
ファミリーサポート事業	42.5%	3.8%	29.7%	25.9ポイント
子どもショートステイ	12.7%	0.3%	18.1%	17.8ポイント
保育園の育児相談	50.5%	5.2%	10.0%	4.8ポイント
保育園の一時保育	51.8%	4.5%	10.4%	5.9ポイント
保育園の病後児保育	29.3%	1.1%	10.3%	9.2ポイント
保健センターの育児グループ	27.8%	5.3%	6.5%	1.2ポイント
保健センターの育児相談	60.7%	13.0%	18.7%	5.7ポイント
幼稚園での未就学児親子への園施設開放	61.1%	28.3%	13.7%	-14.6ポイント
幼稚園での子育て相談	36.7%	4.8%	9.8%	5.0ポイント
教育センターの教育相談	46.2%	5.2%	28.0%	22.8ポイント
図書館児童サービス(絵本の貸出等)	90.2%	74.9%	81.4%	6.5ポイント

(12) 保育サービスの利用状況について

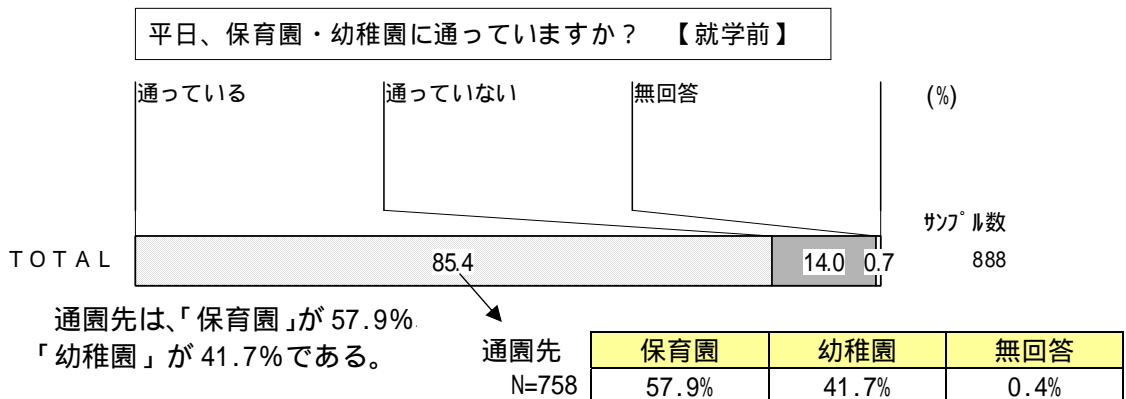
保育サービスの利用状況

- ・ 平日、保育サービス（保育園、幼稚園、認可外保育施設、ベビーシッター、家政婦及びファミリーサポート事業を含む）を利用したり、親族・知人に子どもを預けている保護者は65.1%である。
- ・ 年齢別にみると、0歳、1歳では「保育サービスを利用せず、親族・知人にも預けていない」保護者のほうが多くなっている。
- ・ 2歳以降は「保育サービスを利用したり、親族・知人に預けている」保護者のほうが多く、4歳、5歳では9割前後が、保育サービスを利用したり、親族・知人に預けている状況がうかがえる。



保育園、幼稚園の利用状況

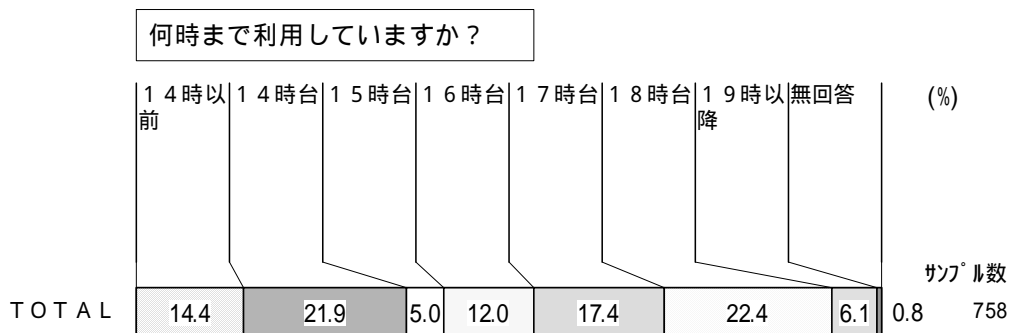
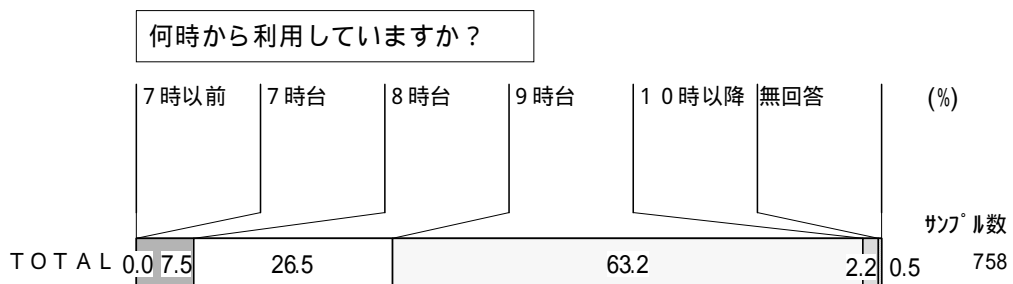
- ・ 保育サービスを利用したり、親族・知人に預けているケースのうち、保育園・幼稚園に「通っている」割合は85.4%である。



- 通園日数は、「週5日」が87.9%を占める。

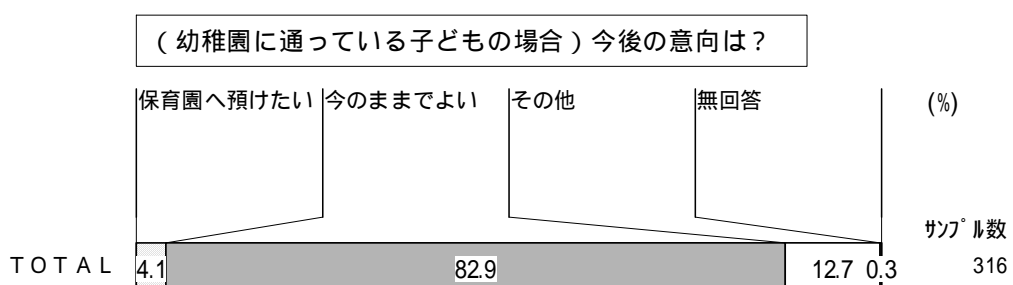
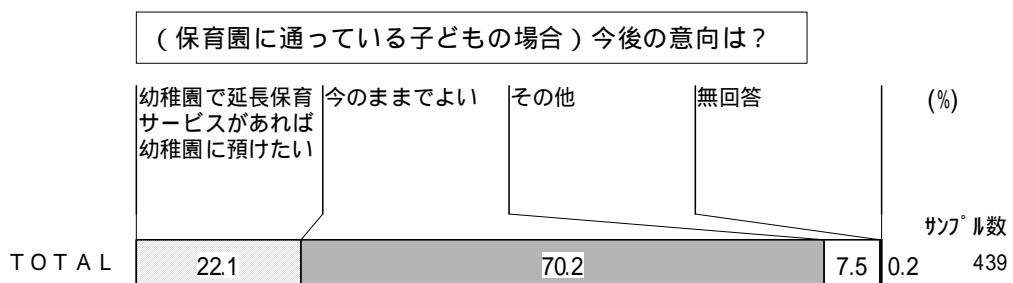
通園日数	週1～4日	週5日	週6日以上
N=758	2.6%	87.9%	9.1%

- 利用時間帯をみると、開始時間は「9時台」が63.2%と最も多く、次いで「8時台」が26.5%となっている。終了時間は「18時台」が22.4%と最も多く、次いで「14時台」が21.9%となっている。



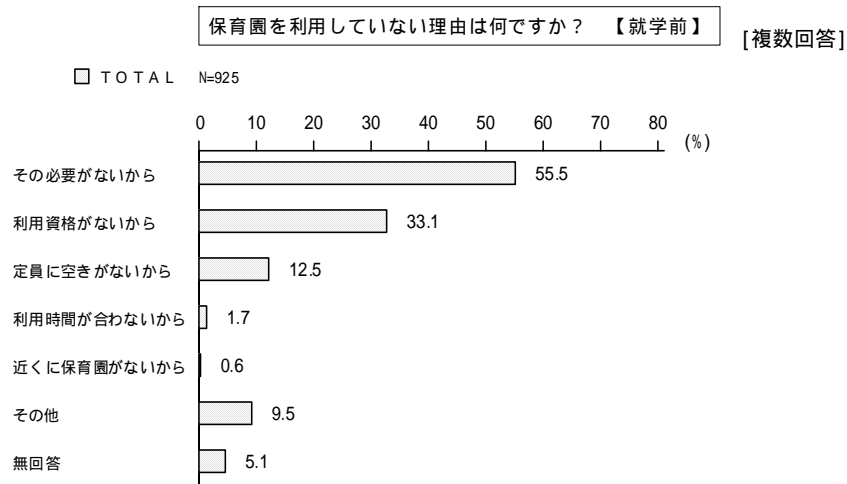
保育園、幼稚園に通っている場合の今後の意向

- 今後の意向は、保育園に通っている子どもの場合、70.2%は「今のままでよい」と回答しているが、22.1%は「幼稚園で延長保育サービスがあれば幼稚園に預けたい」と考えている。
- 幼稚園に通っている子どもの場合は、82.9%が「今のままでよい」と回答しており、「保育園へ預けたい」と考えている保護者は4.1%である。



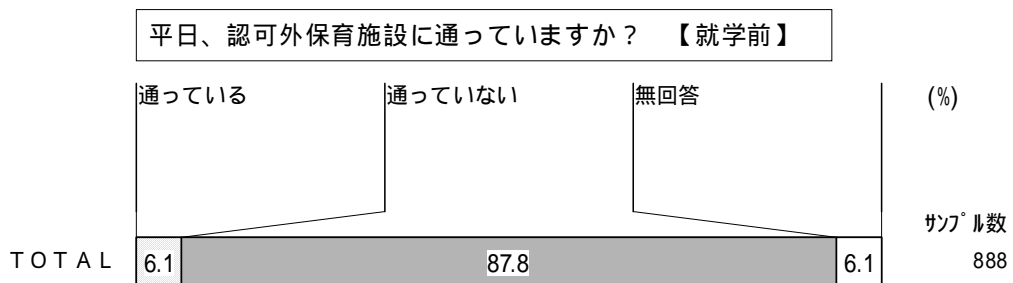
保育園を利用していない理由

- ・ 保育園を利用していない理由としては、「その必要がないから」をあげる保護者が55.5%と最も多く、次いで「利用資格がないから」(33.1%)、「定員に空きがないから」(12.5%)と続いている。



認可外保育施設（認証保育所、家庭福祉員等）の利用状況

- ・ 平日、認可外保育施設（認証保育所、家庭福祉員（保育ママ）、その他の認可外保育施設）に「通っている」子どもは6.1%である。



- ・ 通っているところは、「認証保育所」が42.6%、「事業所内保育施設」が3.7%、「その他の認可外施設」が48.1%となっている。

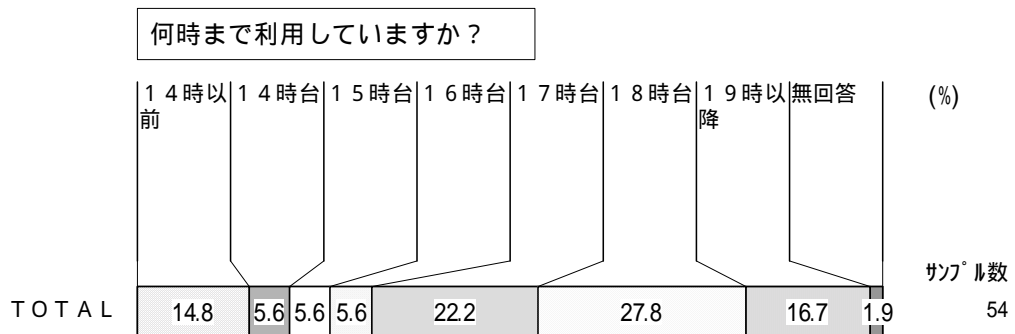
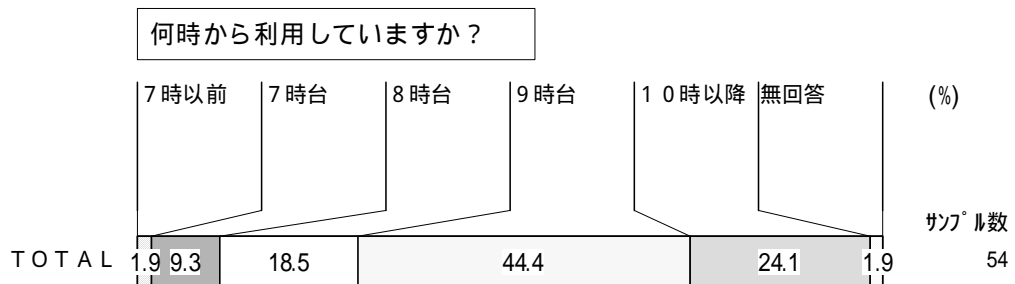
利用先	割合 (%)
認証保育所	42.6%
事業所内保育施設	3.7%
その他の認可外保育施設	48.1%

N=54

- ・ 通っている日数は、「週5日」が44.4%と最も多い。

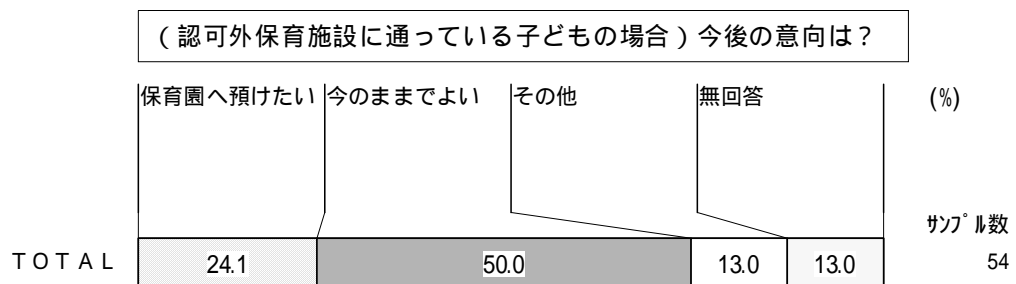
利用日数	週1日	週2日	週3日	週4日	週5日	週6日以上
N=54	11.1%	9.3%	9.3%	11.1%	44.4%	11.1%

- ・ 利用時間帯をみると、開始時間は「9時台」が44.4%と最も多く、次いで「10時以降」が24.1%となっている。終了時間は「18時台」が27.8%と最も多く、次いで「17時台」が22.2%となっている。



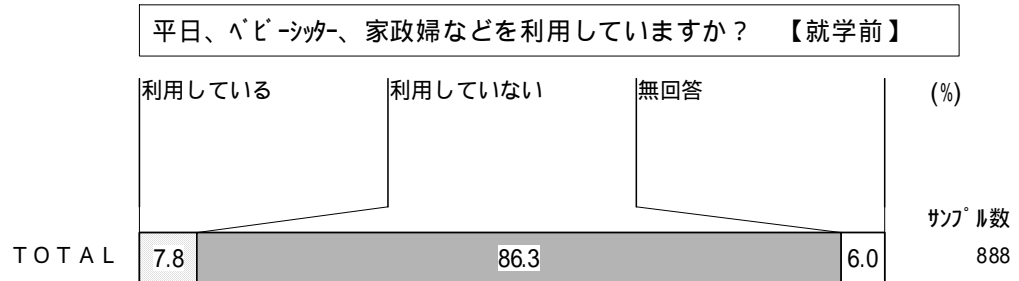
認可外保育施設（認証保育所、家庭福祉員等）に通っている場合の今後の意向

- ・ 今後の意向は、認可外保育施設に通っている子どもの場合、50.0%は「今のままでよい」と回答しているが、24.1%は「保育園へ預けたい」と考えている。



ベビーシッター、家政婦、ファミリーサポート事業の利用状況

- 平日、ベビーシッター、家政婦、ファミリーサポート事業などを「利用している」子どもは7.8%である。



- 利用しているところは、「ファミリーサポート事業」が43.5%、「ベビーシッター」が40.6%、「家政婦」が8.7%となっている。

利用先 N=69

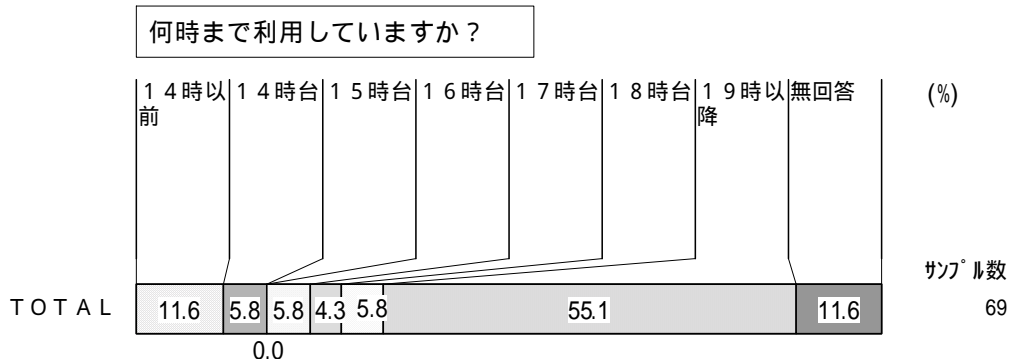
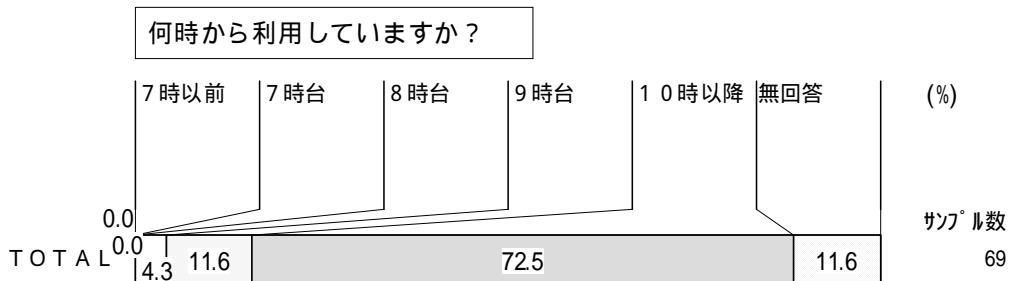
利用先	ベビーシッター	家政婦	ファミリーサポート事業
	40.6%	8.7%	43.5%

- 利用している日数は、「週1日」が40.6%と最も多い。

利用日数 N=69

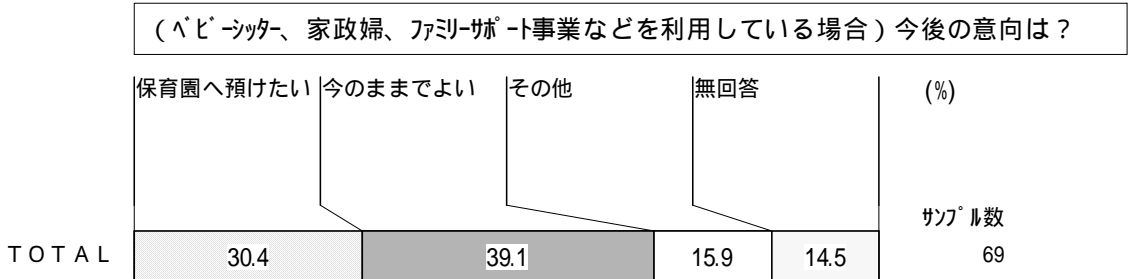
利用日数	週1日	週2日	週3日	週4日	週5日	週6日以上
	40.6%	20.3%	8.7%	1.4%	5.8%	2.9%

- 利用時間帯をみると、開始時間は「10時以降」が72.5%を占めている。終了時間は「19時以降」が55.1%を占めている。



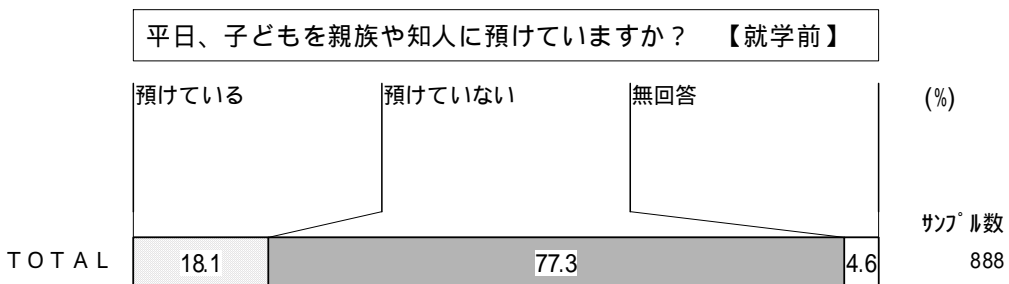
ベビーシッター、家政婦、ファミリーサポート事業を利用している場合の今後の意向

- 今後の意向は、ベビーシッター、家政婦、ファミリーサポート事業を利用している場合、39.1%は「今のままでよい」と回答しているが、30.4%は「保育園へ預けたい」と考えている。



親族や知人へ子どもを預けている状況

- 平日、親族や知人に子どもを「預けている」保護者は18.1%である。



- 預け先は、「同居していない親族」が75.8%、「同居している親族」が17.4%となっている。

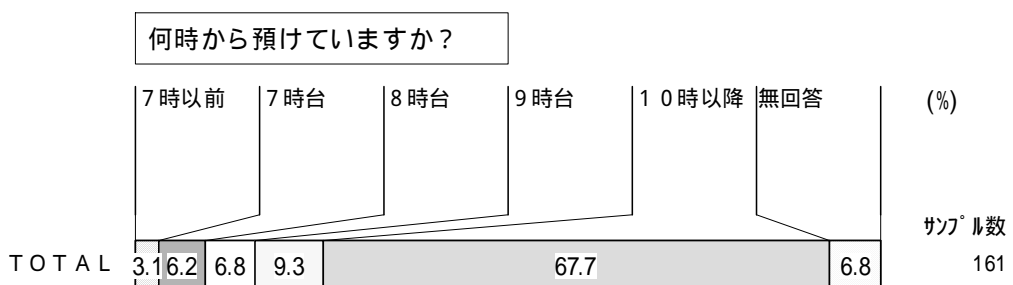
預け先
N=161

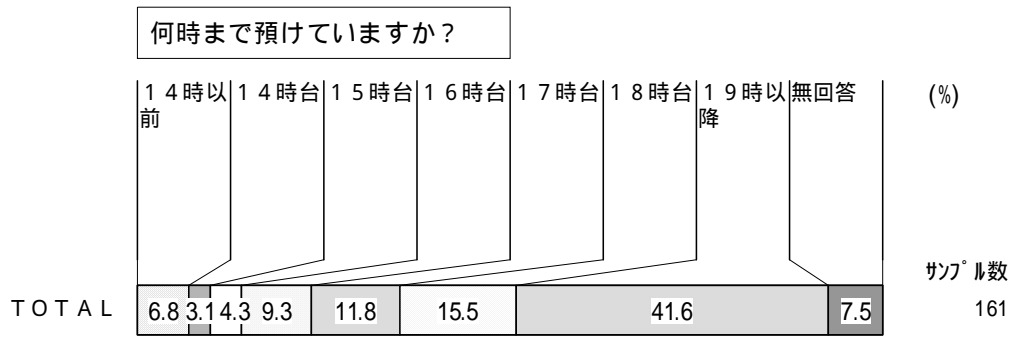
同居している親族	同居していない親族	知人
17.4%	75.8%	6.8%

- 預けている日数は、「週1日」が29.8%と最も多く、次いで「週5日」が21.1%で続いている。

利用日数	週1日	週2日	週3日	週4日	週5日	週6日以上
N=161	29.8%	12.4%	13.0%	3.7%	21.1%	6.2%

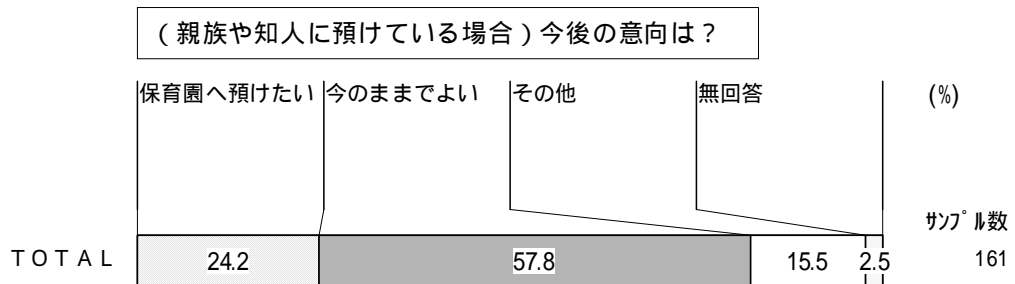
- 預けている時間帯をみると、開始時間は「10時以降」が67.7%を占めている。終了時間は「19時以降」が41.6%と最も多く、次いで「18時台」が15.5%と続いている。





親族や知人へ子どもを預けている場合の今後の意向

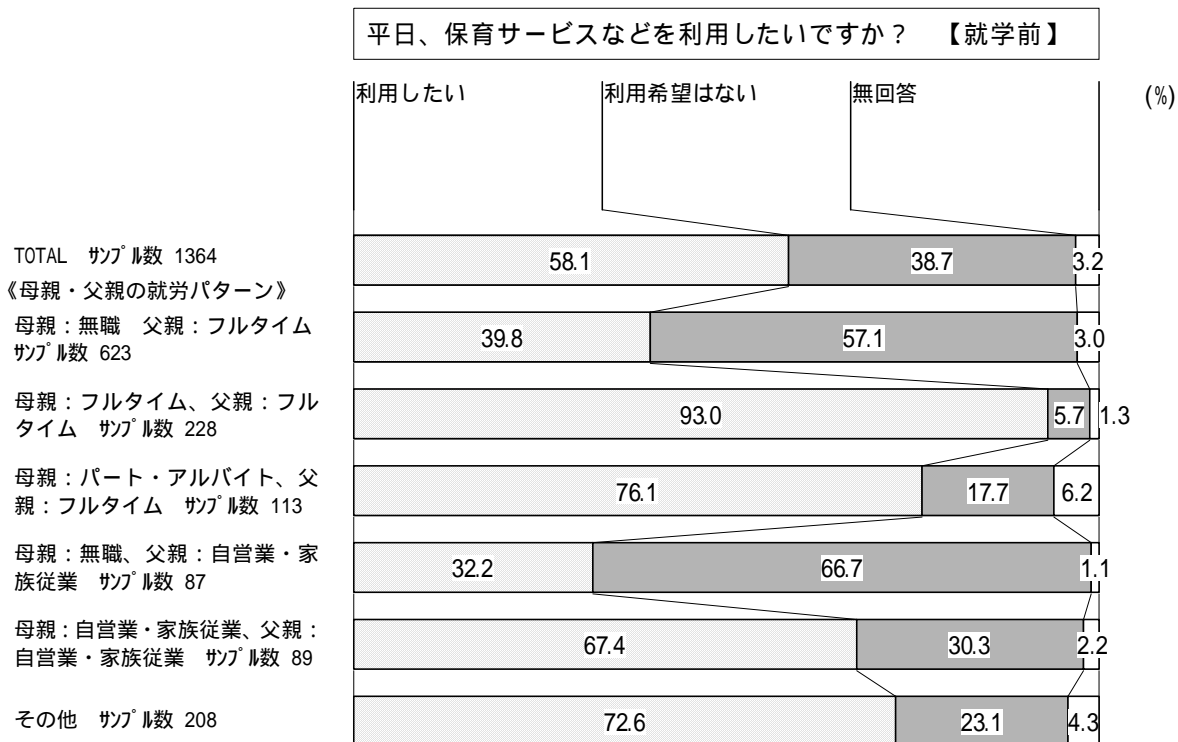
- 今後の意向は、親族や知人に子どもを預けている場合、57.8%は「今のままでよい」と回答しているが、24.2%は「保育園へ預けたい」と考えている。



(13) 保育サービスの利用意向について

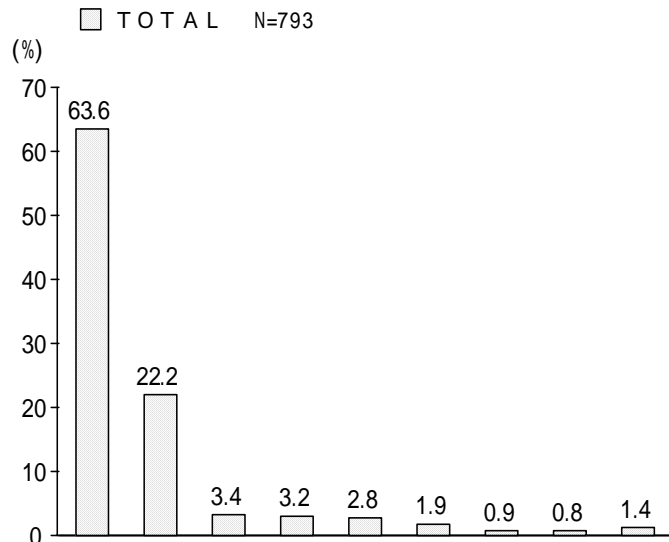
平日の保育サービスの利用意向

- ・ 平日、保育サービスなどを「利用したい」考えている保護者は58.1%である。
- ・ 母親・父親の就労パターン別にみると、「母親：フルタイム、父親：フルタイム」の場合では、「利用したい」と考えている保護者が93.0%にのぼる。



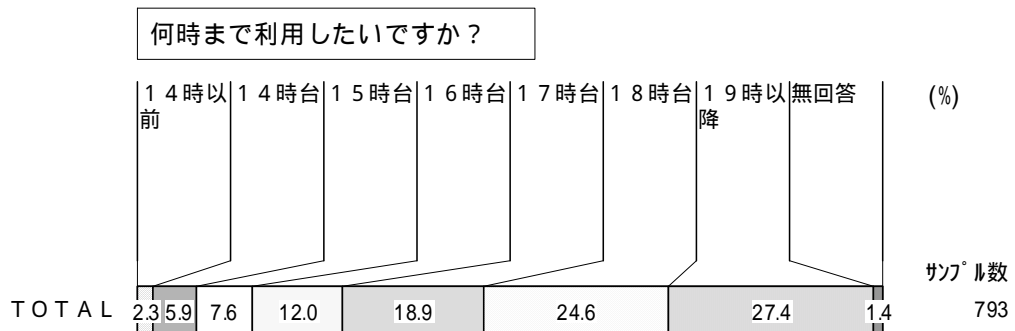
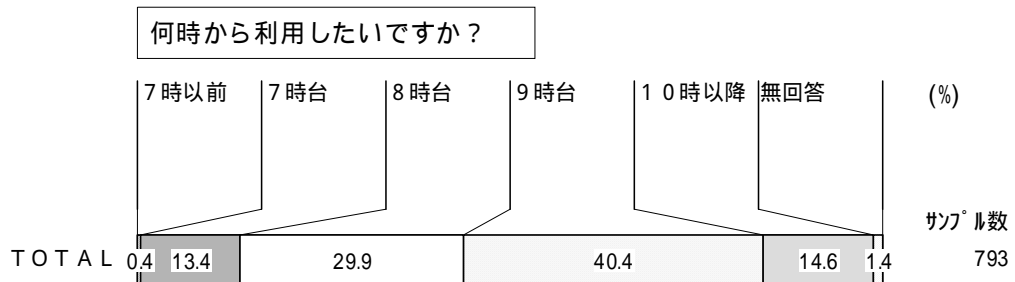
- ・ 主に希望するサービスとしては、「保育園」をあげる人が 63.6%と最も多く、次いで「幼稚園」が 22.2%で続いている。
- ・ 母親・父親の就労パターン別にみると、「母親：フルタイム、父親：フルタイム」の場合では、「保育園」を希望する保護者が 89.2%を占める。また、「母親：無職、父親：フルタイム」の場合では、「幼稚園」が 47.6%と最も多いが、約 3 割は「保育園」(31.5%)を希望している。

主な希望サービスは何ですか？ 【就学前】



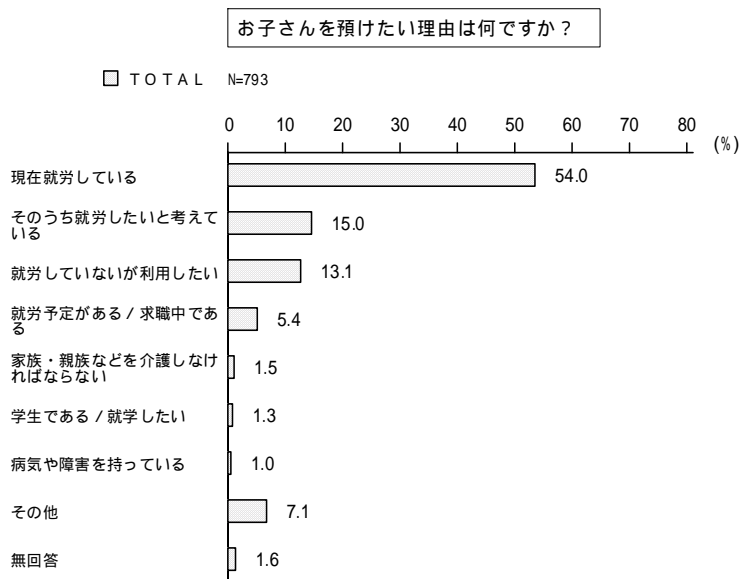
《母親・父親の就労パターン》		N	1 保育園	2 幼稚園	3 ベビーシッター/家政婦	4 認証保育所	5 事業所内保育施設	6 ファミリーサポート事業	7 家庭福祉員	8 その他認可外保育施設	9 無回答
0	TOTAL	793	63.6	22.2	3.4	3.2	2.8	1.9	0.9	0.8	1.4
1	母親：無職、父親：フルタイム	248	31.5	47.6	4.0	5.2	4.8	3.2	1.6	0.4	1.6
2	母親：フルタイム、父親：フルタイム	212	89.2	1.9	2.4	0.0	2.8	0.5	0.5	1.4	1.4
3	母親：パート・アルバイト、父親：フルタイム	86	76.7	10.5	3.5	2.3	1.2	2.3	1.2	0.0	2.3
4	母親：無職・父親：自営業・家族従業	28	39.3	42.9	3.6	7.1	0.0	3.6	0.0	3.6	0.0
5	母親：自営業・家族従業・父親：自営業・家族従業	60	73.3	16.7	3.3	5.0	1.7	0.0	0.0	0.0	0.0
6	その他	151	73.5	13.9	3.3	3.3	1.3	2.0	0.7	0.7	1.3
7	無回答	8	62.5	25.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

- ・ 利用希望時間帯をみると、開始時間は「9時台」が40.4%と最も多く、次いで「8時台」が29.9%となっている。終了希望時間は「19時以降」が27.4%と最も多く、次いで「18時台」が24.6%となっている。



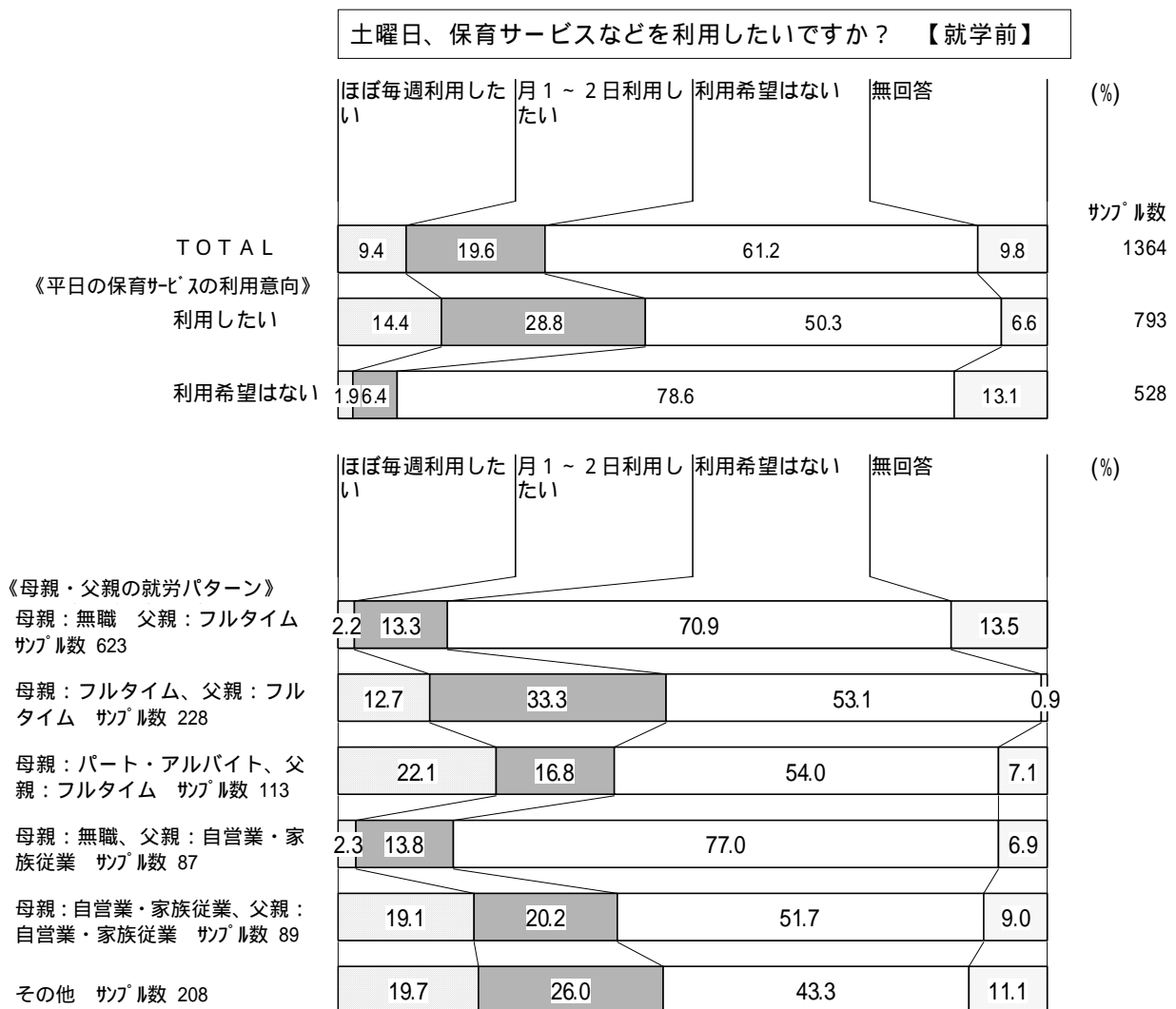
子どもを預けたい理由

- ・ 子どもを預けたい理由としては、「現在、就労している」をあげる保護者が54.0%と最も多く、次いで「そのうち就労したいと考えている」(15.0%)、「就労していないが利用したい」(13.1%)と続いている。

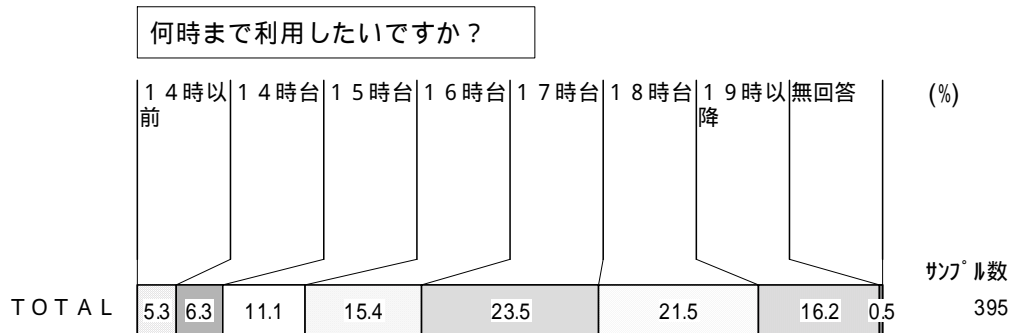
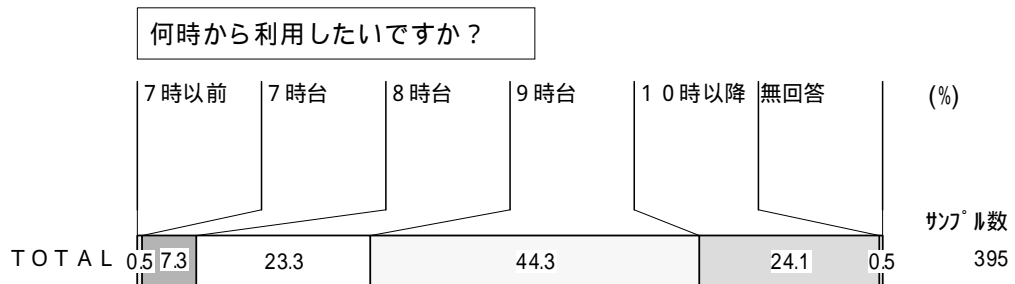


土曜日の保育サービスの利用意向

- ・ 土曜日の保育サービスの利用については、「ほぼ毎週利用したい」が9.4%、「月1～2日利用したい」が19.6%となっており、あわせると約3割の保護者は、土曜日に保育サービスを利用したいと考えている状況がうかがえる。
- ・ 平日の保育サービスの利用意向別にみると、平日には「利用希望はない」と回答した保護者でも、土曜日の保育サービスについては、1.9%が「ほぼ毎週利用したい」、6.4%が「月1～2日利用したい」と回答している。
- ・ 母親・父親の就労パターン別にみると、「ほぼ毎週利用したい」と回答した保護者の割合は、「母親：パート・アルバイト、父親：フルタイム」の場合が22.1%で最も高いが、「月1～2日利用したい」もあわせた利用意向は、「母親：フルタイム、父親：フルタイム」の場合が最も高く、半数近くの保護者が利用を希望している。

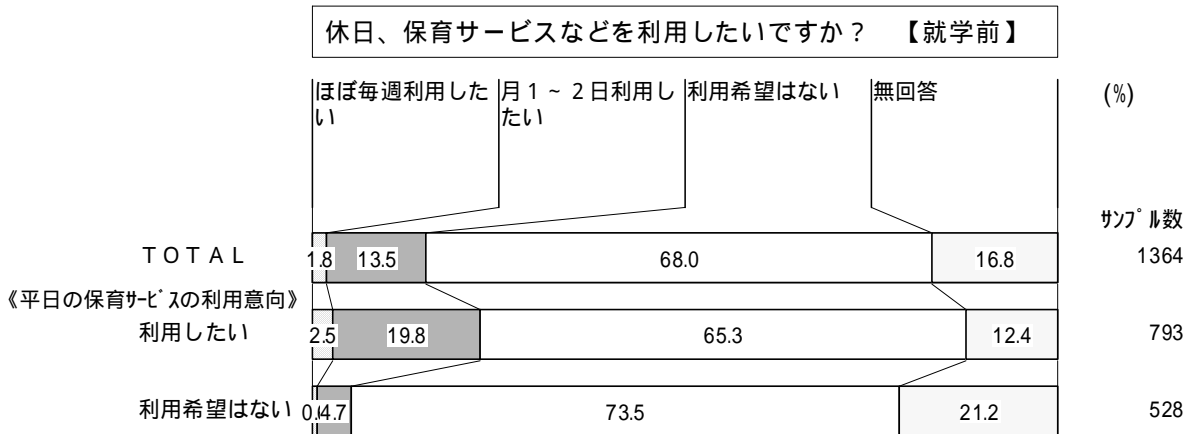


- 利用希望時間帯をみると、開始時間は「9時台」が44.3%と最も多く、次いで「10時以降」が24.1%、「8時台」が23.3%となっている。終了希望時間は「17時台」が23.5%と最も多く、次いで「18時台」が21.5%となっている。

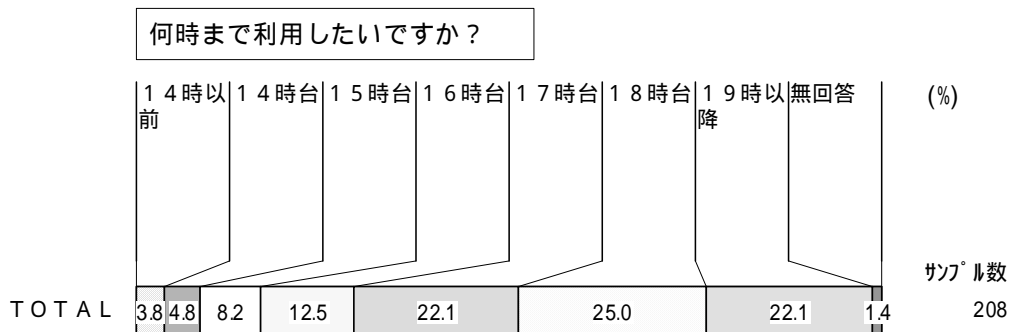
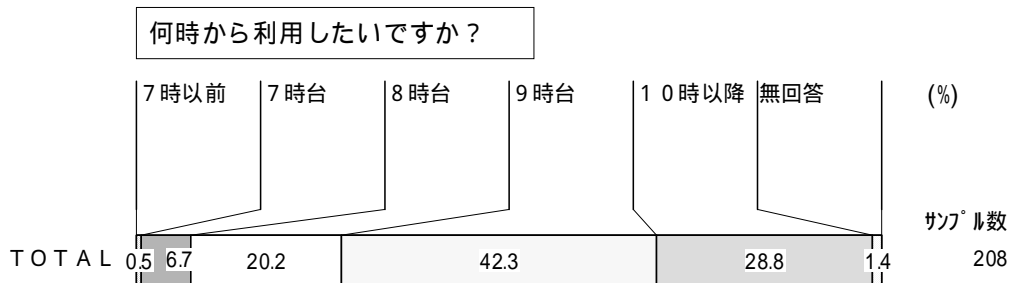


休日（日曜日・祝日）の保育サービスの利用意向

- ・ 休日（日曜日・祝日）の保育サービスの利用については、13.5%の保護者が「月1～2日利用したい」と回答している。
- ・ 平日の保育サービスの利用意向別にみると、平日に保育サービスを「利用したい」と回答した保護者のうち19.8%は、休日にも「月1～2日利用したい」と回答している。



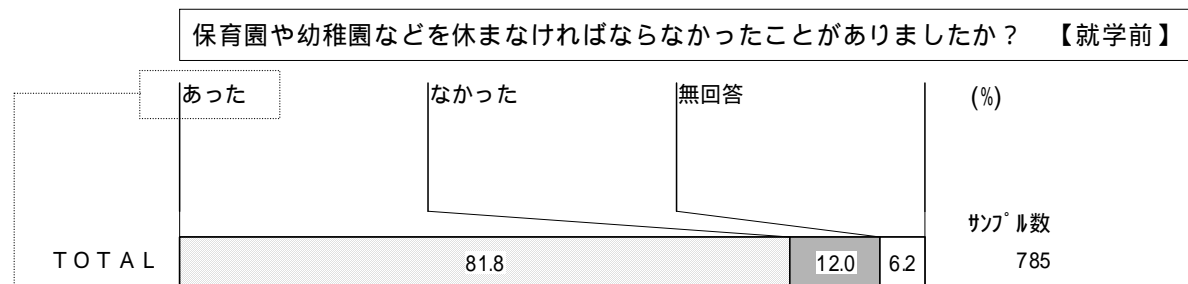
- ・ 利用希望時間帯をみると、開始時間は「9時台」が42.3%と最も多く、次いで「10時以降」が28.8%となっている。終了希望時間は「18時台」が25.0%と最も多く、次いで「17時台」と「19時以降」がそれぞれ22.1%となっている。



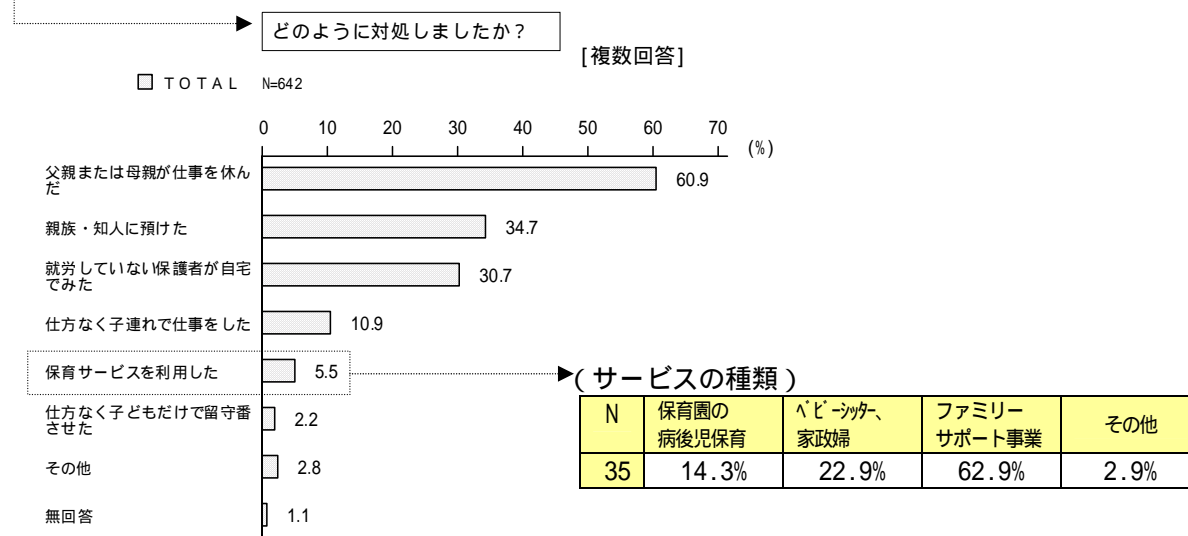
(14) 子どもが病気になったときの対応について

保育園、幼稚園、認可外施設を休まなければならなかったときの対応

- この1年間に、子どもが病気で保育園、幼稚園、認可外保育施設を休まなければならなかった経験の有無を尋ねたところ、81.8%の保護者が「あった」と回答している。



- その際の対処方法としては、「父親または母親が仕事を休んだ」場合が60.9%と最も多く、次いで「親族・知人に預けた」(34.7%)、「就労していない保護者が自宅でみた」(30.7%)と続いている。
- 「保育サービスを利用した」場合のサービスの内容は、「ファミリーサポート事業」が62.9%と最も多い。



- それぞれの対処別日数は、「父親または母親が仕事を休んだ」場合では、「7~10日」が19.7%、「4~6日」が18.2%を占めている。

(対処方法別の日数)

	N	1日	2日	3日	4~6日	7~10日	11~15日	16日以上
父親または母親が仕事を休んだ	391	4.9%	10.5%	12.0%	18.2%	19.7%	8.2%	17.1%
親族・知人に預けた	223	8.1%	13.5%	12.6%	14.8%	26.0%	4.9%	12.6%
保育サービスを利用した	35	25.7%	20.0%	14.3%	20.0%	11.4%	-	-
仕方なく子連れで仕事をした	70	11.4%	15.7%	17.1%	15.7%	17.1%	-	11.4%
仕方なく子どもだけで留守番させた	14	14.3%	14.3%	14.3%	28.6%	7.1%	-	-
就労していない保護者が自宅でみた	197	9.1%	5.6%	9.1%	16.8%	25.4%	6.1%	8.1%
その他	18	5.6%	5.6%	11.1%	11.1%	16.7%	5.6%	16.7%

- 父親または母親が仕事を休んだ場合には、27.4%の保護者が「非常に困難だった」、50.4%が「どちらかという困難だった」と回答している。また、親族・知人に預けた場合には、13.5%が「非常に困難だった」、47.1%が「どちらかという困難だった」と回答している。

(父親または母親が仕事を休んだ場合の困難度)

N	非常に困難だった	どちらかという困難だった	特に困難ではなかった
391	27.4%	50.4%	16.1%

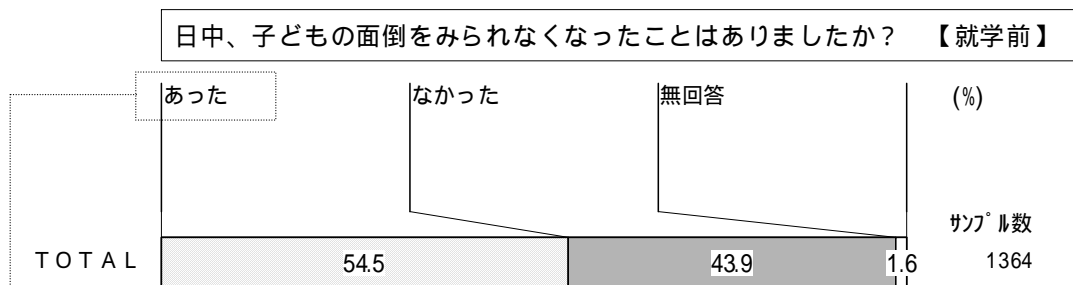
(親族・知人に預けた場合の困難度)

N	非常に困難だった	どちらかという困難だった	特に困難ではなかった
223	13.5%	47.1%	30.9%

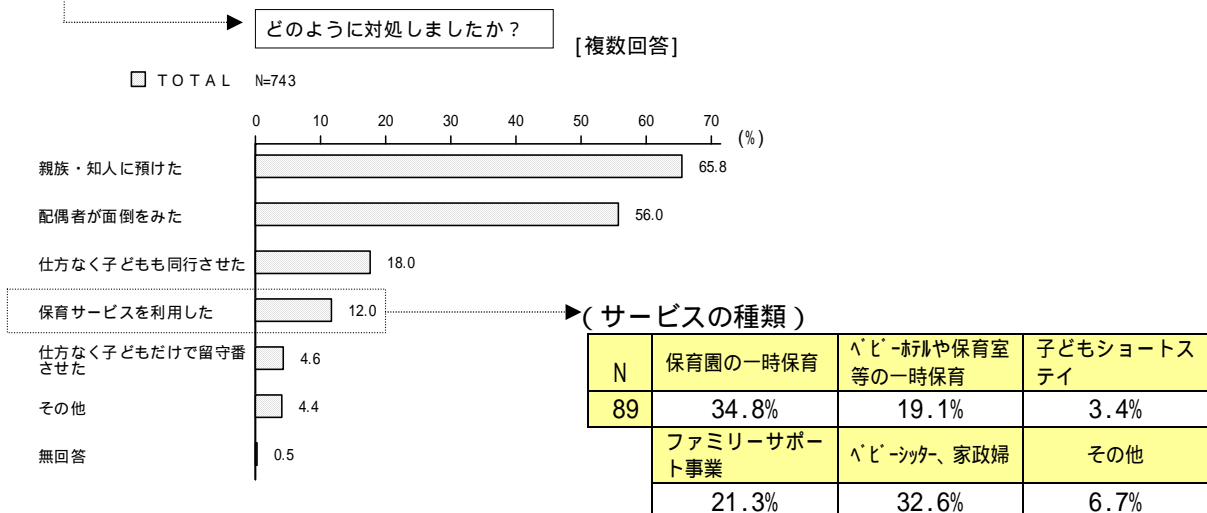
(15) 一時預かりについて

緊急の用事で子どもの面倒をみられなくなったときの対応

- この1年間に、緊急の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気など)で、日中、子どもの面倒をみられなくなった経験の有無を尋ねたところ、54.5%の保護者が「あった」と回答している。



- その際の対処方法としては、「親族・知人に預けた」場合が65.8%と最も多く、次いで「配偶者が面倒をみた」(56.0%)、「仕方なく子どもも同行させた」(18.0%)と続いている。「保育サービスを利用した」場合のサービスの内容は、「保育園の一時保育」が34.8%と最も多く、「ベビーシッター、家政婦」が32.6%で続いている。



- それぞれの対処別日数は、「保育サービスを利用した」場合では、「1日」が22.5%、「2日」が19.1%となっており、1～2日が約4割を占めている。

(対処方法別の日数)

	N	1日	2日	3日	4～6日	7～10日	11～15日	16日以上
配偶者が面倒をみた	416	19.7%	17.1%	13.2%	18.0%	13.7%	1.7%	6.5%
親族・知人に預けた	489	13.9%	14.1%	12.3%	18.4%	16.6%	4.7%	10.0%
保育サービスを利用した	89	22.5%	19.1%	7.9%	21.3%	7.9%	4.5%	5.6%
仕方なく子どもも同行させた	134	23.1%	16.4%	11.9%	12.7%	13.4%	1.5%	6.0%
仕方なく子どもだけで留守番させた	34	32.4%	11.8%	20.6%	8.8%	8.8%	-	2.9%
その他	33	18.2%	15.2%	12.1%	9.1%	12.1%	3.0%	12.1%

- 配偶者が面倒をみた場合 (配偶者が面倒をみた場合の困難度)

場合には、38.9%の保護者が「特に困難ではなかった」と回答している。また、親族・知人に預けた場合には、42.1%が「特に困難ではなかった」と回答している。

N	非常に困難だった	どちらかというと困難だった	特に困難ではなかった
416	11.8%	35.8%	38.9%

- 親族・知人に預けた場合 (親族・知人に預けた場合の困難度)

N	非常に困難だった	どちらかというと困難だった	特に困難ではなかった
489	10.4%	31.3%	42.1%

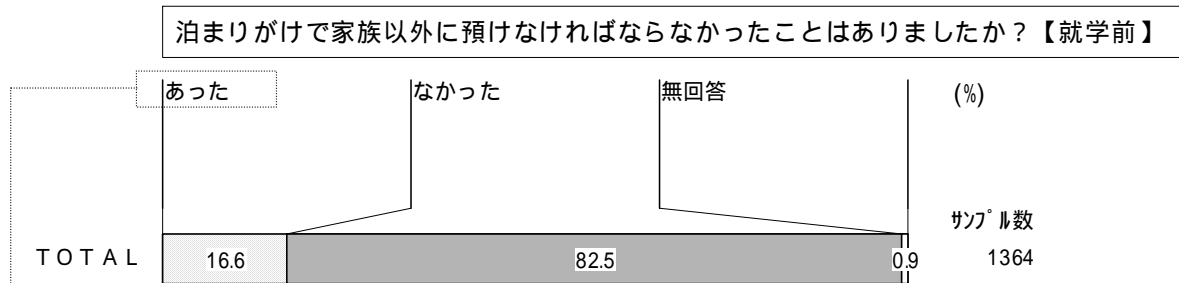
- 保育サービスを利用しなかった理由としては、「日常接していない人に預けるのが不安だから」をあげる保護者が44.8%と最も多い。

(保育サービスを利用しなかった理由)

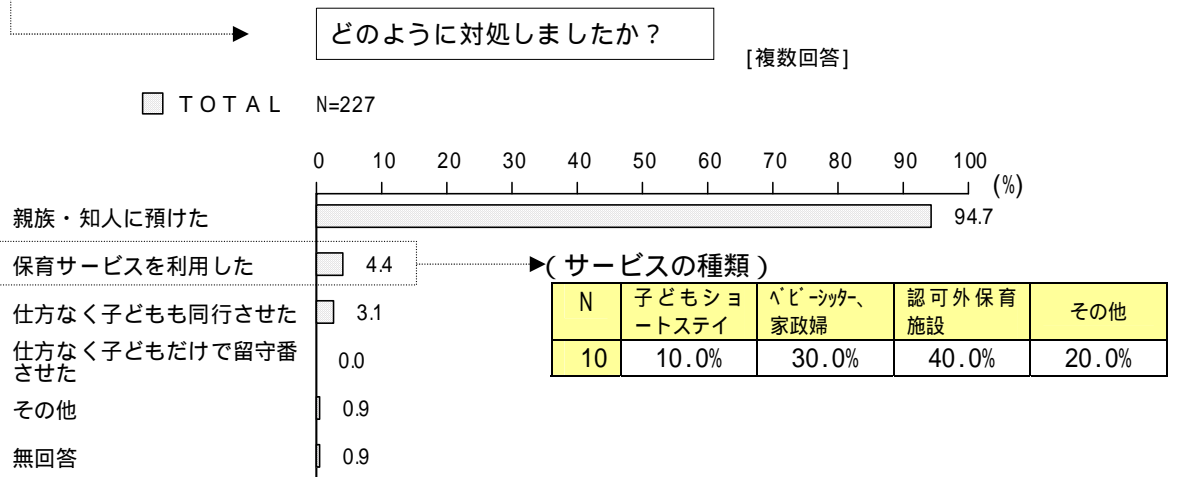
N	日常接していない人に預けるのが不安だから	家で子どもをみてもらうサービスは利用料が高いから	適当な保育サービスがみつからなかったから	その他
181	44.8%	21.5%	28.2%	40.3%

泊まりがけで家族以外に子どもを預けなければならなかったときの対応

- この1年間に、保護者の用事などにより子どもを泊まりがけで家族以外に預けなければならなかった経験の有無を尋ねたところ、就学前児童では、16.6%の保護者が「あった」と回答している。



- その際の対処方法としては、94.7%が「親族・知人に預けた」と回答している。



- それぞれの対処別日数は、「親族・知人に預けた」場合には、「4～10日」が31.6%を占めている。

(対処方法別の日数)

	N	1日	2日	3日	4～10日	11～20日	21～30日	31日以上
(同居者含む)親族・知人に預けた	215	16.7%	16.3%	13.0%	31.6%	7.9%	3.3%	4.2%
保育サービスを利用した	10	20.0%	-	-	-	-	10.0%	-
仕方なく子どもも同行させた	7	14.3%	28.6%	-	42.9%	-	-	-
その他	2	-	-	-	-	-	-	50.0%

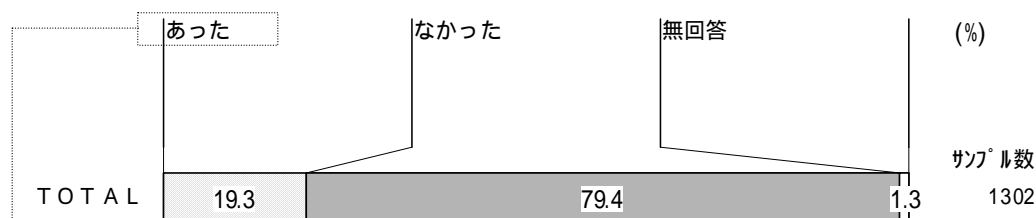
- 親族・知人に預けた場合に、38.1%の保護者が「どちらかという困難だった」と回答している。

(親族・知人に預けた場合の困難度)

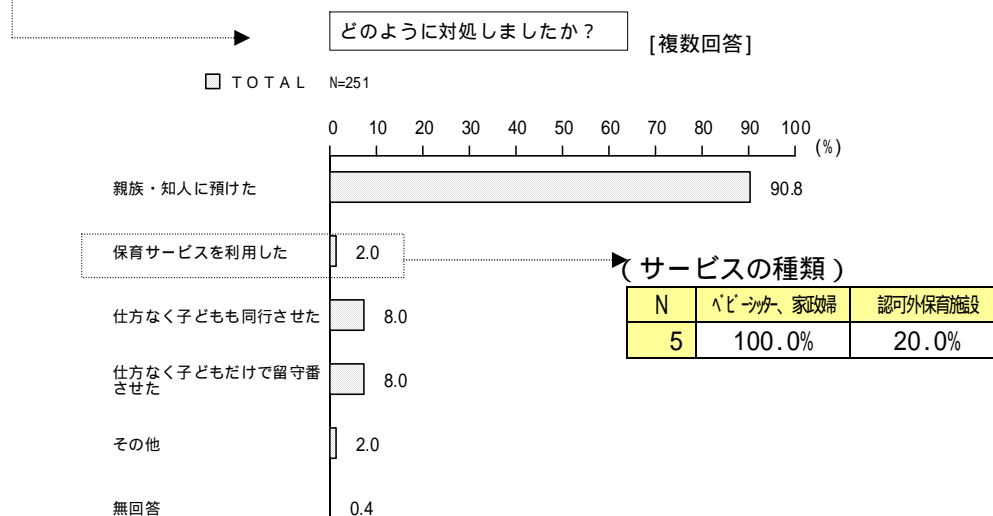
N	非常に困難だった	どちらかという困難だった	特に困難ではなかった
215	11.6%	38.1%	37.2%

- この1年間に、保護者の用事などにより子どもを泊まりがけで家族以外に預けなければならなかった経験の有無を尋ねたところ、小学生では、19.3%の保護者が「あった」と回答している。

泊まりがけで家族以外に預けなければならなかったことはありましたか？【小学生】



- その際の対処方法としては、90.8%が「親族・知人に預けた」と回答している。



- それぞれの対処別日数は、「親族・知人に預けた」場合では、「1日」が27.2%、「2日」が17.5%、「3日」が11.8%と1~3日が半数以上を占めている。

(対処方法別の日数)

	N	1日	2日	3日	4日	5~7日	8~10日	11日以上
(同居者含む)親族・知人に預けた	228	27.2%	17.5%	11.8%	4.4%	14.0%	5.7%	9.6%
保育サービスを利用した	5	-	-	-	-	20.0%	-	20.0%
仕方なく子どもも同行させた	20	30.0%	10.0%	5.0%	-	5.0%	10.0%	5.0%
仕方なく子どもだけで留守番させた	20	60.0%	5.0%	-	-	10.0%	-	5.0%
その他	5	-	20.0%	-	-	40.0%	-	-

- 親族・知人に預けた場合に、54.8%の保護者が「特に困難ではなかった」と回答している。

(親族・知人に預けた場合の困難度)

N	非常に困難だった	どちらかという困難だった	特に困難ではなかった
228	6.6%	23.2%	54.8%

- 保育サービスを利用しなかった理由としては、「日常接していない人に預けるのが不安だから」をあげる保護者が52.4%と最も多い。

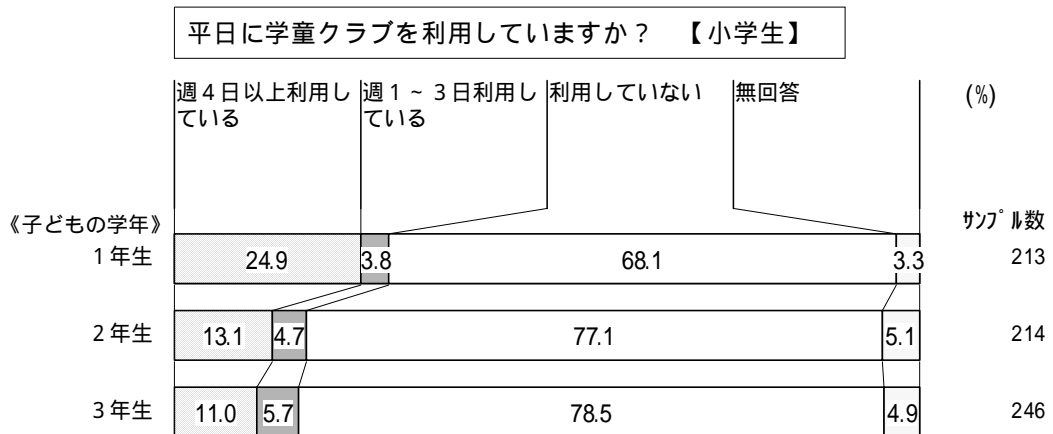
(保育サービスを利用しなかった理由)

N	日常接していない人に預けるのが不安だから	家で子どもをみてもらうサービスは利用料が高いから	適当な保育サービスがみつからなかったから	その他
42	52.4%	33.3%	33.3%	38.1%

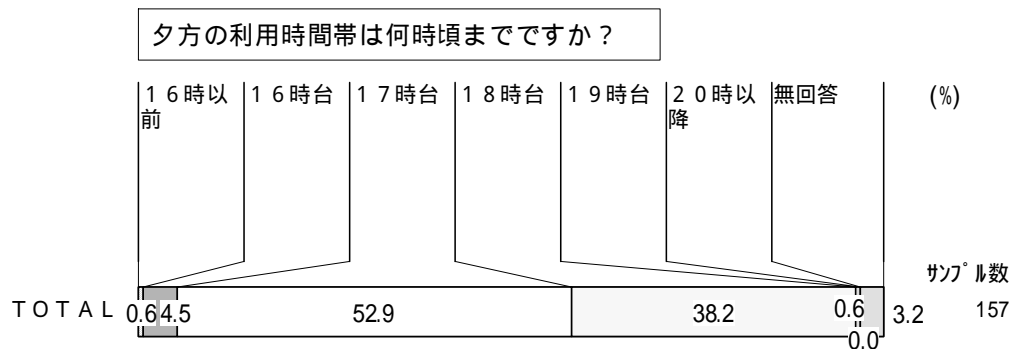
(16) 学童クラブの利用状況について

平日の利用状況

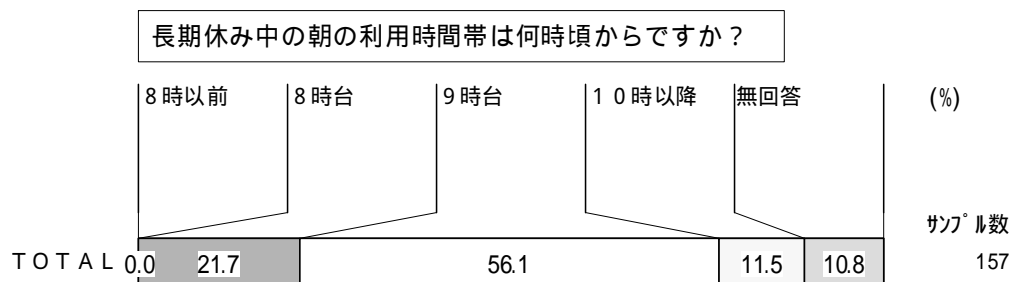
- 平日に学童クラブを「週4日以上利用している」のは、「1年生」の24.9%、「2年生」の13.1%、「3年生」の11.0%である。



- 夕方の利用時間帯は、「17時台」までが52.9%と最も多く、次いで「18時台」までが38.2%となっている。

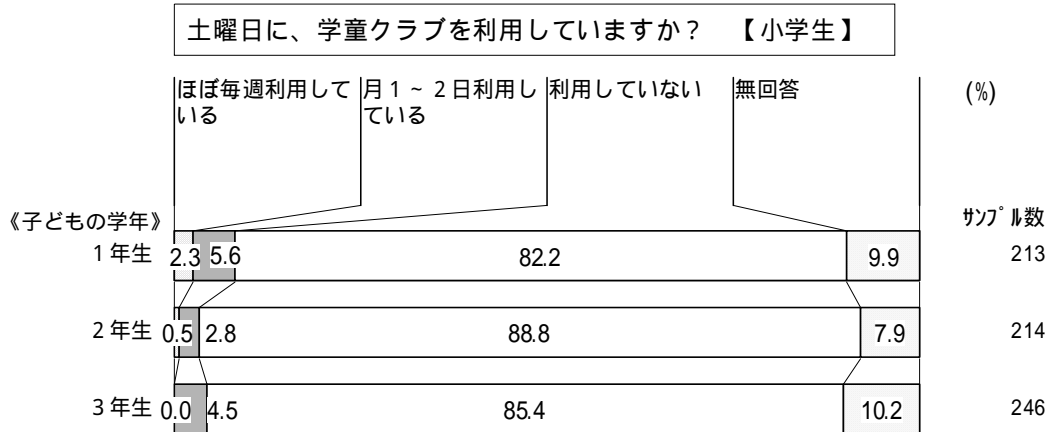


- 長期休み中の朝の利用時間帯は、「9時台」からが56.1%と最も多く、次いで「8時台」からが21.7%となっている。

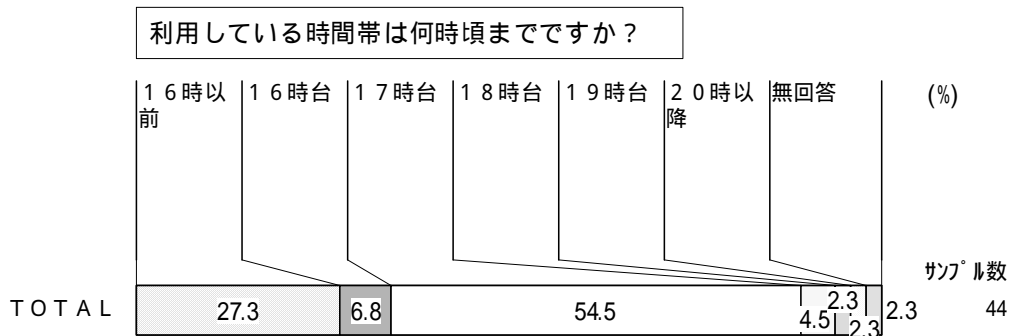
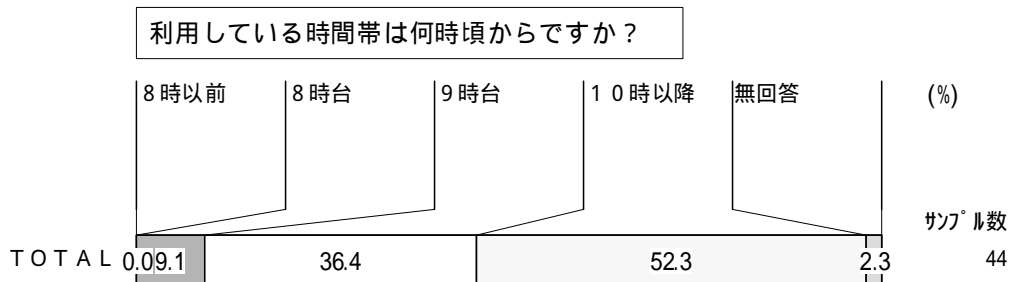


土曜日の利用状況

- 土曜日に学童クラブを利用している子どもは1割未満で、「1年生」では2.3%が「ほぼ毎週利用している」、5.6%が「月1～2回利用している」と回答している。



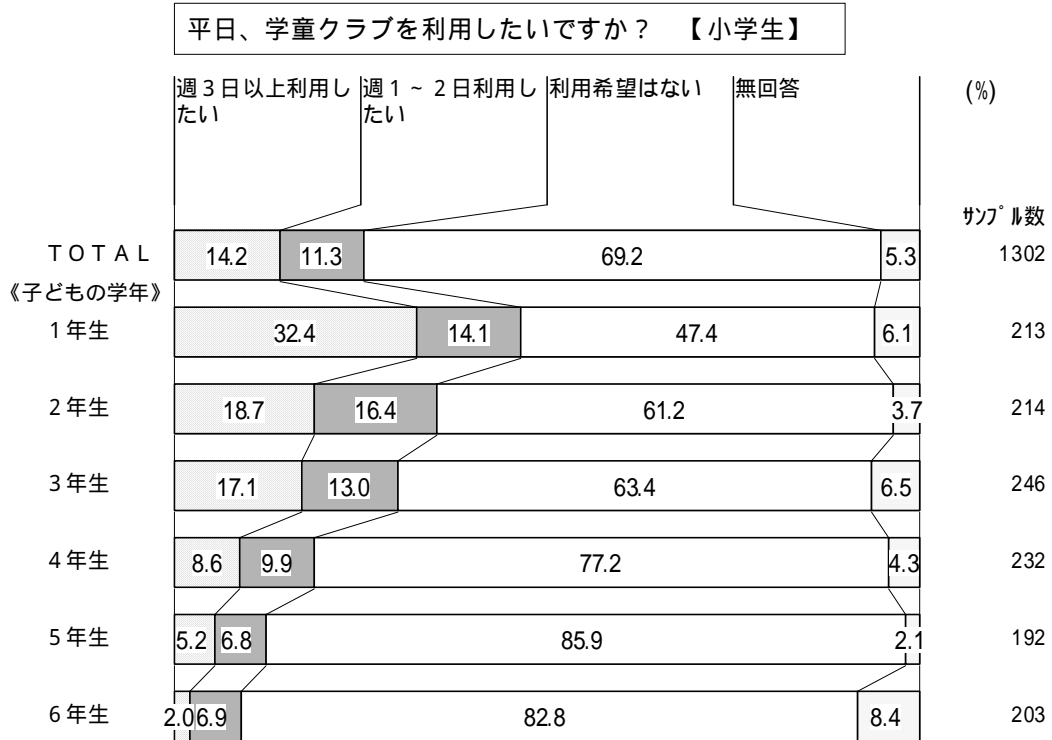
- 利用開始時間は「10時以降」からが52.3%、「9時台」が36.4%を占めている。利用終了時間は「17時台」までが54.5%と最も多い。



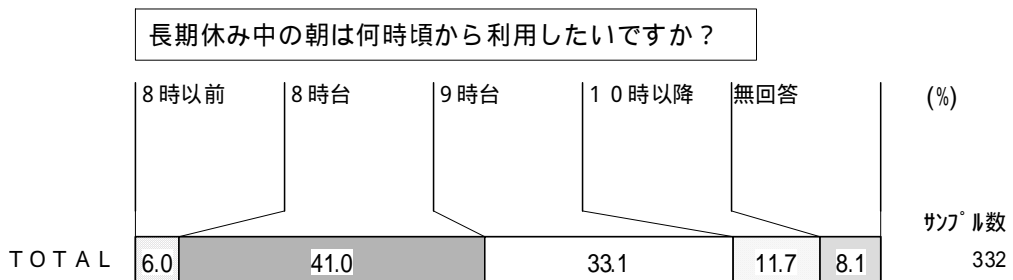
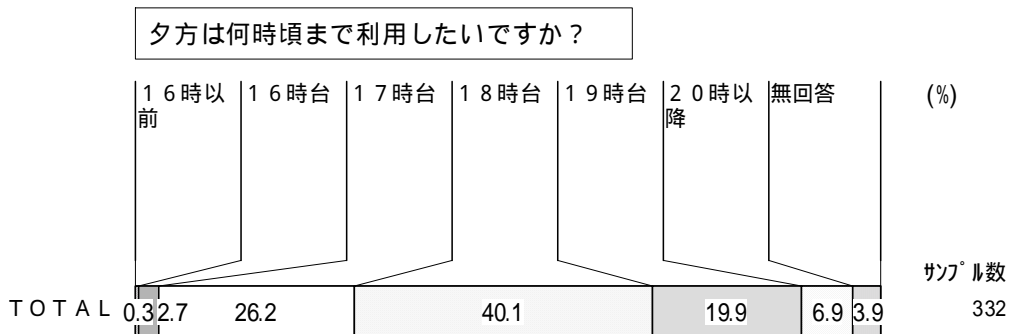
(17) 学童クラブの利用意向について

平日の利用意向

- ・ 平日の学童クラブの利用意向は、「週3日以上利用したい」と考えている保護者が14.2%、「週1～2日利用したい」が11.3%となっている。
- ・ 学年別にみると、利用意向は学年が下がるほど高くなり、「1年生」では、「週3日以上利用したい」が32.4%、「週1～2日利用したい」が14.1%となっている。



- ・ 利用を希望する時間帯をみると、夕方は「18時台」までを希望する保護者が40.1%と最も多く、長期の休み中の朝は「8時台」からを希望する保護者が41.0%と最も多い。



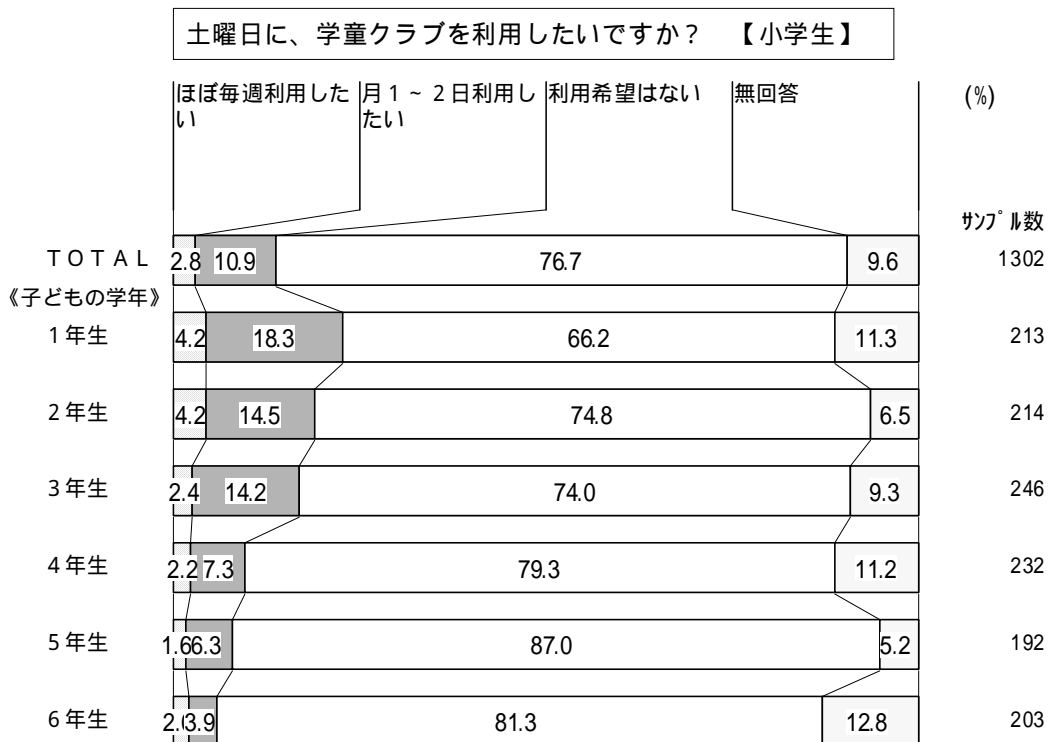
- ・ 学童クラブを利用したい理由としては、「現在、就労している」をあげる保護者が64.5%を占めている。

お子さんを預けたい理由は何ですか？

	現在、就労している	そのうち就労したいと考えている	就労していないが利用したい	就職予定がある／求職中である	病気や障害を持っている	家族・親族等を介護しなければならない	学生である／就学したい	その他無回答
【小学生】 N=332	64.5%	10.2%	8.7%	4.2%	1.8%	1.2%	0.9%	8.4%

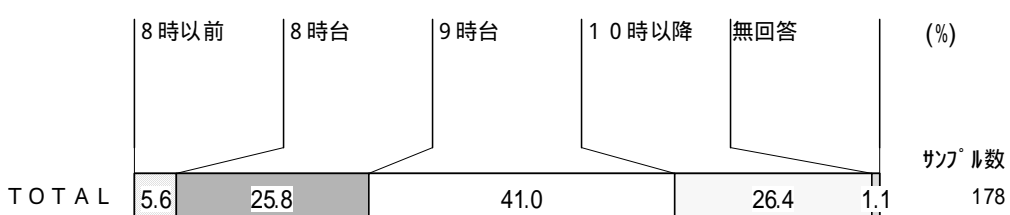
土曜日の利用意向

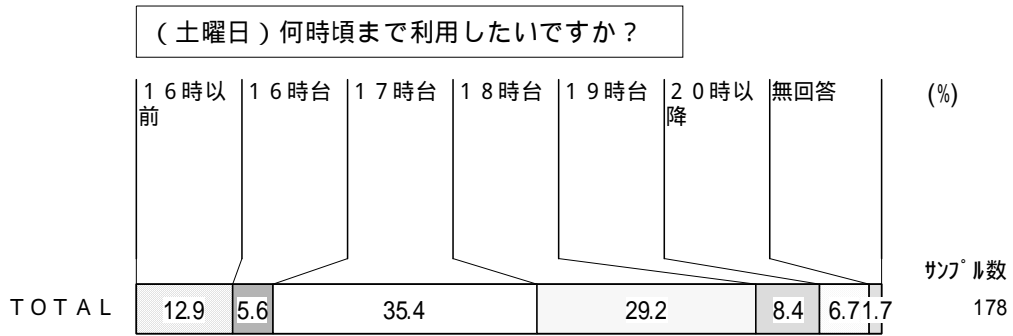
- ・ 土曜日の学童クラブの利用意向は、「ほぼ毎週利用したい」と考えている保護者が2.8%、「月1～2日利用したい」が10.9%となっている。
- ・ 学年別にみると、利用意向は学年が下がるほど高くなり、「1年生」では、「ほぼ毎週利用したい」が4.2%、「月1～2日利用したい」が18.3%となっている。



- ・ 利用を希望する時間帯をみると、開始時間は、「9時台」からを希望する保護者が41.0%と最も多く、終了時間は「17時台」までを希望する保護者が35.4%と最も多い。

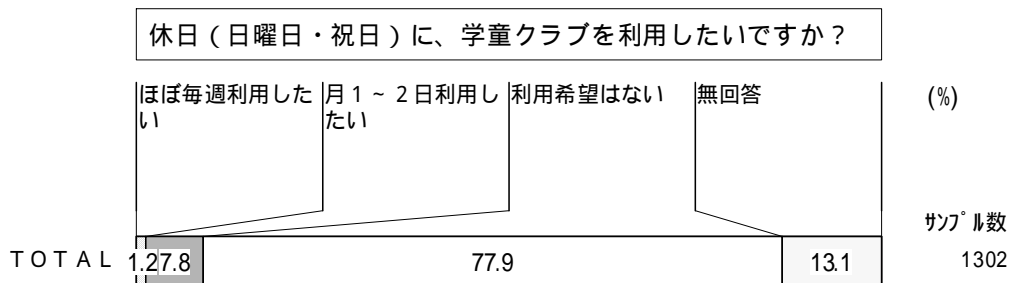
(土曜日) 何時頃から利用したいですか？



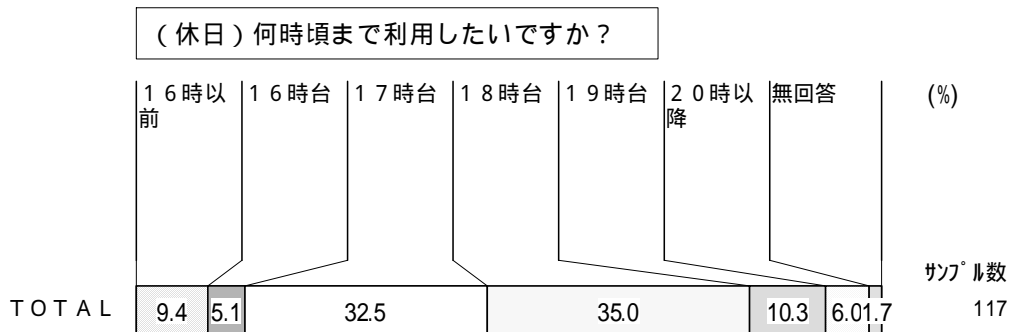
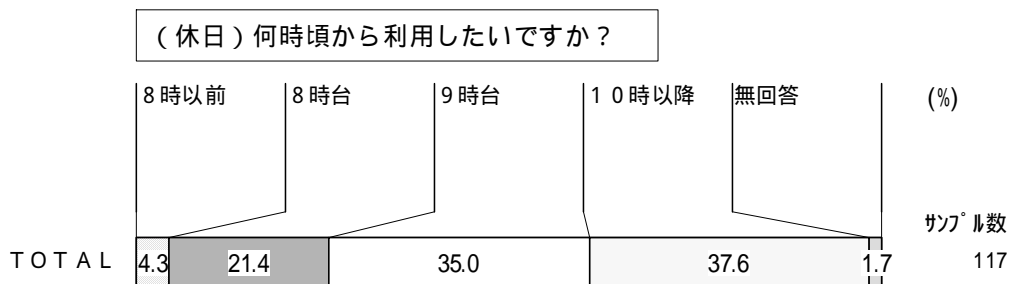


休日(日曜日・祝日)の利用意向

- ・ 休日(日曜日・祝日)の学童クラブの利用意向は、「ほぼ毎週利用したい」と考えている保護者が1.2%、「月1~2日利用したい」が7.8%となっている。



- ・ 利用を希望する時間帯をみると、開始時間は、「10時以降」からを希望する保護者が37.6%と最も多く、終了時間は「18時台」までを希望する保護者が35.0%と最も多い。



(18) 意見・要望(自由回答)

調査の終わりにあたり、区の子育て支援施策に関する意見・要望等についての自由記入欄を設けたところ、数多くの意見・要望が寄せられた。内容はきわめて多岐にわたっており、本報告書では紙面の都合上すべてを掲載することはできないが、その一部を紹介することとする。掲載にあたっては、特に多くの方から寄せられた意見・要望や、調査票の設問からは浮き彫りにされにくい課題・問題点を中心に、より代表的で具体性のある意見・要望を紹介するよう心がけた。

情報について

【就学前児童の保護者】

- ・ 口コミにより育児サークルの存在を知った。知らないまま参加することなく孤独に育児をしている人もいる。各家庭に案内を送ってほしい。
- ・ 引越してきたばかりでどんな施設があるわからない。一覧表がほしい。
- ・ 周囲に同じ歳の子どもがいない。施設やグループ活動の情報がもっとほしい。
- ・ いろいろな子育て支援があることをこのアンケートで知り、もっと利用すれば良かったと思った。
- ・ 区からのハガキでの情報はありがたい。これからも行事等の情報がほしい。
- ・ 平日、長時間働いており、子育てに関する情報を得にくい。
- ・ 知りたいこと、聞きたいことがあってもなかなか聞けない。また、どこに聞けばいいのかよく分からなくて困ることがある。インターネットは家にはない
- ・ 子育てに関する情報提供の仕組みを工夫してほしい。例えば、小冊子を作成し該当家庭に郵送するなど。
- ・ 区報を出張所までとりに行けないし、新聞もとっていないので情報がない。
- ・ 情報がわかりづらい。区報やHPを見ても要点が読み取りにくく理解しにくい記事の構成や文章が多く、面倒くさくなり投げ出してしまう。
- ・ 保健所で予防接種を受ける時などに、一緒に施設の紹介や催し物の情報を提供してほしい。

【小学生の保護者】

- ・ 特に核家族で暮らしている人に向けては、子育て支援サービスの情報提供をしっかりと行った方がよい。
- ・ 支援サービスがこんなにあるとは知らなかった。
- ・ 区に住みはじめて1年程になるが、広報や幼稚園のお友だちのお母さんから情報が多少入るだけで、いろいろな施設や利用方法等については詳しく知らない。
- ・ 他県より転入してきた時(夏休み中)、近くの図書館・児童館などの地区マップのようなものがあつたら、と思った。
- ・ インターネットは全家庭に普及している訳ではない。町会内の掲示板や、区民だよりのほうが情報が行き届くのでは。

相談について

【就学前児童の保護者】

- ・ 保育園での育児相談をやっているのを知らなかった。もっとPRすべき。
- ・ 区役所へ相談へ行ったが、平日は働いているためゆっくり話せなかった。
- ・ 1つの窓口に行けば(電話をすれば)、実情に応じた対策を具体的に相談できる体制を作ってほしい。
- ・ 保健所の保健婦さんに相談をしたことがあったが、専門家意識があまりに強くすぐ決めつけられ自分がそんなに気にしていないのに、と思ったことがあった。
- ・ 私自身が内気なので、育児相談など積極的に受けられない。
- ・ 発達に少し問題のある子どものことで就学相談に電話したが、プライベートについて聞くだけで、事務的でまるで役に立たないお答えしかもらえなかった。

- ・ 支援センターの電話相談をしたかったが、実際、子どもの寝る時間（21時）以降しか手があかない。その時間に受けつけてもらえるとうれしい。
- ・ 子育ての悩みではなく、同居の問題や悩みについても相談できる窓口がほしい。
- ・ 子育てのことでもっと身近に相談できる人が町内にいると助かる
- ・ 顔を合わせての相談には抵抗を感じる場合がある。インターネットのメールや電話などで専門に相談できる場所があれば良い。
- ・ 24時間、子どもの病気のことなどを相談できるホットラインがあればと思う。
- ・ 2人目を出産したとき、長男を一時預かりしてもらおうと思い、保育園や区のいろいろな施設に電話して相談したが、全然協力的ではなかった。

【小学生の保護者】

- ・ 本当に支援しなければいけない人は、自分から進んで相談に来ないのでは。保育所から幼稚園に入るまでの子どもがいる家庭は定期的な巡回が必要では。
- ・ 保護者、祖父祖母とも高齢。病気のため今後のことが心配。現在やっとの思い。適切な相談にのってくれるところがあるのだろうか。
- ・ 教育センターの教育相談の充実をお願いする。現在、指導の予約がなかなかとれず、月に1回45分の指導では、効果は期待できない。
- ・ あまりあちらこちらに相談窓口があっても、利用するのは限られてしまう。もっと公立小学校での窓口を充実させるべき。
- ・ 子育て中の悩みを気軽に相談できる所があるといい。
- ・ フルタイムで働いていると役所に相談に行く暇もない。保育園に連絡窓口があれば良い。
- ・ 誰も知っている人がいない場所でポツンと一人赤ちゃんを抱えて悩まないように、せめて電話相談の窓口だけでも親切に答えてほしい。

子どもの遊び場について

【就学前児童の保護者】

- ・ 近くの公園にはすべてテントがはられ、ホームレスの人がいるため遊べない。
- ・ 外で思いきり遊ばせたいが、安全面から子どもだけで外出させることは怖い。
- ・ 新宿御苑は有料で中に浮浪者がいないため、安心して遊ばせることができるが、毎回入園料を払うのは負担が多いので乳幼児連れのママは無料にできないか。
- ・ 高田馬場の近くには子どもだけで遊ばせられる公園が近くにありません。
- ・ 公園は浮浪者、変質者が多く小学生や幼児を安心して遊ばせておけない。
- ・ ボールや自転車などを近所の人に遠慮することなく思いきりできるような場所（学校など）など提供してもらえると嬉しい。
- ・ 公園に地域の大人が集まるようになれば、子どもに対する犯罪の抑制にもつながる。

【小学生の保護者】

- ・ 土、日曜日に親子であそべる場所がほしい。児童館の親子クッキングなど。小学生の子と幼稚園の子がいるので、両方の子とも遊べるとよい。
- ・ ホームレスとゴミがとて多く、「外で遊びなさい」と言うと、みんな声をそろえて「こわいからいやだ」と言う。
- ・ できれば学校を遊び場として開放してほしい。
- ・ スポーツが（サッカーとか野球）ができる広いグラウンドがあるとよい。
- ・ キャッチボール等、ボールで遊べる場所を作ってほしい。
- ・ 小学生の行ける、夏休み中プールなどの使用する場所が少ないと。

保育園・幼稚園について

【就学前児童の保護者】

- ・ 今、通っている幼稚園は1クラス23名。もう少人数制で目の行き届いた保育をしてもらいたい。
- ・ 保育園の定員増はいいことだと思うが、何でも民営化がよいとは限らない。

- ・ 預かり保育をしてくれる幼稚園が増えることを希望する。
- ・ 3年保育を行っている園が限られているため、入園できない幼児が多数いる。
- ・ 保育園も保育の様子をもっと公開してほしい。
- ・ 病後児保育や休日保育をどの保育園でもできるようにしてほしい。
- ・ 区立保育園の待機児童を減らしてほしい。
- ・ 保育園の受け入れ体制。もっと親の就労を理解し、安心して子どもも親も「この園なら預けたい」という気持ちになれることが大切。
- ・ フルタイムで仕事をしているのに、希望する地域の保育園にすぐに預かってもらうことができないというのが、次の子どもを考える際のいちばんの障害。
- ・ 1歳以上でも、ならし保育期間として就労前の保育園入園をみとめてほしい。月齢が上の児童の方が、ならし保育がより必要。
- ・ 保育園の申込みでは月～土の就労しか書く欄がないが、土日働いているのに考慮されないのはおかしいと思う。
- ・ 保育所の空きを1年近く待っている。仕事をしたくてもなかなかできない。
- ・ 子の入院等、特別な場合の急な延長保育利用を可能にしてほしい。医師から処方された薬であれば昼間の分を保育園で飲ませてほしい。
- ・ 来春より保育園への入園を希望している。入園の可否の決定がもっと前もって早い時期にわかる方が準備しやすい。
- ・ 保育園入園の基準が不透明で、保護者側には園を選ぶ権利がないように思う。
- ・ 3月生まれで保育園の0歳児クラスに入れず、翌4月の時点での1歳児クラスもちあがりのため入れない。2,3月生まれのための0才児枠を設けられないか。

児童館について

【就学前児童の保護者】

- ・ 乳幼児の開放が現在週一回、一時間だが、常に遊びに行ける場としてほしい。
- ・ 昼を食われる部屋もないし、ゆっくり遊ばせる部屋もないので行かない。
- ・ 外遊びが出来ない雨の日、寒い日、暑い日は、児童館でのびのび自由に遊ばせたいが、児童館の始まる時間は早いところで9時30分。子どもは朝早起き。
- ・ 区内の児童館の場所がわかる地図はもらったが、各児童館でどんな事をやっているか等、詳細な情報が一覧で分かるような物があればもっと利用できる。
- ・ 児童館では、午後になると学童の子どもが来て小さな子は遊べない。

【小学生の保護者】

- ・ 私学に通わせているが、公立の小学校と同じように児童館が利用できるのか。

学童クラブについて

【就学前児童の保護者】

- ・ 職員の人数を増やしてほしい。室内だけでなく、屋外にも連れ出してほしい。
- ・ 延長時間のあるところを作ってほしい。
- ・ 時間が18時までと決まっており、それ以降の面倒をどうするか悩んでいる。
- ・ 時間が18時までだが、保育園(18時30分まで)より早いお迎えが必要なのは絶対におかしいと。
- ・ 学童クラブを3年生ではなく6年生までにしてもらえたら助かる。

【小学生の保護者】

- ・ 小学校の中で行なわれればと何度も思った。小学校からかなり離れた場所へ移動するのは、天気が悪い時は、低学年の子どもにはかなりの負担。
- ・ 学童クラブの利用時間を19時まで延長してほしい。
- ・ 小学3年生で終了するのが理解できない。高学年に勉強をサポートできる大学生ボランティアでも置いて区民にサービスすれば、クラブの利用者が増えるはず。

ファミリーサポート事業について

【就学前児童の保護者】

- ・ ベビーシッターさんとのコーディネートに講習があるのが少し面倒。それに講習(説明会)の回数が少なく、出席しづらい。
- ・ 利用会員になろうとしたが、登録のための説明会に子どもを連れて来てはいけなと言われ、断念した。
- ・ 興味がありぜひ利用会員になりたいと思っているが、申込みが平日なので申込みずにいる。土日か夜間にもやってほしい。

【小学生の保護者】

- ・ 事業のことは知っているが、広報等をみないと内容が全く情報として入ってこない。できれば学校を通してでも保護者に情報が入ってくるようにしてほしい。

各種保育サービス、子育てサービスについて

【就学前児童の保護者】

- ・ 学校の行事等にも下の子を連れて行くか、参加を途中で断念してしまう。保護者が集まる時間に限り、空き教室で下の子を預かってくれるサービスがあるよい。
- ・ 保育サービスの条件の簡素化を。
- ・ 親子を対象とした行事、区の催し、ファミリーサポート事業、すべて平日ばかりで、働いている身としては参加したくてもできない。
- ・ 保健センターの育児グループは、2人子どもがいると、(どちらかの年齢があわないため)利用できなくて残念。
- ・ 保育サービスは日常接していない人に預けるのにとても不安がある。
- ・ 買い物や銀行等、少しの間預けられる区の施設がぜひほしい。
- ・ 母子家庭で生活が苦く昼、夜、働いている。昼間は保育園に預けているが、夜は1人で留守番。病気のときなど不安。安価にベビーシッターを利用できないか。
- ・ 家族に要介護者が出たとき、区内の保育園に1歳の娘の一時保育を問い合わせたが対応してくれた園はなかった。

【小学生の保護者】

- ・ 子育てサポートのあり方について、色々お考えかと思う。まず、あらたなものを作るより、今あるところを有効に活用する方向に目を向けてはいかがか。

保護者の休息・リフレッシュ、子育て不安について

【就学前児童の保護者】

- ・ まわりは専業主婦が多いが皆配偶者の帰りもおそく、子育てに息苦しさを感じている事が多いようす。親もほんの短期間でも息抜きできる環境があればと思う。
- ・ 子育てには体力が必要。その為には息抜きが絶対に必要。その理由では公的機関には預かってもらえない。保育園などでそういったことを実施してほしい。
- ・ 1年に1度でいいので、未就学児の保護者にリフレッシュ券がほしい。
- ・ 時間でも気分転換ができる(一時預かりサービス)システムがあると、もっと余裕が持てそうだと思う。
- ・ 子育て中の専業主婦は孤立しがち。もっと社会活動に参加できる場を作ったり、母親の不安や不満をサポートしてくれる場の情報提供等をしてほしい。

【小学生の保護者】

- ・ 子どもだけではなく、親(特に母親)の精神的なフォローを考えた方がいい。
- ・ 子育て中のお母さんを孤立させてはダメです。
- ・ 時々息づまった時に、気軽に利用できるカウンセリングサービスがほしい。

住まいについて

【就学前児童の保護者】

- ・ 公共住宅をもっと必要としている人たちが利用できるように改善してほしい。この

まだまだ若い夫婦がますます住みにくいまちになっていくと思う。

- ・ 新宿区は家賃が高いので対策を講じてほしい。
- ・ 住居に関しては単身用のマンションが多く、3LDK以上の物件が少ないことに関しても、引越しについて考える理由である。
- ・ もう少し家賃補助の世帯数を増やしてほしい。

【小学生の保護者】

- ・ 家が狭くて(2DK)4.5帖と6帖で子どもの空間が全然ないので、できれば今より少し広い家がほしい。
- ・ 公共住宅の数が少なく新しく建ったところは、老朽化で取り壊した住宅の人が優先なので、新規枠を増やしてほしい。
- ・ 同じくらいの子どものいる家族何世帯かで楽しみながら子育てをしたい。モデル住宅をいくつか区で用意してくれたら、モニターとして利用してみたい。
- ・ 区営住宅をあたるようにしてほしい。家賃補助も。
- ・ マンション等では振動等を考え、子どもの行動を規制することが多い。壁厚などをしっかりした住宅の整備(区営住宅や、民間への助成)は必要だと思う。

子育てにかかわるまちづくりについて

【就学前児童の保護者】

- ・ ベビーカーや子連れで入れるレストランやお店が少ない。
- ・ 統廃合によりあいている小学・中学校の校舎を高齢者や区の施設にするもよいが、各年齢の子どもが安心して遊べる施設にしてほしい。
- ・ 図書館と児童館はベビーカー利用者にも便利に。中町の図書館はB1、児童館は3Fを、階段を使ってベビーカーと子どもを運んでいる。あまりにも不便。
- ・ 道路、公園、児童館、学校、幼稚園など全面禁煙にしてもらいたい。子どもをたばこの煙から守るのはとても大変。
- ・ ベビーカーや自転車の専用通路等があるといいと思います。
- ・ 新宿駅に授乳室とエレベーターを設置してくれるよう区で働きかけてほしい。
- ・ 広いスペースのトイレに車イスだけでなくバギー利用者マークをつけほしい。デパートで利用していたとき、車イスの人からにらまれていやな思いをした。
- ・ おむつ替えのできる場所を増やしてほしい。トイレの便座も1つは洋式にしてほしい。妊婦でおなかが大きくなり和式が厳しかった。
- ・ おむつ替えの設置を女性トイレだけでなく、男性トイレにも実施してほしい。

【小学生の保護者】

- ・ 兄弟の手を引きながらベビーカーを押していると、道が狭くその狭い道に電柱があり、傾斜があり、まっすぐ歩けない。
- ・ 区内の児童館は建物の2F、3Fにある所が多いが、小さい子、体の不自由な子には利用しづらい。できるところからでもバリアフリー化をお願いしたい。
- ・ 子どもが帰宅する際、駅から住宅街に入ると急に暗くなるので、もう少し外燈を増やしてほしい。

地域でのつながり、協力等について

【就学前児童の保護者】

- ・ 近所に知人もなく相談する人もないという方や、外国の方などはなかなか自分から子育てサークル等に参加することもないと思う。本当に困っている方に手を差し伸べることが必要だと思うので地域ボランティアによる巡回等の活動を行うなどして子育て支援の充実を図っていくと良いのではと思う。
- ・ 日々成長する我が子と接する時間はもちろん大切だが、さらに地域とのかかわりや情報を得る工夫も必要かと思った。
- ・ せっかく国際色豊かなのだから子育てでも交流を促す機会をつくってほしい。
- ・ 横のつながりで、大人みんな子どもを守りたい。知らない子だから、という考え

をなくしたい。

- ・ もっと社会全体が協力をして母親が子育てに専念できる環境にしていけないといけない。

【小学生の保護者】

- ・ 町会などにもっと子どもや親も関わっていきたい。顔を知っている人が少ないので、イベントがあれば参加して顔見知りになることができるので。
- ・ 子育てを終えた地域のシニアの方々がボランティアで勉強や遊びを一緒にできる場所を増やしてほしい。
- ・ 他人の子ども、自分の子どもと同様に見守り、悪い事をしていけばしかるなどしても良いのでは。見て見ぬふりの大人が多すぎるのではないか。

安全・安心について

【就学前児童の保護者】

- ・ 子どもが犯罪に巻き込まれたり、被害にあったりしないよう、治安がもっとよくなると安心なのだが。

【小学生の保護者】

- ・ 最近、誘拐など学校帰りや遊びに行った先で事件に巻き込まれることが多い。親はもちろん子ども自身、どんなことに注意すれば巻き込まれないか、わかりやすく説明できる資料があると親としては助かります。
- ・ ポイントごとに子どもの飛び込める警察官のいる交番を増やすことや、巡回を強化する等、地域の子どもたちを厳重に守るシステムを早急にするべきである。
- ・ 子どもに対する不審者が現れた場合、その学校区内だけでなく近隣のすべての学校に通知し、すぐに保護者に連絡するようにしてほしい。
- ・ 地元の学校へ通っていないので、近所での変質者の情報等を耳にする機会がない。情報入手の方法を知りたい。

障害のある子どもへの対応について

【就学前児童の保護者】

- ・ 子育て支援サービスは健康な子どものみならず、病気や発達に遅れを生じている(心配な)子ども達にも充分行われるべきであると思う。

【小学生の保護者】

- ・ 子どもの発達について保健所に相談したが、具体的な指導を受けられず、親として不安が増ただけで、結局、自分で他の相談機関を探した。
- ・ もっと障害者、そして家族に力を貸していただければと思う。

学校について

【小学生の保護者】

- ・ 子どもが学校内でトラブルになったとき、学校側が親同士の間に入って色々相談のってほしい。
- ・ 何よりも公立小学校の冷房設置を。
- ・ 学校のPTA活動が負担。仕事をしていない人に頼るのもおかしいし、仕事を休んで旗振りをしたり、ベルマークを切ったりも疑問。
- ・ 「ゆとり」と「甘やかし」は紙一重で、結局、親がお金をかけなければ、十分な教育を受けられないのが、現状になりつつあると思う。
- ・ 学校週休2日制はだめ。薄い教科書もだめ。総合の学習は良いことだけれど、基礎を減らしてはだめ。

金銭的な支援について

【就学前児童の保護者】

- ・ 子どもに教育費等がかかる為、医療費助成などをもう少しのばしてほしい。

- ・ 児童手当、幼稚園等の補助金の拡充を是非お願いしたい。
- ・ 多育児にはお金がたくさんかかるので、区、都、国の支援がもっと必要。
- ・ 我が家には3人の子どもがいる。3人目には補助があってもいいと思う。
- ・ 子育て支援として、税金優遇、あるいは未就学児に対して食品クーポンの発行などがあるとよい。
- ・ 二人目を考えているが、妊娠中の様々な検査料金がなくて困る。
- ・ 子どもを産みたいと思っても、経済的な理由のため、なかなか踏みきれないでいる。新宿区にずっと住みたいと思っているので、区の支援が必要。

【小学生の保護者】

- ・ 具体的な経済支援、減税、健保の軽減処置、乳幼児医療証の延長など、特に子どもの多い世帯に対し、手厚い保護をお願いしたい。
- ・ 子育て支援の、特に経済的支援は、収入の多い少ないに関係なく同一にするべき。税金の恩恵を実感する機会があまりにも少ないと思う。
- ・ 子どもを育てる住居、教育費に金銭的支援を望む。私学のため教育費用等が多くかかるため、個々に応じた税金面、ローンの貸付け等、金銭面での支援を。

その他

【就学前児童の保護者】

- ・ 不妊治療への経済的支援を区独自で行ってほしい。子どもがほしくてもなかなか恵まれず、治療の助けを得たくても、高額な医療費の負担で諦めざるを得ない。
- ・ これから母子家庭になる予定。近くに気軽に頼れる人がいないのや、自分にもしものことがあったら、と少し未来に不安を感じている。
- ・ 年内に出産の予定のため、特に入院中、子どもをどうしたらよいか悩んでいる。
- ・ 健診や予防接種を個別にかかりつけの医師から受けられるようにしてほしい。
- ・ 支援センターは、たまにいくと専業主婦のママグループが固まっていたり子どもを遊ばせにくい。
- ・ 小学校から地域外の私立、または国立学校に通わせるかもしれないが、そういう子どもでも気軽に参加できる課外活動や、保育サービスを行ってほしい。

【小学生の保護者】

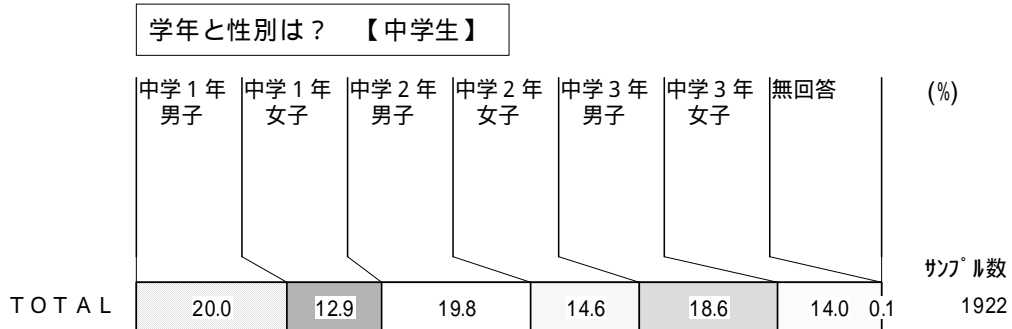
- ・ 図書館の数を減らさないでほしい。図書館の児童書（特に小学生、中学生向け）を増やしてほしい。図書館に一日中いるホームレスの人を何とかしてほしい。
- ・ 新宿区は地域によってその性質も異なるので、各々の地域特性を活かした施策が必要かと思う。
- ・ 仕事をしたい、あるいはしなければならぬ主婦に対しての策ばかりで、子育て期間に子育てだけを一生懸命している主婦に対して支援がなさすぎ。
- ・ 子育てを支援してくれるにはとても嬉しいが、人によっては任せっぱなしで、子育てをしない親もいるので、子育ての環境が良くなる反面、家族の絆がうすくなってしまっているのではないかと、という不安がある。
- ・ 親子二人で参加という行事があるが、子どもが一人でない場合に困る。
- ・ 子育て支援は、何か、相談できる場を作ることも大切だが、まわりの環境や、親達、大人達の意識のレベルアップの方が大切だと思う。
- ・ 父親学級のような場にもっと父親が参加するよう呼びかけることも大切。
- ・ 区として区内企業の子育て支援の現状をアンケート等で調査し、育児時間の確保等がきちんと行われているか、を各企業に働きかけていただきたい。

3 調査結果（中学生調査）

（1）家族の状況

学年と性別

回答者の学年・性別は、「中学1年生男子」20.0%、「中学1年生女子」12.9%、「中学2年生男子」19.8%、「中学2年生女子」14.6%、「中学3年生男子」18.6%、「中学3年生女子」14.0%の構成となっている。



同居者

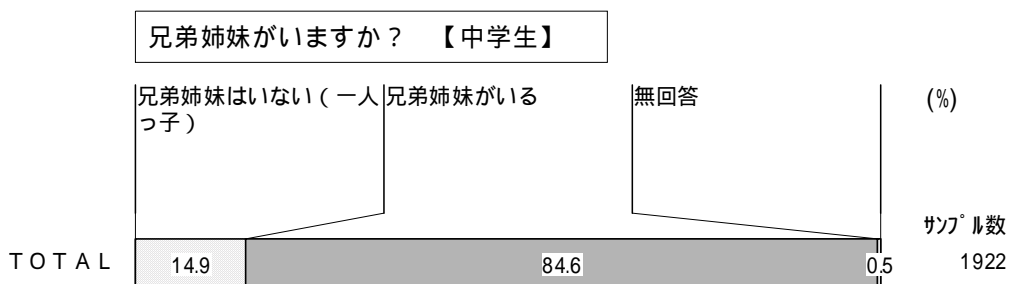
約2割が「祖母」(19.0%)と、約1割が「祖父」(10.9%)と一緒に住んでいる。

[複数回答]

	父	母	祖父	祖母	兄	姉	弟	妹	その他	無回答
【中学生】 N=1,922	90.9%	97.1%	10.9%	19.0%	27.8%	27.1%	25.8%	23.9%	2.4%	0.2%

兄弟姉妹の有無

84.6%には兄弟姉妹がおり、兄弟姉妹の中での回答者の順番は、「1番目」が41.0%、「2番目」が43.8%を占めている。



あなたは何番目ですか？

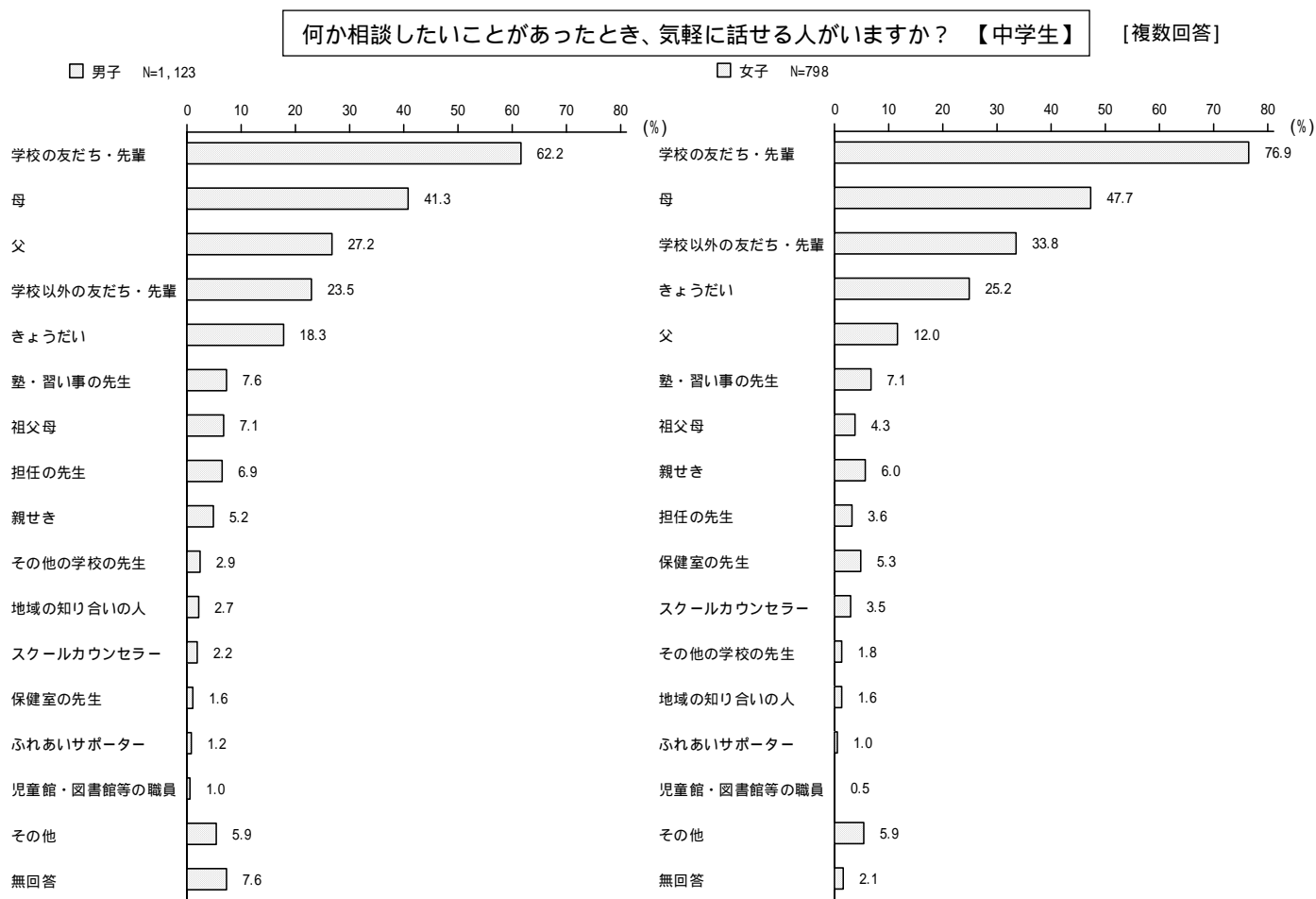
	1番目	2番目	3番目	4番目以上	無回答
【中学生】 N=1,626	41.0%	43.8%	12.6%	2.2%	0.4%

(2) ぶだんの生活や考えについて

気軽に相談できる相手

何か相談したいことや聞いてほしいことがあったときに、気軽に話せる人としては、「学校の友だち・先輩」をあげる人が68.3%と最も多く、次いで「母」(44.0%)、「学校以外の友だち・先輩」(27.8%)、「きょうだい」(21.2%)、「父」(20.9%)と続いている。

性別にみると、男子、女子ともに「学校の友だち・先輩」を上げる人が最も多いが、その割合は男子62.2%、女子76.9%となっており、女子における割合のほうが14.7ポイント高い。反対に、相談相手として「父」をあげる人の割合は、男子27.2%、女子12.0%と、男子のほうが15.2ポイント高くなっている。



全体（上位5項目）

	1位	2位	3位	4位	5位
【中学生】 N=1,922	学校の友だち・先輩 68.3%	母 44.0%	学校以外の友だち・先輩 27.8%	きょうだい 21.2%	父 20.9%

自己決定の状況

どのようなことについて親や周囲の人の意見でなく、自分で決めたいと思うかを尋ねたところ、「つきあう友だち」をあげる人が61.9%と最も多く、次いで「部活動」(55.5%)、「見たいテレビ」(54.7%)、「服や髪型等のファッション」(48.5%)と続いている。

では、実際に自分でどの程度決めていくかをみると、「自分でいつも決めている」と「自分でほとんど決める」をあわせた割合(実際に自分で決めている割合)が、「自分で決めたい」と回答した人の割合を下回っているのは、「おこづかいの額」(自分で決めたい26.2% 実際に自分で決めている9.6%)と「家に帰る時間」(38.9% 36.7%)の2項目のみである。

“親や周囲の人の意見なく自分で決めたい”
と意思しますか? 【中学生】

[複数回答]

N=1,922	自分で決めたいと思う
服や髪型等のファッション	48.5%
家の食事のメニュー	5.5%
習い事	35.8%
塾	25.8%
家に帰る時間(門限)	38.9%
見たいテレビ	54.7%
ゲームをする時間	32.3%
進学する学校	44.3%
つきあう友だち	61.9%
部活動	55.5%
おこづかいの額	26.2%

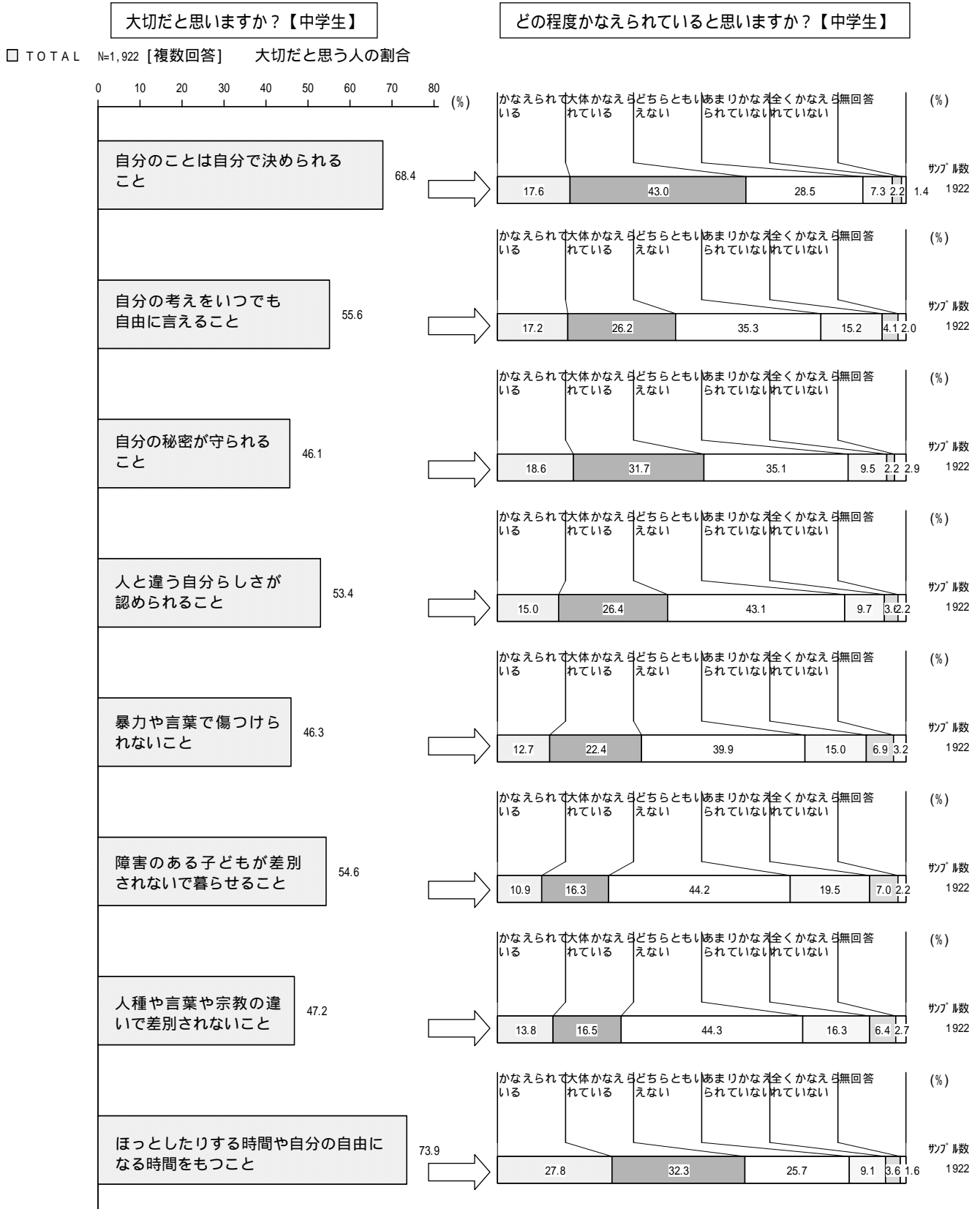
実際にどの程度自分で決めていますか?

N=1,922	自分でいつも決める	自分でほとんど決める	どちらともいえない	自分ではあまり決められない	自分では全く決められない	無回答
	(自分で決めたい)	(自分で決めている)				
服や髪型等のファッション	36.4% (48.5%)	29.6% (66.0%)	24.2%	5.9%	2.2%	1.7%
家の食事のメニュー	2.0% (5.5%)	3.6% (5.6%)	41.9%	31.3%	18.6%	2.5%
習い事	22.3% (35.8%)	23.0% (45.3%)	35.7%	8.6%	6.8%	3.4%
塾	19.5% (25.8%)	16.4% (35.9%)	38.7%	10.1%	10.1%	5.2%
家に帰る時間(門限)	16.4% (38.9%)	20.3% (36.7%)	30.9%	17.9%	12.2%	2.2%
見たいテレビ	42.6% (54.7%)	27.7% (70.3%)	20.4%	5.2%	2.7%	1.5%
ゲームをする時間	29.3% (32.3%)	19.9% (49.2%)	28.7%	8.7%	8.2%	5.2%
進学する学校	24.7% (44.3%)	21.5% (46.2%)	39.0%	7.4%	4.5%	2.9%
つきあう友だち	71.5% (61.9%)	14.6% (86.1%)	9.9%	1.4%	0.8%	1.8%
部活動	67.2% (55.5%)	15.6% (82.8%)	11.1%	2.4%	1.7%	1.9%
おこづかいの額	4.8% (26.2%)	4.8% (9.6%)	30.3%	22.8%	34.1%	3.2%

表中の()の数値は、「自分で決めたい」と回答した人の割合

大切だと思うこと

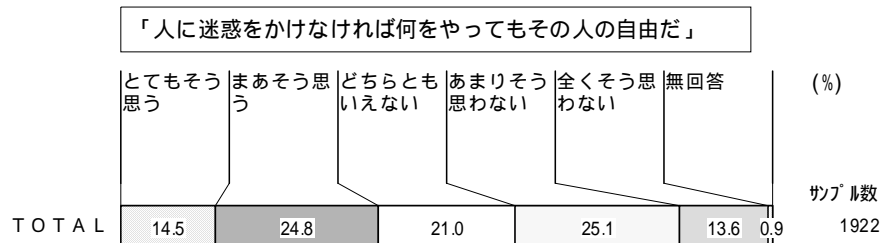
大切だと思うことを尋ねたところ、最も多くあげられたのは「ほっとしたりする時間や自分の自由になる時間をもつこと」で、73.9%の人が大切だと回答している。また、そのことが実際に「かなえられている」と回答した人は27.8%、「大体かなえられている」は32.3%となっており、あわせると約6割はおおむねかなえられている状況がうかがえる。



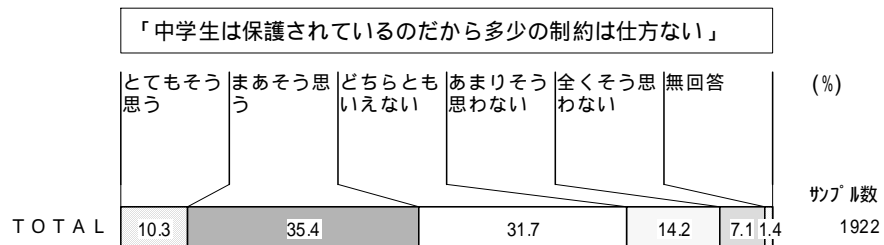
様々な意見に対する考え方について

様々な意見に対する考え方を尋ねた。

「人に迷惑をかけなければ何をやってもその人の自由だ」という意見に対しては、「とてもそう思う」が14.5%、「まあそう思う」が24.8%を占めており、あわせると39.3%の人がこの意見を妥当だと考えている状況がうかがえる。

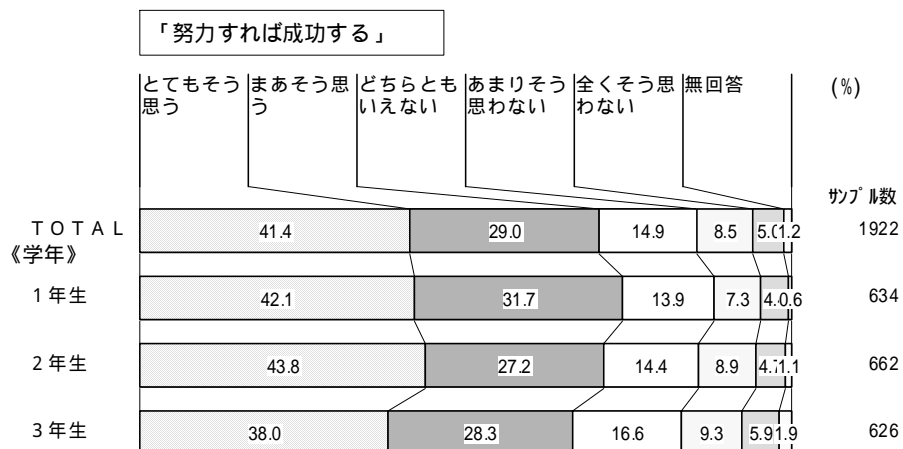


「中学生は保護されているのだから多少の制約は仕方ない」という意見に対しては、「とてもそう思う」が10.3%、「まあそう思う」が35.4%を占めており、あわせると45.7%の人がこの意見を妥当だと考えている状況がうかがえる。

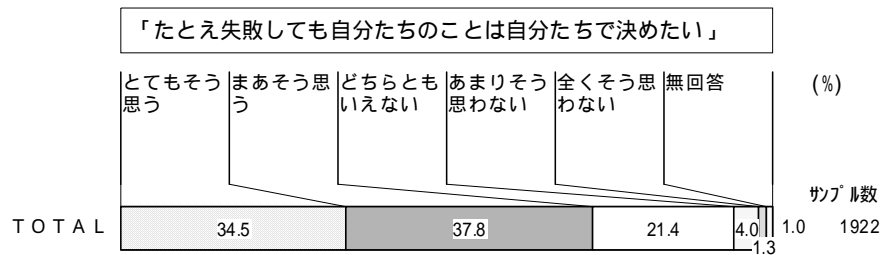


「努力すれば成功する」という意見に対しては、「とてもそう思う」が41.4%、「まあそう思う」が29.0%を占めており、あわせると70.4%の人がこの意見を妥当だと考えている状況がうかがえる。今回提示した6つの意見の中では、「とてもそう思う」と回答した人の割合が最も高かった。

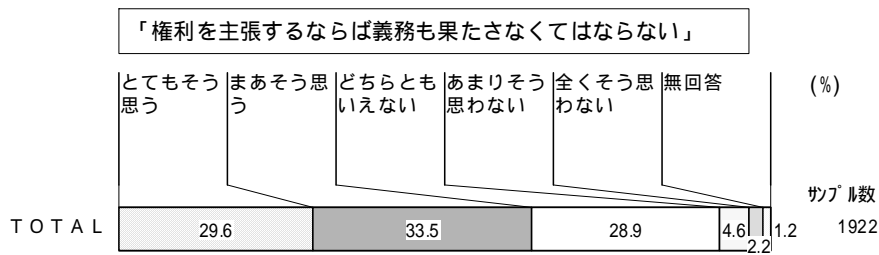
学年別にみると、「とてもそう思う」と「まあそう思う」をあわせた割合は学年が上がるに従って低くなり、反対に「全くそう思わない」「あまりそう思わない」と回答した人の割合は、学年が上がるに従って高くなる傾向にある。



「たとえ失敗しても自分たちのことは自分たちで決めたい」という意見に対しては、「とてもそう思う」が34.5%、「まあそう思う」が37.8%を占めており、あわせると72.3%の人がこの意見を妥当だと考えている状況がうかがえる。

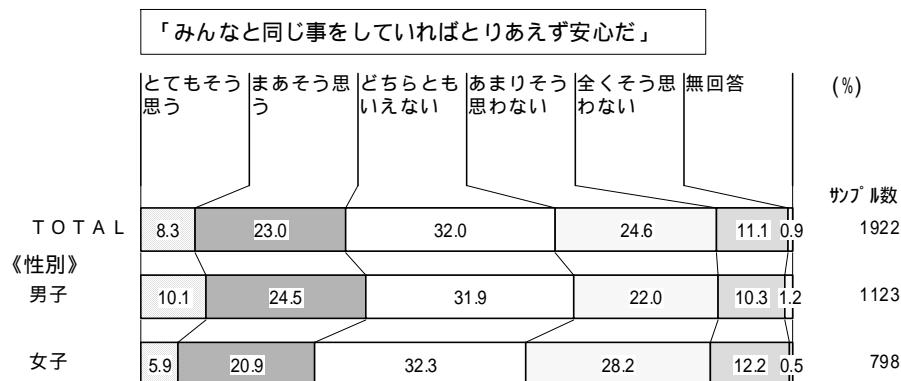


「権利を主張するならば義務も果たさなくてはならない」という意見に対しては、「とてもそう思う」が29.6%、「まあそう思う」が33.5%を占めており、あわせると63.1%の人がこの意見を妥当だと考えている状況がうかがえる。



「みんなと同じ事をしていればとりあえず安心だ」という意見に対しては、「とてもそう思う」が8.3%、「まあそう思う」が23.0%を占めており、あわせると31.0%の人がこの意見を妥当だと考えている状況がうかがえるが、「全くそう思わない」(11.1%)と「あまりそう思わない」(24.6%)をあわせると35.7%となり、今回提示した6つの意見の中では唯一、意見を妥当だ思わない人が妥当だと思う人を上回っている。

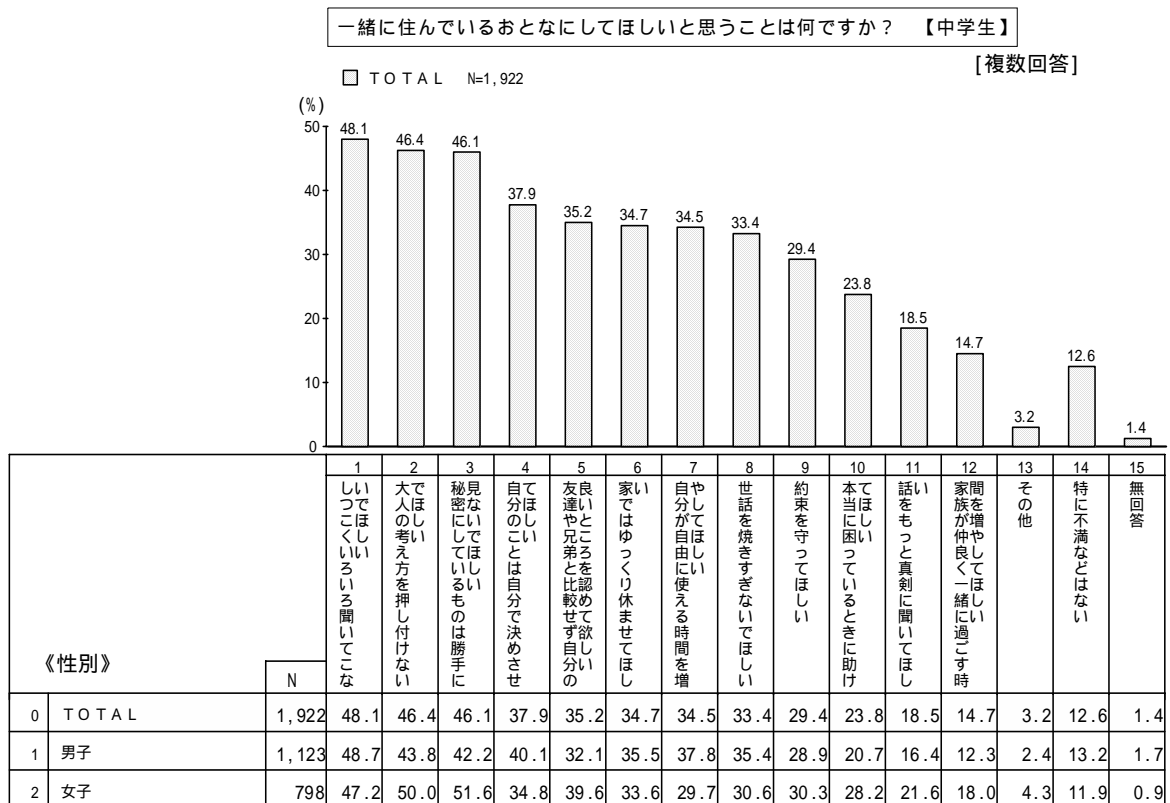
性別にみると、女子ではこの意見を妥当だと思わない人のほうが多い(「全くそう思わない」12.2%、「あまりそう思わない」28.2%)が、男子では若干だが、この意見を妥当だと思う人が妥当だと思わない人を上回っている。



一緒に住んでいるおとなにしてほしいこと

一緒に住んでいるおとなにしてほしいと思うことは、「しつこくいろいろ聞いてこないでほしい」をあげる人が48.1%と最も多く、次いで「大人の考え方を押し付けないでほしい」(46.4%)、「秘密にしているものを勝手に見ないでほしい」(46.1%)と続いている。

性別にみると、女子に比べて男子で5ポイント以上高くあげられている項目は、「自分のことは自分で決めさせてほしい」(男子40.1%、女子34.8%)、「自分が自由に使える時間を増やしてほしい」(男子37.8%、女子29.7%)の2項目である。反対に、男子に比べて女子で5ポイント以上高くあげられている項目は、「秘密にしているものを勝手に見ないでほしい」(男子42.2%、女子51.6%)、「大人の考え方を押し付けないでほしい」(男子43.8%、女子50.0%)、「友達や兄弟と比較せず、自分の良いところを認めて欲しい」(男子32.1%、女子39.6%)、「本当に困っているときに助けてほしい」(男子20.7%、女子28.2%)、「話をもっと真剣に聞いてほしい」(男子16.4%、女子21.6%)、「家族が仲良く一緒に過ごす時間を増やしてほしい」(男子12.3%、女子18.0%)の6項目である。



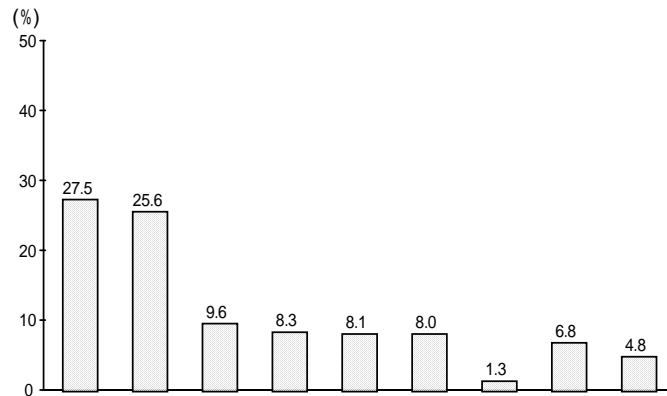
今まで“一番つらい”と思ったとき

今までで一番つらいと思ったときは、「親や先生から納得のいかない理由で怒られたとき」をあげる人が27.5%と最も多く、次いで「友だちから仲間はずれにされたとき」が25.6%で続いている。

性別にみると、女子では「友だちから仲間はずれにされたとき」をあげる人が35.2%と最も多くなっている。

今までで“一番つらい”と思ったのはどんなときですか？ 【中学生】

□ TOTAL N=1,922



《性別》	N	1	2	3	4	5	6	7	8	9
		親理由で先生から怒られた時 のいかない	友だちから仲間はずれにされ た時	秘に言われてしまったことを、他人	疲せてもらえない時に、のんびりさ	自分のはイヤといわれた時	学校などでいじめにあった時	おとなから、体罰を受けたと	その他	無回答
0 TOTAL	1,922	27.5	25.6	9.6	8.3	8.1	8.0	1.3	6.8	4.8
1 男子	1,123	33.6	18.7	9.5	10.2	7.9	7.7	1.3	5.0	6.0
2 女子	798	18.9	35.2	9.8	5.5	8.4	8.4	1.3	9.3	3.3

(3) 将来について

20年後の家族について

自分の20年後については、「結婚して、子どもがいる」と考えている人が44.3%と最も多く、「結婚しているが、子どもはいない」(4.6%)をあわせると、約半数は結婚している状態を想定していることがうかがえる。

性別にみると、「結婚して、子どもがいる」と回答した人の割合は、男子41.2%、女子48.7%と、7.5ポイント女子のほうが高いが、「独身で今の家族と一緒に暮らしている」と回答した人の割合も、男子2.0%、女子5.1%と女子のほうが若干、高い割合を示している。

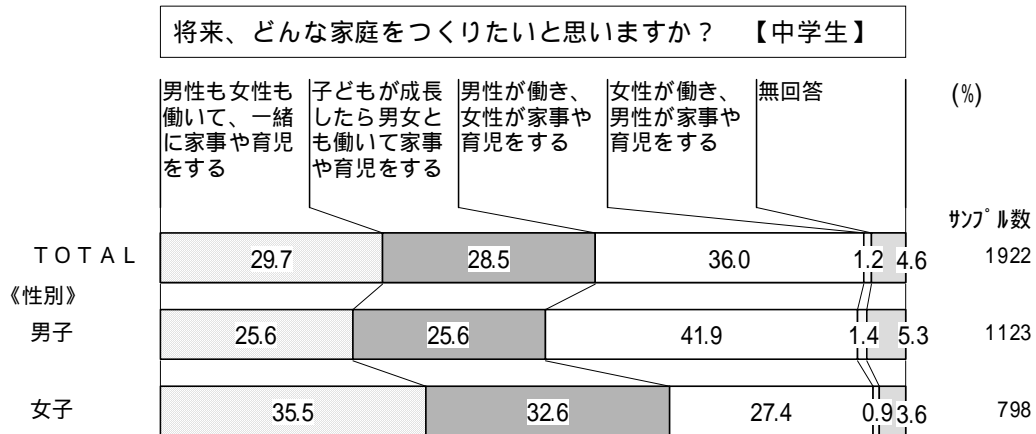
弟や妹以外の近所や親せきの赤ちゃんや幼児と遊んだ経験別にみると、遊んだ経験が多くある人ほど「結婚して、子どもがいる」と回答した人の割合が高くなっており、遊んだことが「ぜんぜんない」人では31.0%だが、「たくさんある」人では52.2%にのぼっている。

20年後の家族を思い浮かべたとき、次のどれに最も近いと思いますか？ 【中学生】							
	独身で今の家族と一緒に暮らしている	独立して一人暮らしをしている	結婚しているが、子どもはいない	結婚して、子どもがいる	わからない	無回答	(%)
TOTAL	3.3	12.6	4.6	44.3	34.2	1.0	サンプル数 1922
《性別》							
男子	2.0	14.1	4.8	41.2	37.0	0.9	1123
女子	5.1	10.5	4.3	48.7	30.2	1.1	798
	独身で今の家族と一緒に暮らしている	独立して一人暮らしをしている	結婚しているが、子どもはいない	結婚して、子どもがいる	わからない	無回答	(%)
《乳幼児と遊んだ経験》							
たくさんある	4.3	9.2	5.6	52.2	28.3	0.4	サンプル数 552
ときどきある	3.0	11.4	4.2	48.6	31.8	1.0	667
あまりない	2.3	14.4	4.2	36.8	42.4	0.0	432
ぜんぜんない	3.9	20.2	4.3	31.0	39.9	0.8	258

将来、つくりたいと思う家庭

将来、つくりたいと考えている家庭は、「男性も女性も働いて、一緒に家事や育児をする」と回答した人が29.7%、「子どもが成長したら男女とも働いて家事や育児をする」が28.5%、「男性が働き、女性が家事や育児をする」が36.0%となっている。

性別にみると、女子では「男性も女性も働いて、一緒に家事や育児をする」家庭をつくりたいと考えている人が35.5%と最も多く、「男性が働き、女性が家事や育児をする」(27.4%)を上回っているが、男子では「男性が働き、女性が家事や育児をする」が41.9%と最も多くなっている。

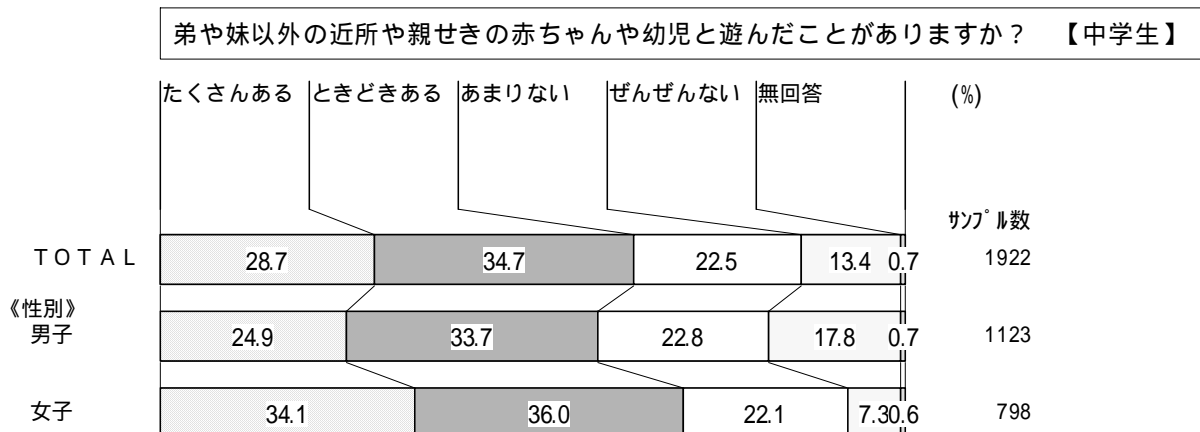


(4) 乳幼児とのふれあい体験について

乳幼児と遊んだ経験の有無

弟や妹以外の、近所や親せきの赤ちゃんや幼児と遊んだ経験は、「たくさんある」人が28.7%、「ときどきある人」が34.7%となっている。

性別にみると、女子では、幼児と遊んだ経験が「たくさんある」人が34.1%、「ときどきある」人が36.0%と、2項目とも男子を上回っている。

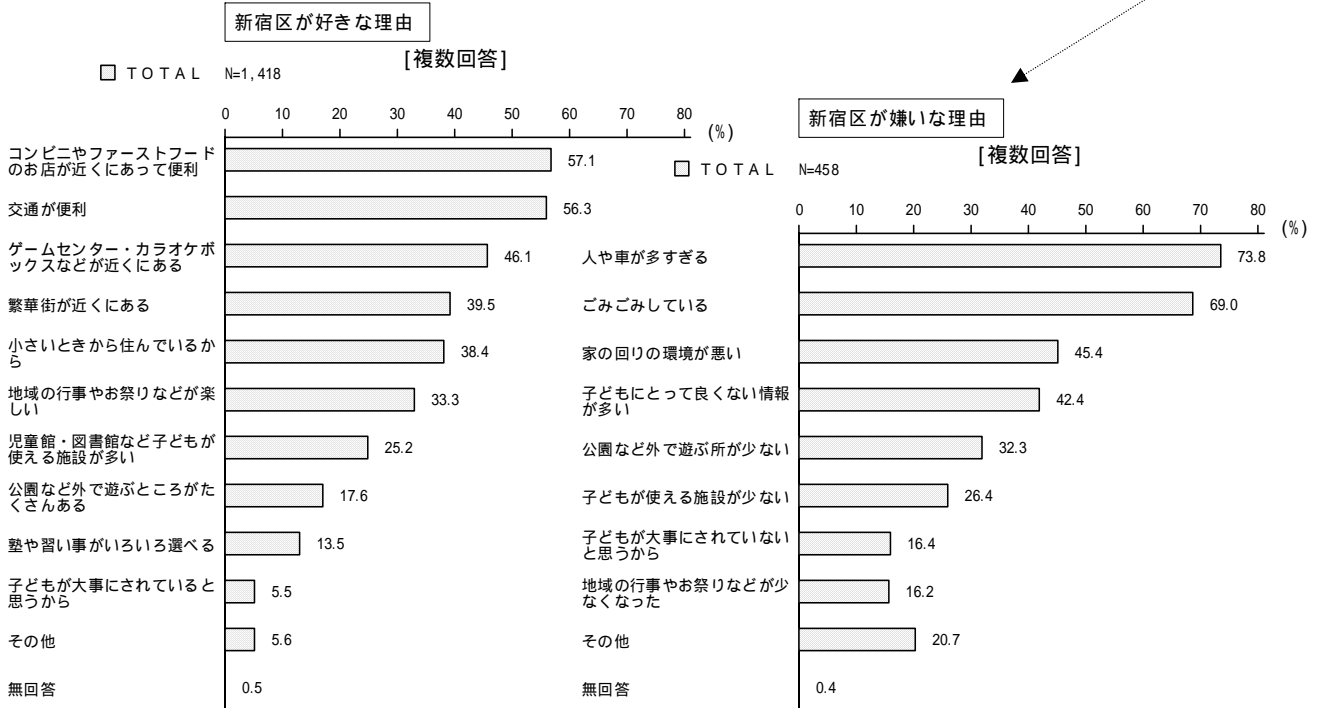
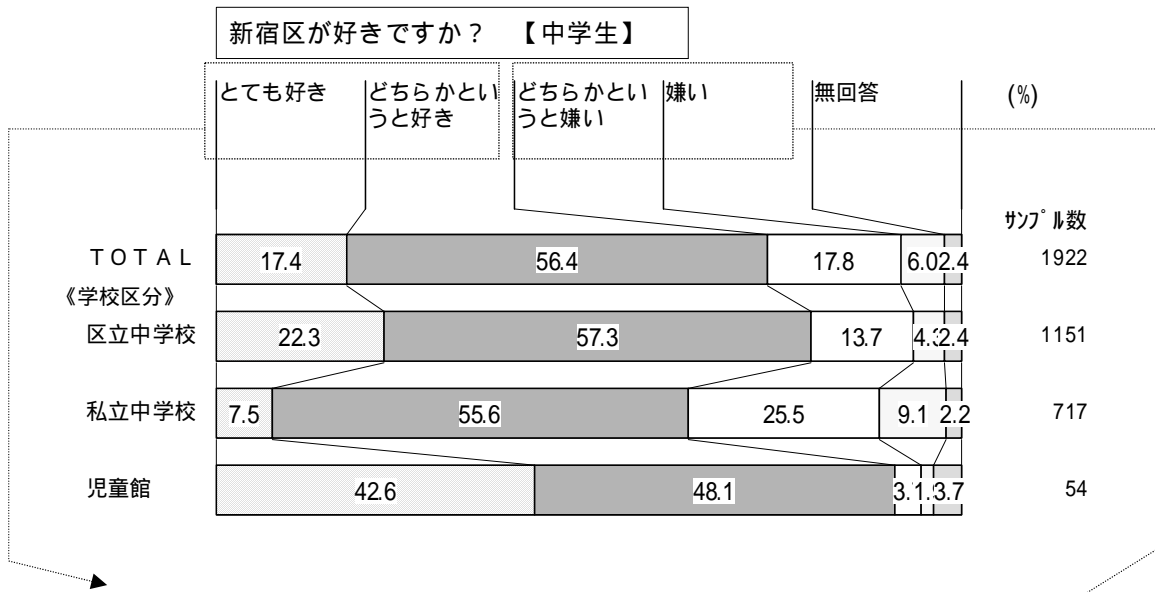


(5) 新宿区についての考え方について

新宿区への愛着度

新宿区が「とても好き」な人は17.4%、「どちらかという好き」な人は56.4%となっており、あわせると区に愛着を持っている人は7割を超える。

学校別にみると、私立に比べ区立中学校のほうが新宿区に対する愛着度が高く、「とても好き」と回答した人の割合は、私立では7.5%だが、区立では22.3%にのぼる。また、児童館の利用者ではさらに区への愛着度が高くなり、42.6%の人が「とても好き」と回答している。



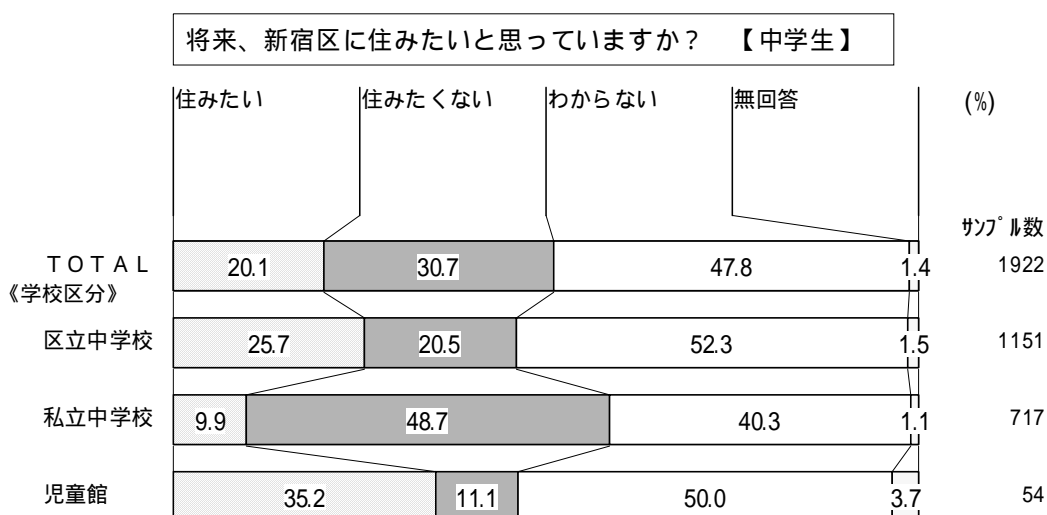
新宿区が好きな理由としては、「コンビニやファーストフードのお店が近くにある」をあげる人が 57.1%と最も多く、次いで「交通が便利」(56.3%)、「ゲームセンター・カラオケボックスなどが近くにある」(46.1%)で続いている。

新宿区を嫌いな理由としては、「人や車が多すぎる」をあげる人が 73.8%と最も多く、次いで「ごみごみしている」(69.0%)、「家の回りの環境が悪い」(45.4%)と続いている。

新宿区への居留意向

将来、新宿区に住みたいと思っているかを尋ねたところ、20.1%は「住みたい」、30.7%は「住みたくない」と回答しているが、約半数は「わからない」(47.8%)と回答している。

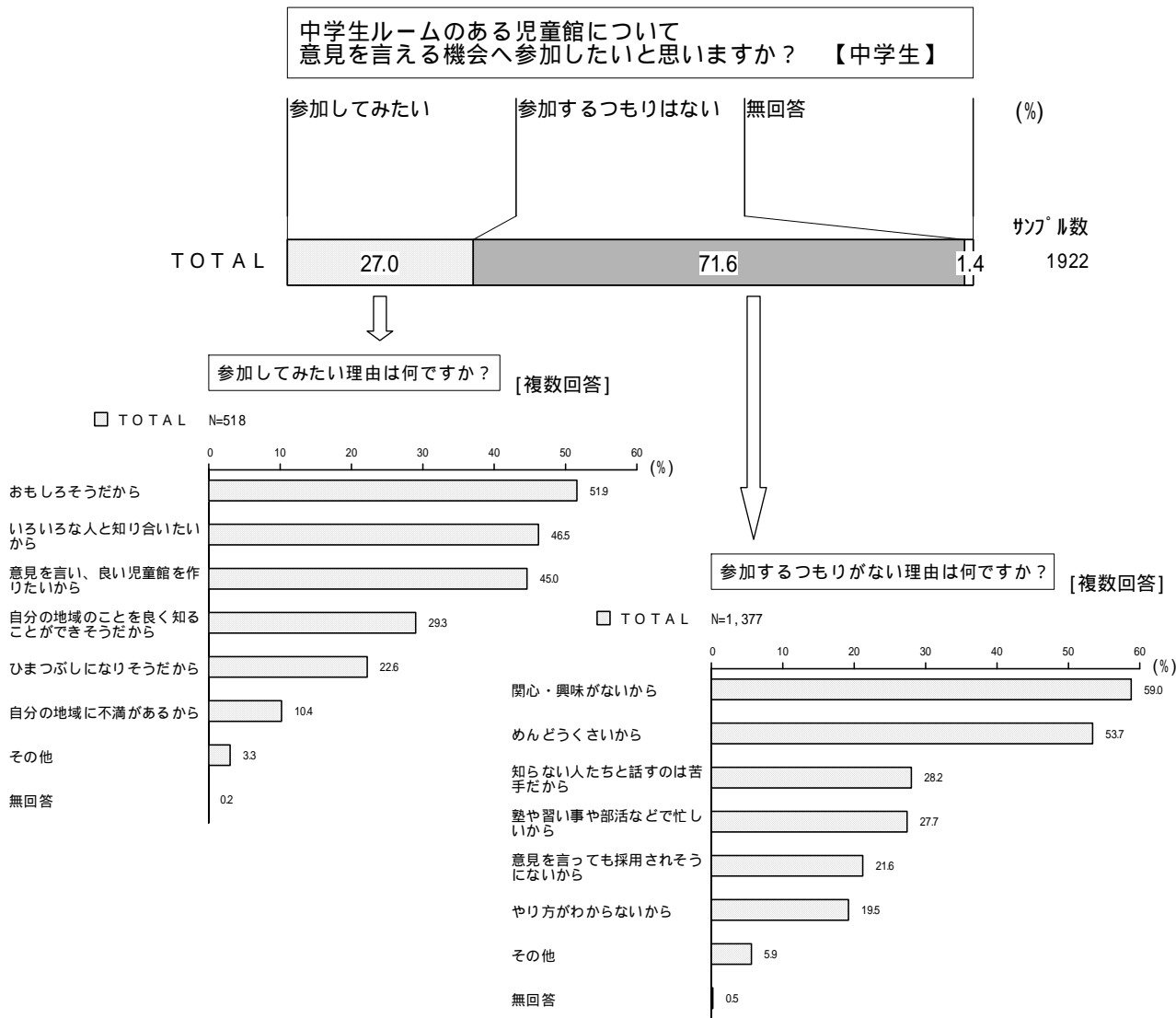
学校別にみると、私立に比べ区立中学校のほうが新宿区への居留意向が高く、「住みたい」と回答した人の割合は、私立では 9.9%だが、区立では 25.7%にのぼる。



(6) 中学生ルームのある児童館について

中学生ルームのある児童館について意見や希望を言える機会への参加について

中学生ルームのある児童館ができることになって、中学生にも意見や希望を言えるような会があったとしたら、参加してみたいかを尋ねたところ、27.0%は「参加してみたい」と回答している。



参加してみたい理由としては、「おもしろそうだから」をあげる人が 51.9%と最も多く、次いで「いろいろな人と知り合いたいから」(46.5%)、「意見を言い、良い児童館を作りたいから」(45.0%)と続いている。

参加するつもりがない理由としては、「関心・興味がないから」が 59.0%と最も多く、次いで「めんどくさいから」(53.7%)、「知らない人と話すのは苦手だから」(28.2%)と続いている。

(7) 意見・要望(自由回答)

調査の終わりにあたり、区やおとなに対する意見・要望等についての自由記入欄を設けたところ、数多くの意見・要望が寄せられた。内容はきわめて多岐にわたっており、本報告書では紙面の都合上すべてを掲載することはできないが、その一部を紹介することとする。掲載にあたっては、特に多くの方から寄せられた意見・要望や、調査票の設問からは浮き彫りにされにくい課題・問題点を中心に、より代表制・具体性のある意見・要望を紹介するよう心がけた。

親に対して

- ・ 父に男女の差別をやめてほしい。
- ・ 年が違うからって、悪くないのに怒られて、弟や妹が怒られないのに、納得がいかないときがある。
- ・ もっと門限をおそくまでにしてほしい。
- ・ 親の義務だと言って、人のものを勝手に見てほしくない。
- ・ ちょっとしたことでも注意しないでほしい。
- ・ 疲れているときに「今日はどうだった」「～はどうしたの」とかいろいろ言われるとすごくいや。
- ・ 部活や習い事で忙しいし、疲れているのに、話しかけてくるので、はっきり言うとお返事をするのもめんどくさい。
- ・ 一人になれる時間ももっとほしい。家族にいろいろと干渉されたくない。兄弟と比較されたくない。
- ・ うちの家族は明るい。明るいからお互いがよくわかっていないと思う。なぜなら、明るくすることで、つらいこととかを見ないようにしているから。
- ・ 都合のいいときになると父親面をして、普段は何とも思っていないので公の場に出さない。外と中での顔が違いすぎる。
- ・ 学力ですぐに人を判断するのはやめてほしい。

おとな全般に対して

- ・ 子どもの夢だけは子どもに決めさせてほしい。
- ・ もっと子どもに夢を持たせてほしい。
- ・ 大人の価値観で子どもの行動を抑制したり、義務づけないでほしい。
- ・ 子どもだって一人の人間だから、大人の勝手な意見を押し付けしないでほしい。
- ・ たばこを吸わないでほしい。
- ・ 歩きたばこをやめてほしい。
- ・ ゴミを道にポイ捨てしないで、きちんとゴミ箱に入れてほしい。
- ・ 大人は自分も悪いのに子どもに押し付けることがある。それは私たち子どもにとっても腹立たしい。
- ・ 大人たちは、子どもたちの意見をあまり尊重してくれないのがいや。
- ・ この頃、大人が変。だって意味もなく人を殺したりして、とても非常識。大人が変だから子どもだって変になる。
- ・ 大人なのに赤信号を渡るのをやめてほしい。
- ・ しかる前に、こちら側の意見や理由を聞いてほしい。
- ・ 大人はみな嫌。勝手な自分の都合で子どもも巻き込まないでほしい。
- ・ 大人は少し派手な格好をしているだけで不良だとか、非行に走るといふけど、それって中高生に対する偏見。格好は個人で違うし、派手な格好をしていたって、やるべきことをしっかりやっている子はたくさんいる。
- ・ 「いまの子どもは・・・」とか言っているけど、そういう社会にしているのは今のおとなたち。
- ・ 「この子は困っているのかな」と思ったら、見て見ぬふりをせず、しっかり声をか

けてほしい。

- ・ 人が頼んだこととか、言ったことを、しっかりと大人にもやってほしい。
- ・ 最近、マナーの悪い大人が多いと思うので（道につばをはいたり、順番を守らないなど）もっと改善してほしいです（無理だと思うけど）。
- ・ しつけもしてほしいし、たくさん愛情を込めて育ててほしい。てきとうに子育てをするなら、子どもをつくらないでほしい。

区や国に対して

- ・ 食べ物やおもちゃやいろいろな物の値段を下げてください。
- ・ 消費税を下げてください。
- ・ 中学生や小学生が遊べる広い体育館があったらいい。
- ・ もう少し緑を増やしてほしい。もっと自然を増やしてほしい。
- ・ もっとお祭などの行事を増やしてほしい。
- ・ ちかんに対する対策をとってほしい。
- ・ 最近は治安が悪かったり、犯罪が多いので、子どもが安心して暮らせる区にしてほしい。
- ・ いろいろなことを注意する前に、大人がちゃんとルールを守ってほしい。
- ・ 公園などでも自由に遊べないことが多い。せまい広場で大人が本気でサッカーをしていたり、遊んでいると変な人になぐられそうになったりと、よくわからない、危険なことが多いので、最近は公園に行かなくなった。
- ・ ホームレスの方々の行き場が無いのはわかる。しかし、遊ぶ場所がなくなったり、その人たちだけが公園を長期間独占しているのは何とかしてほしい。
- ・ 中学生でもアルバイトがしたい。
- ・ 中学生の遊び場をもっと増やしてほしい。児童館は小学生ばかりで、ルールが小学生を対象としているため、楽しんで遊ぶのは困難である。
- ・ 道を歩いているとカラスがゴミをあさっていたり、フンを落としたり、攻撃されたりして、気持ち悪いし不快。どうにかしてほしい。
- ・ 街灯を増やしてほしい。本当にこわい。
- ・ 自転車を自由に置ける場所を作ってほしい。
- ・ ゴミがちらかっているところが多く汚いので、そうじをきちんとしてほしい。
- ・ 新宿区は変質者が多い。それを改善してほしい。
- ・ パソコンをただで使えるところを作ってほしい。せめて図書館にパソコンを。
- ・ 治安が良くない。警備を厳重にし、安心して登下校できるようにしてほしい。
- ・ 千代田区のように歩きたばこを禁止にしてほしい。歩きたばこは 100%他人迷惑をかけていると思うから、迷惑防止条例に加えてほしい。
- ・ 車が交通ルールを守っていない。交通違反をする人を徹底的に捕らえてほしい。

学校に対して

- ・ 学校で差別されるのはいや。
- ・ ひいきをできるだけしないでほしい。まじめにやっているのにひいきされたらやる気をなくす。
- ・ 先生の考えがわからなくなる。隣の人が怒られていて、ぼくが気に入らないことをすると、はらいせのようにぼくをどなってくる。いいかげんにしてほしい。
- ・ もっと学校内でのいじめや不登校に関心をもってほしい。
- ・ 不登校の人の家に訪問等をして助けてあげてほしい。
- ・ 土日が休みだと、授業がハイペースで頭に入りにくいので、2週間に1度は土曜日の午前中に学校があってほしい。全然「ゆとりの教育」ではない。
- ・ ゆとり教育をなくしてほしい。これのせいで最近ではほとんど学力が低下気味。
- ・ 学校はもっと自由にすべきだと思う。先生たちからの注意が多すぎる。
- ・ もっと子どもの意見やプライバシーなどが尊重される、してくれる学校になってほ

しい。

- ・ どうして学校に携帯電話を持ってきてはいけないのかわからない。
- ・ 学校で習うものが簡単すぎて、あまりためにならない。
- ・ 全学校にエアコンをとりつけてほしい。

その他

- ・ 地域のふれあいをもっと多くしてほしい。(となりに住んでいる人がどんな人かわからないのが、ふれあいのない証拠。)
- ・ 交番に行ったときに警官がいないときが多いから、たえず交番にいてほしい。
- ・ 「子どもと大人」とか、違う世代がふれあえる機会を増やしてほしい。
- ・ 障害のある子を特別扱いしないでほしい。小学校のときそれで何度も嫌な目にあってしまったので。